２０２３年度

事業実績報告書

＜法人本部＞

＜障がい者施設＞

【北広島リハビリセンター】
- 北広島リハビリセンター療護部
- 北広島リハビリセンター診療部
- のびのびファイン

【地域サポートセンターみなみ】
- 障がい福祉サービス事業所みなみ
- 障がい児通所支援事業所みなみ
- 障がい者生活支援センターみらい
- 地域サポートセンターみなみ

＜高齢者施設＞

【北広島地域サポートセンター四恩園】
- 北広島リハビリセンター特養部四恩園
- 北広島ショートステイ四恩園
- 北広島デイサービスセンター四恩園
- デイホームさとみ
- デイホームかたる
- 北広島市みなみ高齢者支援センター

【北広島団地地域サポートセンターともに】
- 北広島ホームヘルプサービスステーション四恩園
- 北広島居宅介護支援事業所四恩園
- 北広島訪問看護ステーション四恩園
- 北広島グループホーム四恩園
- 北広島複合型サービス四恩園
- サービス付き高齢者向け住宅しおん
- 北広島団地地域交流ホームふれて
- 北広島団地地域サポートセンターともに

社会福祉法人　北海長正会

目　　　次

基本理念 … 1
2023年度主要課題について … 2
2023年度各拠点事業方針の振り返り … 5
法人役員等名簿（2024年3月31日現在） … 9
理事会・評議員会・監事会開催状況 … 10
経営委員会（経営会議）開催状況 … 15
運営委員会（幹部会議）開催状況 … 19
サービス検討委員会(障がい者施設)開催状況 … 21
サービス検討委員会(高齢者施設)開催状況 … 22
2023年度資金収支決算報告書 … 23
【法人関係】
1．運営管理　(1) 職員の状況 … 27
【障がい者施設関係】
1．運営管理　(1) 職員研修実施状況 … 31
(2) ボランティア受入状況 … 33
(3) 面会者状況 … 33
(4) 施設見学等受入状況 … 33
(5) 実習生（研修生）受入状況 … 33
(6) 2023年度施設行事等実施状況 … 34
2-1．利用者支援状況（療護部） … 35
2-2．利用者支援状況（短期入所） … 40
2-3．食事量形態状況 … 41
2-4．院外受診状況表 … 42
3．診療状況 … 43
外来患者月別実績表 … 43
理学療法(消炎鎮痛)実施状況 … 43
言語療法実施状況 … 43
4．のびのびファイン … 44
(1) 事業紹介 … 44
(2) 活動内容 … 44
(3) 事業実績 … 44
(4) 活動の様子 … 46
5-1．利用者支援状況（障がい福祉サービス） … 47
5-2．利用者支援状況（障がい児通所支援） … 51
6．障がい者生活支援センターみらい事業実績状況 … 53
7-1．ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ報告 56
7-2．ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ報告（福祉ｻｰﾋﾞｽ・障がい児通所） 57
8．障がい者施設　事業方針・計画・各委員会事業評価 58

【高齢者施設関係】
1．運営管理　(1)職員研修状況 … 65
2．高齢者施設事業実施状況 … 67
1.特別養護老人ホーム四恩園 … 67
1) 施設サービス利用者状況 … 67
2) 施設サービス行事等実施状況 … 69
3) ボランティア受入状況 … 70
4) 家族ボランティア報告 … 70
2.グループホーム四恩園 … 71
1) サービス利用者状況 … 71
2) 行事実績一覧 … 72
3.サービス付き高齢者向け住宅しおん … 73
1) 利用者状況 … 73
2) 行事実施状況 … 74
3．高齢者施設月別利用者、稼働率状況 … 75
1) 北広島リハビリセンター特養部四恩園利用実績 … 75
2) 北広島デイサービスセンター四恩園利用者実績 … 76
3) デイホームさとみ利用者実績 … 77
4) デイホームかたる利用者実績 … 78
5) 北広島グループホーム四恩園利用者実績 … 79
6) 北広島ﾎｰﾑﾍﾙﾌﾟｻｰﾋﾞｽｽﾃｰｼｮﾝ四恩園利用者実績 … 80
7) 北広島訪問看護ステーション四恩園利用者実績 … 81
8) 北広島複合型サービス四恩園利用者実績 … 82
9) サービス付き高齢者向け住宅しおん利用者実績 … 83
10) 北広島市みなみ高齢者支援センター利用者実績 … 84
11) 北広島居宅介護支援事業所四恩園利用者実績 … 85
地域交流事業 … 86
＊地域交流ホームふれて … 86
・来場者数 … 86
・イベント実績 … 88
＊地域サポートセンターともに … 90
・地域交流スペース利用状況 … 90
・イベント報告 … 91
4．高齢者施設　事業方針・計画・各委員会事業評価 … 93
5．高齢者施設リスクマネジメント結果 … 107

基 本 理 念

施設の信条　＜ 信　頼 ＞　＜ 恕(思いやり) ＞　＜　和　＞

社会福祉法人北海長正会は、「ノーマライゼーションの理念」と「自立支援」を基調とし、施設サービス及び在宅サービスの機能を有効に活用し、お客様本位のサービスの提供により要援護者の「基本的人権」「人間としての尊厳」「自己実現」が保たれ、サービス機能の向上を図り、地域の福祉サービスの拠点として一人一人が生きがいを持ち、心豊かな安心した生活が送れるよう、「生活の質」の充実に努めることを基本理念とします。

基本理念を形骸化させないため、職員は施設の信条と共に次の６項目を実践します。

１．〔お客様に喜んでもらえるように〕

私たちは、お客様本位のサービス提供を実践し「かかりつけ施設」としての信頼を高め、お客様に喜んでもらえるよう誠心誠意努めます。

１．〔お客様の役に立てるように〕

私たちは、福祉倫理・知識・技術の修得を怠ること無く、自己啓発に励み、お客様の役に立てるようその向上に努めます。

１．〔地域に求められる資源として〕

私たちは、サービスが地域の方々の生活を支え、無くてはならない資源として求められるサービスを提供できるようその実践に努めます。

１．〔力の出る「ほうれんそう」〕

私たちは、お客様の役に立つために、一人一人の力を全体の力とするため報告・連絡・相談を徹底しチームワークの結束に努めます。

１．〔地域の資源の活用とつながり〕

私たちは、お客様のニーズ充足のために関係機関・職種との連携に努め、地域の資源を活用し必要なサービスの提供に努めます。

１．〔信頼は接し方から〕

私たちは、「同じ目線の高さ」「さわやかなあいさつと笑み」「声がけ」「聞き手に回る」お客様との日々の接し方が信頼を生むことを知り、その実践に努めます。

2023年度主要課題について

１．法人を取り巻く情勢と課題

（１）新型コロナウイルスが社会にもたらした影響

2023年5月、新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行した。感染症法の位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げられ、感染拡大防止に関る対応が緩和されたがコロナウイルスが消滅したわけではなく未だにコロナ後遺症で苦しむ方々もいる。2019年12月にコロナウイルスが確認されて以降、当法人においても道内外の感染状況を踏まえ様々な対応策を図ってきたが、感染による事業中止やお客様の利用控えによる減収が法人経営に大きな影響を与えた。2023年度、法人内の入所系事業所2ヶ所でクラスターが発生し71名（お客様52名、職員19名）が感染した。幸いにも重篤な症状を有する者は少なかったが、今後も感染症に対する意識の啓発や感染症発生時における事業継続に向けた感染拡大防止策に引き続き取り組んでいかなければならない。

（２）コロナからの解放

これまで私たちはコロナ感染を恐れ、面会・外出・外泊には行動制限を余儀なくされ、家族との交流や楽しみの機会を失い閉塞感を感じる日々が続いていた。新型コロナの感染法上の位置付けが変わることを機に法人では2023年度事業計画の作成にあたって各種イベントへの参加や外出行事を組み、法人サービスを利用されるお客様をとにかく外へお連れする企画を立ててもらった。エスコンフィールド北海道での野球観戦、JRを使って小樽までの外出、喫茶店利用や買い物などの個別外出、お花見、地域の夏祭り参加、北海道マラソン（車椅子部門）への参加出走など、各事業では年度計画に沿って外出する機会をたくさん演出してくれた。今後もお客様に安心と共に喜んでいただけるサービスの提供に努めていく。

（３）社会福祉法人の役割・使命

国は2016年、「日本一億総活躍プラン」の中で「地域共生社会の実現」を目指すとした。その実現には、地域社会の主権者である地域住民自身が地域福祉を推進する責務があるとし、「地域住民、事業者、ボランティア等」が関係機関と連携・協力し地域の課題解決に向け「我が事」「丸ごと」として取り組むことが示された。

社会福祉法人は事業の中で地域の生活課題を肌で感じることが出来る立場にある。介護・障がい制度内事業の実施はもとより、地域交流事業として2010年の「ふれて」2014年の「ともに」の開業は地域福祉推進の基地として、住民・行政・事業者の三位一体の姿勢で地域の生活課題に取り組んできた。2022年「北広島市生涯現役地域づくり環境整備事業」がスタートした。「いつまでも健康で、遊び、学び、働くことのできる地域づくり」を目指し、2023年は地域住民が「我が事」としてワークショップを開催し、実証実験を積み重ね成果を出している。これからも法人事業を通じ地域の生活課題を「我が事」「丸ごと」として地域住民・行政と共に考え、地域共生社会の実現に向け貢献していく。

２．法人事業の課題

（１）財政基盤の立て直し

法人全体としては事業活動収入が増加した一方で事業活動支出もほぼ同額増加しており、事業活動資金収支差額は50,000千円（事業活動収入の約3.3%）にとどまった。要因としては法人全体収入の約3割を占める障がい者施設北広島リハビリセンター療護部が目標としていた入所定員数を満たすことが出来なかったこと、また、高齢者施設北広島デイサービスセンター四恩園がコロナによるお客様の利用控えや長期入院などにより安定的に利用者数を

確保出来ず収入が大きく減少したことがあげられる。支出においては、電気・燃料費等の光熱水費や食品・物品などの購入費が昨年同様増加した。これらの経費は事業収支の利益幅を狭める一因となっており引き続き経費抑制に向けた支出管理を行っていく。

今後の事業継続や入所系２施設の大規模改修を考えればここ数年の中で自己資金、運転資金は確保しなければならない。次年度の目標としては事業活動収入の約5.0%を目指したい。

（２）介護人材確保に向けて

2024.3.31現在、法人全体の職員数は377名（障がい者施設156名、高齢者施設221名）、1年間（2023.4.1～2024.3.31）の採用者数は50名、退職者数は47名であった。若干名ではあるが採用者数が退職者数を上回った結果となった（注：それぞれの数は正職員からパート職員までの全区分）。人材不足が叫ばれる中、50名もの方が北海長正会（当法人）の門を潜り職員として働いてくれている。それでもケアに携わる現場では人材が不足しているのが現状である。ケアに携わる職員だけではなく厨房職員、介護支援専門員（ケアマネジャー）についても求人は常に行っている。

全ての業種で人材が不足している中で少なくとも入職した50名の方はこの仕事に興味を持って入ってきてくれた。直ぐに効果の現れる決定的な解決策などはない。先ずは職員一人ひとりがこの仕事の魅力や楽しさを自分自身で感じ身近な人に伝えることから始めよう。

（３）お客様の希望に沿った支援

法人事業は基本理念・倫理綱領を念頭に置き、事業計画に基づいて進めていかなければならない。お客様一人ひとりが「生きる喜び」を感じられる専門的な視点に基づくサービスの提供に努めなければならない。喜びを感じるのは、人と人との関係において「大切にされている」「信頼されている」など配慮されているときである。2023年度の事業において「こんなことがしたい…」「あそこに行ってみたい…」「地域でこんなことで困っている」そんなお客様の声を聴き、一緒に考え、実践することが出来ただろうか。

サービスをご利用いただいているお客様や地域に信頼され、地域社会に貢献できる社会福祉法人となるよう職員一丸となって引き続き取り組んでいく。

３．２０２３年度決算状況概要

２０２３年度決算における収益状況は当法人の主力財源となる介護保険事業収益が前年度から約２．４％の増加、障害福祉サービス等事業収益が約０．９％増加したことによりその他の事業収益などを含めた法人全体でのサービス活動収益は前年度より約２３，４４０千円増加している。このサービス活動収益には障がい者生活支援センターみらい拠点の委託料に係る消費税修正申告の追加納付分が補助金収益として１２，４３７千円計上されており、実質的な事業運営だけの収益比較では約０．７％上昇し、１１，００３千円の増加で推移している。当該年度における収益面での特徴としては２０２３年５月から感染症法上の新型コロナウイルスの位置づけが２類感染症から５類感染症に移行となり、個人の自主的な判断に委ねる対応に変わったことから徐々にサービス利用も増加し利用稼働率も上昇してきたことが挙げられる。一時的な感染による収益面での影響はどうしても否めないところではあるが総じて前年度の厳しいコロナ禍での状況からみれば、２０２３年度は収益が増加する兆しも徐々に見え始めてきた年度として捉えている。前年度まで収益が減少していた通所系事業は概ね回復傾向にあるが重度のお客様を受け入れる通所系事業や訪問系事業に関しては感染症による利用控えなどとは別に在宅から入居施設への移行や報酬体系が起因となる収益の低下がなお続いている。また障がい者支援施設においても地域移行が進み、入所利用が減少

していることや他医療機関への入院も重なり、定員に対する利用稼働率が伸びない状況が続いている。一方で対応するサービス活動費用は障がい者生活支援センターみらい拠点の消費税修正申告による租税公課を除き、実質的には前年度から約０．９％、約１２，９３９千円の増加で推移している。特徴的な所見としては事業費が約１．１％増加、事務費が約２．９％減少した結果となっている。事業費の増加は今般の物価高による給食費や水道光熱費の増加が主な要因として挙げられる。また積立資産に関しては一時的な資金繰りによる取崩を行うが全額を戻入することで２０２３年度は取り崩さないという対応をしてきたが最終的に３，４００千円を取り崩す結果となっている。

本年度決算として資金収支計算上の当期資金収支差額は△６４千円となり、事業活動計算上の当期活動増減差額は７，４０２千円を計上したことで前期より純資産を１８，９５１千円減少させた実績となっている。次年度の財政面においては特に報酬改定による事業収益の推移や人件費率の上昇には注視する必要がある。全体的に利用稼働率を引き上げ、生産性の向上を目指すと共に抜本的な経費の見直しを行い、効率的な資金運用を図りながら将来を見据えた設備投資や改修等の資金が確保できるよう取り組むことにしたい。

＜２０２３年度各拠点事業方針の振り返り＞

北広島リハビリセンター拠点

新型コロナの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザなどと同じ「5 類」に移行することより、これまでの各種の行動制限を見直し、感染対策を講じながらより安心して楽しみのある生活を送れるよう各種行事の実施や日中プログラムの見直しを行っている。その結果、施設内行事の実施や外出機会の確保などにより、お客様の行動範囲も拡大し徐々に以前の生活に戻りつつある。

しかし、運営面については非常に厳しい一年となった。財政面の改善のため新規入所を積極的に進め 2023 年度は 9 名の新規入所を確保したが、その反面、高齢化・重度化の影響により 6 名が医療機関への移行などにより退所している。また、昨年 7 月と今年の 2 月には新型コロナ感染のクラスターが発生したことも財政面に大きく影響している。このため、新年度においては利用実績の確実な改善を最重要課題として取り組んでいきたい。

2023 年度主要課題について

１．サービスの質の向上（利用者本位のサービスの提供）

権利擁護と虐待防止の取り組みを推進することを目的に、施設職員研修会において虐待防止、身体拘束適正化関連の研修を実施したほか、毎月実施しているチーフ会議において当法人の理念・倫理綱領のミニ講座を実施している。

チームケアの視点を強化するため毎朝ミーティングをすることにより情報共有は図れているが、連携については不十分な点もあった。しかし、人員が不足する中で職域を超えた協力体制が整備出来つつある。

また、新型コロナウイルス感染により中止していた施設内行事（夏まつり）や外出レク・個人外出の再開、はまなす車椅子マラソン大会等の参加によりお客様が活動範囲の拡大につながっている。日中活動としてボッチャ開始し全国大会出場という夢を持たれたお客様もおり、サービスの質の向上につながっている。

２．人材の確保に向けた取り組み

採用活動の積極的な展開を目的に、ＰＲ動画の作成やポスター、チラシの掲示及び配布と併せ、ホームページの充実（Blog・インスタ開設）に取り組み、各種専門学校への訪問、就職説明会・セミナー等への参加など積極的に実践したが、実績には結びついていない。このため、引き続き各種学校や紹介機関へアプローチしていくとともに、ご家族とのつながりを作り、人材確保に取り組んでいきたい。

３．北広島リハビリセンター大規模修繕計画について

2018 年度までに作成したグランドデザインの見直しを行い、まずは特養部四恩園の改修工事に伴う支援体制を整備し、障がい者支援施設の大規模修繕工事については 2027 年以降の実施を見込んでいる。

なお、当初計画では更生部の空きスペースを活用し「全室個室化とアメニティの改善」に向けた修繕計画を策定していたが、物価高騰などによる運営コストの増大や社会動向の変化による人員課題（職員及び利用者の確保）を踏まえ、新たな事業の展開と効果的な施設運営の実現を目指し、引き続き検討をすすめる。

地域サポートセンターみなみ拠点

1. みなみ拠点事業の総括

ここ数年間、通所サービスを中心とする地域サポートセンターみなみの事業は感染症に翻弄される状況が続いた。2023 年度はコロナ感染症が 5 類移行となったが、感染症対策が免疫低下を招くと言われた様に、特に児童を中心に様々な感染症が発生し、家族の感染等も増加。影響の少ない相談支援事業は堅調だったものの、通所系サービスにおいては本人や家族の感染に伴うキャンセル数も多く、さらに天候不順による体調の低下などから計画値に届かない月が多くなった。2023 年度の重点課題とした取り組みについて支援自体に一定の成果が見られるが、収入の大きな改善には至らなかった。以下、重点事項として取り組んだ内容について振り返る。

1) 状況に沿った対策を講じつつ、魅力あるサービスの提供を行う

感染症対策で制限された活動を出来る限り通常に戻す事に努めた。感染症の状況に留意しつつ、交流の場やレクレーションを増やし、積極的に外出行事や地域の活動に参加する機会を設けた。利用者自身が地域の子ども達を教える役割を持つ制作体験会の開催や新たに SNS を活用し地域ボランティアや家族のボランティアを募る中で新たな交流の流れを作る事が出来た。

2) 多様な障がいや生活状況に沿った支援の充実を図る

相談支援事業を中心にした利用者のアート発表の場『アートは自由だ！展』の開催は継続。年々展示会に関わるボランティアや展示者が増えている。さらに、麻雀教室の開催など、芸術分野に限らず、持つ能力を生かす場を広げる事も出来た。制作体験会と伴に、地域の障がいを持つ一人ひとりが生き生きと活動する機会を積み重ねて行く事を意識し、実践出来ていたと思う。

又、親族等からの虐待疑いのある複数ケースと関わる事があった。様々な生活背景を抱え、職員も対応に悩む事も多かった。チーム全体として取り組み、利用者の権利擁護、虐待防止について意識を高める事も出来た。

3) 地域資源の中での特色化を目指す

近郊市町村の中で重度障がい児・者の通所サービスは限られた資源であり、地域サポートセンターみなみの必要性も大きい。新規相談や状況変化に対して一つひとつ真摯に対応を検討しながら支援を行っている。相談支援事業についても市内転入者が増加傾向の中、サービスの利用や生活上の相談も増加、複雑化している生活課題の対処も多く、チーム全体で対応した。

みなみが対象としている利用者は年齢層も幅広く、障害状態も様々であるが、事業の枠を超えた交流や地域の社会資源と繋がる中で、利用者同士の支え合いも生まれ、お互いに刺激し合える関係も作る事が出来ていた。

2. 事業の課題

継続して安定的な支援を行っていく為、マンパワー（人材）確保については引き続きの課題である。介護職に限らず、あらゆる職種が不足する状況の中、ICT 化含め、効率化の図れる点について各事業の業務整理と検討は優先課題である。防災対策等、地域住民と協同する部分もみなみにおいてはまだ課題として残っている。利用者の自己実現を目標に、支援の向上を目指す事と同時に安定した収支の実現を図らなければならない。新たなアクションプランの一つとした社会情勢によりニーズの減少した事業の見直しについて、4 月の報酬改定を踏まえ、急遽『機能訓練』を廃止し、通所サービスの定員変更を行った。児童デイを利用している重度の障がい児が卒業後も安心して通い続ける場は少なく、みなみの通所サービス全体でどう安定した提供が可能か検討したい。

地域サポートセンター四恩園拠点

＜事業方針＞

全国の特別養護老人ホーム（以下、特養）6割、通所介護（以下、デイ）の４割が赤字経営という厳しい状況下において特養・四恩園は2023年10月に大規模クラスターが発生したが約3週間で収束させ概ね安定した経営を維持することができた。しかし、デイ3事業所のうち四恩園、かたるではサービス利用者が伸び悩み目標の数字を残すことができなかった。それでも感染者が出る中で最善の留意の下で営業を継続できたことはコロナ過においての地域住民の貴重な「通う」「集う」場としての役割を果たせた意義は大きい。

さとみは、ここ数年になく利用者増が顕著であり認知症を生きる人の増加とその支援の重要性を実感させられる中で地域の認知症家ケアの拠点としての重要な役割を果たすことができた。

みなみ高齢者支援センターは生活の不安定さ、不確実さが増長する中で地域住民から多くの相談が寄せられた。個々の相談に丁寧に対応することで北広島団地地区に欠かせない生活のしづらさの軽減を図る相談機関としての役割を果たすことができた。

地域サポートセンター四恩園にある「住まう」「通う・集う」「相談」の機能が発揮されたことで住み慣れた地域で最期まで暮らすという「地域包括ケアシステムの構築」の一端を担えたと評価する。

＜重点項目＞

１．安定経営のためのサービスの質の向上、楽しみの創出

特養では、職員の感染対策が功を奏し感染者ゼロで推移、しかし2023年10月に特養でクラスターが発生するも3週間で収束、その影響を最小限にとどめることができた。入院すると面会も困難となる等の理由から最期まで特養での生活を希望し看取りケアも通常に実施することができた。5類移行後は特養、デイお客様の生活はほぼ正常化している。

デイの赤字経営脱却のため3拠点の機能、新たな事業について検討、営業時間の短縮や機能再編を進め2024年下半期に向けての方向性を確認している。

特養大規模改修工事は人件費や資材高騰を受け、工事内容について2024年より再検討を開始、2025年申請に向け準備を進めていく。

2023年4月、2024年1月に採用した外国人介護職は現場に定着。職員、お客様との良好な関係の下、夜勤業務を担えるようになっている。

各事業の機能を活かしながら地域包括ケアシステム構築の一端を担うことができたと評価できる側面もあるが事業の安定経営のための資金確保という側面では大きな課題を残したといえる。

２．事業継続のための新たな感染対策とリスクマネジメント

ＢＣＰを作成、ＢＣMの実施にまでは至っていない。2024年度は研修や訓練等で実用化を図っていく。次年度の課題である。

コロナウイルスの2類から5類への移行後、外来者の制限による閉鎖的な空間になることで不適切ケアの回避やお客様、ご家族の心理的不安の軽減のため速やかに外来者の制限を緩和した。

感染対策を継続しながらエスコンフィールドへの野球観戦、外出等に積極的に取り組むことでお客様、ご家族に喜んでいただくことができた。

安全管理体制の再構築のための事故定義の統一、報告書の変更は2024年度に持ち越している。

地域サポートセンターともに拠点

新型コロナウィルスによる制限が解除され、２０２３年度は「楽しいところに人は集まってくる」をキーワードに、引き続き安全・安定に配慮しながら、新たな楽しみを加えてお客様、ご家族、地域の方々とともに人生１００年時代に向けて下記について実践できた一年だった。

＜重点事項＞

１．お客様にいつまでも楽しんでもらえるためのシームレスな事業所連携と地域のつながり

定期巡回随時対応型訪問介護看護サービスを利用した訪問介護と訪問看護による看取り介護を実践。複合型サービスによる在宅支援からグループホームや特養へのスムーズな入居。ともにを含めた法人事業全体が、お客様がどのような状況であっても安心して生活し続けるためのシームレスな事業所連携を実践できた。また、ケアマネジャーとともに市民スタッフとが協力し認知症の方の見守りや生活支援を実施することができている。これらが共生社会の中でこそ実現できることであり、地域の方々がいつまでも楽しく安心して暮らしていくことができるつながりづくりである。

２．人生１００年時代、誰もが生涯現役、住民主体の活動と介護予防（生涯現役地域づくり環境整備事業との連携）

生涯現役地域づくり環境整備事業との連携と実践、ともに市民スタッフ等による取組みの再開から、喫茶運営、地域のお茶の間、地域体操、運動会や学芸会イベント、畑作り、出張保育、地域食堂、ミニ講座など住民主体の活動・住民との連携で取り組むことができた。また、新たにソフトクリームを始め、グラウンドでのドッグランやキャンプイベントの企画準備の段階で地域の方々を中心とした新たな仲間も増えてきている。２０２６年４月事業開始する体育館を使った法人独自のフィットネス事業（介護予防事業）の検討、及び企業版ふるさと納税を活用した準備資金の確保も順調に進んでいる。

３．福祉の仕事に人生に楽しみを感じる職員育成と人材確保

法人理念実現のために職員の主体性、内発的動機付けとOJTによる質の向上、及び職員間のコミュニケーションによりチーム力を高める。そのために、法人事業委員会により給与規程、就業規則、人材育成考課規程等を見直し新年度から実施することができた。

今後も引き続き、事業計画、自己啓発と人材育成考課、定期的な面談と階層別研修などの取り組みを着実に実践していく。また、法人理念の理解を深めるために具体的な事例を集めたフィロソフィーの作成や、職員各々が実践においても理念に照らして語り合うことが求められる。楽しいところに人は集まってくることを信じ、職員自身が楽しみ、夢やロマンを語り合い、お客様、ご家族、地域の方々と積極的につながり、人材確保という大きな課題にも取り組んでいく。

４．新規事業（大曲拠点）の企画立案と準備

大曲拠点の活用については引き続き検討する。

私たちが人生１００年時代をお客様やご家族、地域の方々等と楽しみながら生涯現役を目指すことで、孤立、認知症の方の行方不明等の課題解決や、権利擁護、自律支援、介護予防、人材の確保につながることを信じ、これからも共につながり共生社会の実現を目指したい。

法人役員等名簿

【理事・監事】　＜理事:7名、監事:2名＞

2024年3月31日現在

	役職名	氏名	初就任年月日	今期（第25期）任期	備考
1	理事長	三瓶　徹	2000.10.18	2023.6.22～※	代表権有 2018.8.30理事長就任
2	常務理事	中川浩一	2016.10.18	2023.6.22～※	
3	理事	石黒絵里	2010.10.18	2023.6.22～※	
4	理事	對馬伸泰	2016.10.18	2023.6.22～※	
5	理事	神部健史	2016.10.18	2023.6.22～※	
6	理事	長澤邦彦	2019. 6.20	2023.6.22～※	
7	理事	向山　篤	2023. 6.22	2023.6.22～※	
1	監事	髙畠　徹	2017. 4. 1	2023.6.22～※	
2	監事	前田泰則	2016.10.18	2023.6.22～※	

※選任後2年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

【評議員】　＜評議員：8名＞

2024年3月31日現在

	氏名	初就任年月日	今期（第10期）任期	備考
1	安宅鋭治	2010. 4. 1	2021. 6. 24～※	
2	姉崎重延	2010.10.18	2021. 6. 24～※	
3	小江久恵	2008. 4. 1	2021. 6. 24～※	
4	河井芳樹	2017. 4. 1	2021. 6. 24～※	
5	富田政義	2002. 4. 1	2021. 6. 24～※	
6	中村琢哉	2023. 6. 22	2023. 6. 22～※	
7	野村幸宏	2017. 4. 1	2021. 6. 24～※	
8	吉田俊文	2010. 4. 1	2021. 6. 24～※	

※選任後4年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

【評議員選任解任委員】　＜委員5名＞

2024年3月31日現在

	氏名	初就任年月日	今期（第2期）任期	備考
1	髙畠　徹	2017. 4. 1	2021.6.24～　※	法人監事
2	前田泰則	2017. 1.12	2021.6.24～　※	法人監事
3	市川茂春	2017. 1.12	2021.6.24～　※	外部委員
4	三木千晶	2017. 1.12	2021.6.24～　※	外部委員
5	齊藤久男	2017. 1.12	2021.6.24～　※	法人本部事務局

※選任後4年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

【苦情解決第三者委員】＜障がい者施設:2名、高齢者施設:2名＞

2024年3月31日現在

	氏名	初就任年月日	今期（第12期）任期	備考
1	桂　靖恵	2010. 4. 1	2022. 4. 1～2024. 3.31	障がい者施設担当
2	福原淑子	2020. 4. 1	2022. 4. 1～2024. 3.31	障がい者施設担当
1	島谷清張	2018. 4. 1	2022. 4. 1～2024. 3.31	高齢者施設担当
2	藤野紀代子	2018. 4. 1	2022. 4. 1～2024. 3.31	高齢者施設担当

２０２３年度　理事会・評議員会・監事会開催状況

＜理事会開催状況＞

【第205回理事会】

年月日　２０２３年６月６日(火)　　15:30　～　16:50
場　所　地域サポートセンターともに　活動室
出席者　三瓶理事長　中川常務理事　中村理事　石黒理事　對馬理事　神部理事　長澤理事
　　　　髙畠監事　　　　　他法人事務局員６名同席
欠席者　前田監事
内　容　＜決議事項＞
　　　　１．２０２２年度事業実績報告の審議について
　　　　２．２０２２年度決算に係る計算書類及び財産目録の審議について
　　　　３．２０２２年度決算に係る社会福祉充実残額の審議について
　　　　４．２０２３年度第７０回評議員会の招集について
　　　　５．２０２３年度第３回評議員選任・解任委員会の招集について
　　　　＜選任事項＞
　　　　１．第２５期法人役員(理事・監事)候補者の推薦について
　　　　２．第１０期評議員の補選に伴う候補者の推薦について
　　　　＜報告事項＞
　　　　１．法人監事による内部監査報告について
　　　　２．理事の職務執行状況報告について
　　　　３．令和４年度介護保険施設等の実地指導結果について
　　　　４．北広島市医療的ケア児・者受入促進事業の計画変更に伴う補助金の確定について

【第206回理事会】

年月日　２０２３年６月２２日(木)　　16:30　～　16:50
場　所　地域サポートセンターともに　活動室
出席者　三瓶理事長　中川常務理事　石黒理事　對馬理事　神部理事　長澤理事　向山理事
　　　　髙畠監事　前田監事　　　　他法人事務局員５名同席
欠席者　なし
内　容　＜報告事項＞
　　　　１．２０２３年度第７０回評議員会による新役員(理事・監事)の選任結果について
　　　　２．２０２３年度第３回評議員選任・解任委員会による評議員の補選結果について
　　　　＜選任事項＞
　　　　１．理事長及び常務理事の選任について

【第207回理事会】

年月日　２０２３年９月１２日(火)　　15:30　～　16:40
場　所　地域サポートセンターともに　活動室
出席者　三瓶理事長　中川常務理事　石黒理事　對馬理事　神部理事　長澤理事　向山理事
　　　　髙畠監事　前田監事　　　　他法人事務局員５名同席
欠席者　なし
内　容　＜決議事項＞
　　　　１．不動産(土地・建物)の売却について
　　　　２．北広島市生涯現役地域づくり環境整備事業に係る補助金申請について
　　　　＜報告事項＞
　　　　１．法人監事による内部監査報告について
　　　　２．理事の職務執行状況報告について

【臨時理事会】

　　　　補助金申請の議案に伴う決議の省略(みなし決議)

年月日　２０２３年１１月２１日付（全理事同意承認年月日・全監事確認年月日）
同意者　三瓶理事長　中川常務理事　石黒理事　對馬理事　神部理事　長澤理事　向山理事
確認者　髙畠監事　前田監事
提案者　三瓶理事長
記　録　中川常務理事
内　容　＜決議事項＞
　　　　１．北広島市生涯現役地域づくり環境整備事業に係る補助金申請について

【第208回理事会】

年月日　２０２３年１２月５日(火)　15:30 ～ 16:40
場　所　地域サポートセンターともに　活動室
出席者　三瓶理事長　中川常務理事　石黒理事　對馬理事　神部理事　長澤理事　向山理事
　　　　髙畠監事　前田監事　　　　他法人事務局員５名同席
欠席者　なし
内　容　<決議事項>
　　　　１．２０２３年度法人会計各拠点区分収支補正予算案の審議について
　　　　２．２０２３年度第７１回評議員会の招集について
　　　　<報告事項>
　　　　１．法人監事による内部監査報告について
　　　　２．理事の職務執行状況報告について
　　　　３．特定技能外国人の受入れについて
　　　　４．新型コロナウイルス感染症に伴う対策について
　　　　５．２０２３年度法人各事業所における車両の更新について
　　　　６．高齢者施設介護業務支援ソフトウェア等のライセンス更新について
　　　　７．遊歩道の整備について

【第209回理事会】

年月日　２０２４年３月１２日(火)　15:30 ～ 17:00
場　所　地域サポートセンターともに　活動室
出席者　三瓶理事長　中川常務理事　石黒理事　對馬理事　神部理事　長澤理事　向山理事
　　　　髙畠監事　前田監事　　　　他法人事務局員５名同席
欠席者　なし
内　容　<決議事項>
　　　　１．障がい者総合支援法に基づく事業の定員変更等について
　　　　２．役員等報酬規程の一部改正について
　　　　３．就業規則の一部改正について
　　　　４．給与規程の一部改正について
　　　　５．管理規則の一部改正について
　　　　６．人材育成考課規程の一部改正について
　　　　７．２０２３年度法人会計各拠点区分収支補正予算案の審議について
　　　　８．２０２４年度事業計画案の審議について
　　　　９．２０２４年度法人会計各拠点区分収支予算案の審議について
　　　　10．２０２３年度第７２回評議員会の招集について
　　　　<選任事項>
　　　　１．第１３期苦情解決第三者委員の選任について
　　　　<報告事項>
　　　　１．法人監事による内部監査報告について
　　　　２．理事の職務執行状況報告について
　　　　３．障がい者生活支援センターみらいの委託料に係る消費税修正申告と納付について
　　　　４．令和５年度社会福祉法人に係る指導監査結果について
　　　　５．２０２４年度能登半島地震に係る災害義援金について
　　　　６．２０２４年度長期勤続職員の表彰について

＜評議員会開催状況＞

【第70回評議員会】

日　時　２０２３年6月２２日(木)　　15:00　～　16：15
場　所　地域サポートセンターともに　活動室
出席者　安宅評議員　姉崎評議員　小江評議員　河井評議員　酒井評議員　富田評議員
　　　　野村評議員　吉田評議員
　　　　三瓶理事長　中川常務理事　神部理事　他法人事務局員６名同席
欠席者　なし
内　容　＜決議事項＞
　　　　１．２０２２年度事業実績報告の審議について
　　　　２．２０２２年度決算に係る計算書類及び財産目録の審議について
　　　　３．２０２２年度決算に係る社会福祉充実残額の審議について
　　　　＜選任事項＞
　　　　１．第２５期法人役員(理事・監事)の選任について
　　　　＜報告事項＞
　　　　１．第１０期評議員の補選結果について
　　　　２．令和４年度介護保険施設等の実地指導結果について
　　　　３．北広島市医療的ケア児・者受入促進事業の計画変更に伴う補助金の確定について

【第71回評議員会】

日　時　２０２３年１２月２１日(木)　　15:00　～　16：10
場　所　地域サポートセンターともに　活動室
出席者　安宅評議員　姉崎評議員　小江評議員　富田評議員　野村評議員　吉田評議員
　　　　三瓶理事長　中川常務理事　神部理事　向山理事　他法人事務局員５名同席
欠席者　河井評議員　中村評議員
内　容　＜決議事項＞
　　　　１．２０２３年度法人会計各拠点区分収支補正予算案の審議について
　　　　＜報告事項＞
　　　　１．不動産(土地・建物)の売却について
　　　　２．北広島市生涯現役地域づくり環境整備事業に係る補助金申請について
　　　　３．特定技能外国人の受入れについて
　　　　４．新型コロナウイルス感染症に伴う対策について
　　　　５．２０２３年度法人各事業所における車両の更新について
　　　　６．高齢者施設介護業務支援ソフトウェア等のライセンス更新について
　　　　７．遊歩道の整備について

【第72回評議員会】

日　時　２０２４年3月２８日(木)　　15:00　～　16：10
場　所　地域サポートセンターともに　活動室
出席者　安宅評議員　姉崎評議員　小江評議員　河井評議員　中村評議員　富田評議員
　　　　野村評議員　吉田評議員
　　　　三瓶理事長　中川常務理事　神部理事　向山理事　他法人事務局員５名同席
欠席者　なし
内　容　＜決議事項＞
　　　　１．役員等報酬規程の一部改正について
　　　　２．２０２３年度法人会計各拠点区分収支補正予算案の審議について
　　　　３．２０２４年度事業計画案の審議について
　　　　４．２０２４年度法人会計各拠点区分収支予算案の審議について
　　　　＜報告事項＞
　　　　１．障がい者総合支援法に基づく事業の定員変更等について
　　　　２．就業規則の一部改正について
　　　　３．給与規程の一部改正について
　　　　４．管理規則の一部改正について
　　　　５．人材育成考課規程の一部改正について
　　　　６．第１３期苦情解決第三者委員の選任結果について
　　　　７．障がい者生活支援センターみらいの委託料に係る消費税修正申告と納付について
　　　　８．令和５年度社会福祉法人に係る指導監査結果について
　　　　９．２０２４年能登半島地震に係る災害義援金について
　　　　10．２０２４年度長期勤続職員の表彰について

＜監事会（法人内部監査等）開催状況＞

【第199回監事会（法人内部監査）】

日　時　２０２３年５月３０日(月)　　14:00　～　16:30
日　時　北広島リハビリセンター　会議室
出席者　髙畠監事　前田監事
立会者　中川常務理事　神部理事　他法人事務局員６名同席
欠席者　なし
内　容　① 第205回理事会の議案内容確認
② 理事・評議員の職務執行状況（2023年1月～3月分）
③ 2022年度事業実績状況
④ 法人・施設運営及び管理状況（利用者処遇他）
⑤ 法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
⑥ 2022年度決算状況（計算書類・附属明細書・社会福祉充実残額他）
⑦ 会計処理状況（会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳他）
⑧ 資産及び負債残高確認（現金預金、固定資産、積立資産、借入金他）
⑨ 各種証憑書類等の精査及び照合他
⑩ 利用者預り金の管理状況（残高、出納、記帳、保管方法等）
⑪ 契約関係全般
⑫ 感染症に対する感染予防・拡大防止対策

【第200回監事会（法人内部監査）】

日　時　２０２３年９月５日(火)　　14:00　～　16:10
場　所　北広島リハビリセンター　会議室
出席者　髙畠監事　前田監事
立会者　中川常務理事　神部理事　向山理事　他法人事務局員５名同席
欠席者　なし
内　容　① 第207回理事会の議案内容確認
② 理事・評議員の職務執行状況（2023年4月～6月分）
③ 法人・施設運営及び管理状況（利用者処遇他）
④ 法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
⑤ 会計処理状況（会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳他）
⑥ 資産及び負債残高確認（現金預金、固定資産、積立資産、借入金他）
⑦ 各種証憑書類等の精査及び照合他
⑧ 利用者預り金の管理状況（残高、出納、記帳、保管方法等）
⑨ 感染症に対する感染予防・拡大防止対策

【第201回監事会（法人内部監査）】

日　時　２０２３年１１月２８日(火)　　14:00　～　16:20
場　所　北広島リハビリセンター　会議室
出席者　髙畠監事　前田監事
立会者　中川常務理事　神部理事　向山理事　他法人事務局員５名同席
欠席者　なし
内　容　① 第208回理事会の議案内容確認
② 理事・評議員の職務執行状況（2023年7月～9月分）
③ 法人・施設運営及び管理状況（利用者処遇他）
④ 法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
⑤ 会計処理状況（会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳他）
⑥ 資産及び負債残高確認（現金預金、固定資産、積立資産、借入金他）
⑦ 各種証憑書類等の精査及び照合他
⑧ 利用者預り金の管理状況（残高、出納、記帳、保管方法等）
⑨ 感染症に対する感染予防・拡大防止対策

【第202回監事会(法人内部監査)】

日　時 ２０２４年3月５日(火)　　14:00　～　16:30
場　所 北広島リハビリセンター　会議室
出席者 高畠監事　前田監事
立会者 中川常務理事　神部理事　向山理事　他法人事務局員４名同席
欠席者 齊藤施設長(法人事務局員)
内　容 ① 第209回理事会の議案内容確認
② 理事・評議員の職務執行状況（2023年10月～12月分）
③ 2023年度予算補正及び決算見込状況の確認
④ 2024年度事業計画案及び当初予算案の確認
⑤ 社会福祉法人に係る指導監査の状況
⑥ 法人・施設運営及び管理状況（利用者処遇他）
⑦ 法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
⑧ 会計処理状況（会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳他）
⑨ 資産及び負債残高確認（現金預金、固定資産、積立資産、借入金他）
⑩ 各種証憑書類等の精査及び照合他
⑪ 利用者預り金の管理状況（残高、出納、記帳、保管方法等）
⑫ 感染症に対する感染予防・拡大防止対策

2023年度 経営委員会（経営会議）開催状況

日　時　等	内　　　　　容
2023年4月26日（水） 10:30～12:00 出席者　8名 欠席者　0名	＜検討事項＞ 1．財務等の報告について（3月実績） 2．法人事業委員会の進捗状況について 3．介護職員等処遇改善加算の支給計画について 4．新型コロナウイルス感染拡大防止策について 5．重度障害者支援加算Ⅰの新規算定について 6．電気料金の値上げに伴う影響について 7．Ｊアラート（全国瞬時警報システム）発令時の対応について ＜報告事項＞ 1．法人各種委員会からの報告について 2．2023年度経営会議・幹部会議開催日時の変更について 3．北広島団地地区内のお祭り開催について 4．人事について 5．在籍状況について 6．３月の実績状況について 7．各サービス事業の動向と課題 8．事業別事故及びヒヤリハット等の状況
2023年5月24日（水） 10:30～12:00 出席者　8名 欠席者　0名	＜検討事項＞ 1．財務等の報告について（4月実績） 2．法人事業委員会の進捗状況について 3．賞与の支給について 4．新型コロナウイルス感染拡大防止策について 5．人材確保に向けた取り組みについて 6．「ともに」施設見学及び機器貸出の有料化について ＜報告事項＞ 1．法人各種委員会からの報告について 2．障がい者総合支援法実地指導について 3．特養部のお客様の夜間行方不明について 4．星槎道都大学初任者研修について 5．人事について 6．在籍状況について 7．４月の実績状況について 8．各サービス事業の動向と課題 9．事業別事故及びヒヤリハット等の状況
2023年6月26日（月） 10:30～12:00 出席者　7名 欠席者　1名	＜検討事項＞ 1．財務等の報告について（5月実績） 2．法人事業委員会の進捗状況について 3．訪問介護課夜勤体制の一部変更について 4．地域の夏祭りスケジュールについて 5．新型コロナウイルス感染拡大防止策について 6．北海道電力の電気料金値上げに伴う月額及び年間の影響額について 7．北海道電力低圧電力（ふれて）・従量電灯Ｂ（さとみ）のプラン内容変更について ＜報告事項＞ 1．法人各種委員会からの報告について 2．北海道ボールパーク村「メディカルスクエア」に関する情報について 3．職員定例集会について 4．サービス検討委員会の開催について 5．第６回法人福祉セミナーの開催について 6．人事等について 7．在籍状況について 8．５月の実績状況について 9．各サービス事業の動向と課題 10．事業別事故及びヒヤリハット等の状況

日　時　等	内　　　　容
2023年7月25日(火) 10:30～12:00 出席者　8名 欠席者　0名	＜検討事項＞ 1．財務等の報告について(6月実績) 2．法人事業委員会の進捗状況について 3．生涯現役地域づくり環境整備事業の進捗状況について 4．療護部新型コロナウイルス感染について 5．新型コロナウイルスワクチン接種者状況について 6．北海道電力の電気料金値上げに伴う月額及び年間の影響額について 7．Ｊアラート(全国瞬時警報システム)発令時の対応について ＜報告事項＞ 1．法人各種委員会からの報告について 2．各拠点におけるイベント等の開催(参加)について 3．人事について 4．在籍状況について 5．６月の実績状況について 6．各サービス事業の動向と課題 7．事業別事故及びヒヤリハット等の状況
2023年8月23日(水) 10:30～12:00 出席者　8名 欠席者　0名	＜検討事項＞ 1．財務等の報告について(7月実績) 2．法人事業委員会の進捗状況について 3．2023年度事業計画ヒアリング(中間)の実施について 4．北広島市生涯現役地域づくり環境整備事業の進捗状況について 5．コロナ感染に伴う抗原検査キットを用いた集中検査の実施について 6．北海道電力の電気料金値上げに伴う月額及び年間の影響額について ＜報告事項＞ 1．法人各種委員会からの報告について 2．法人職員合同研修会の開催について 3．きたひろサービスネット公開講座の開催について 4．人事について 5．在籍状況について 6．７月の実績状況について 7．各サービス事業の動向と課題 8．事業別事故及びヒヤリハット等の状況
2023年9月27日(水) 10:30～12:00 出席者　7名 欠席者　1名	＜検討事項＞ 1．財務等の報告について(8月実績) 2．法人事業委員会の進捗状況について 3．北海道最低賃金の変更について 4．新型コロナウイルス感染拡大防止策について 5．北海道電力の電気料金値上げに伴う月額及び年間の影響額について 6．各種委員会委員長会議の開催について 7．第６回法人合同福祉セミナーの開催について ＜報告事項＞ 1．法人各種委員会からの報告について 2．人事等について 3．在籍状況について 4．８月の実績状況について 5．各サービス事業の動向と課題 6．事業別事故及びヒヤリハット等の状況

日　時　等	内　　　容
2023年10月25日(水) 9:30～11:00 出席者　8名 欠席者　0名	<検討事項> 1．財務等の報告について(9月実績) 2．法人事業委員会の進捗状況について 3．令和５年度社会福祉法人指導監査の実施について 4．北広島市生涯現役地域づくり環境整備協議会の取り組み経過について 5．令和６年度障害福祉サービス等報酬改定について 6．北広島リハビリセンター空きスペースの活用について 7．北海道医療大学と連携協定締結へ向けた協議について 8．新型コロナウイルス感染等の状況について 9．北広島市福祉施設等臨時支援金について 10．2023年度ストレスチェックの実施について <報告事項> 1．法人各種委員会からの報告について 2．人事について 3．在籍状況について 4．９月の実績状況について 5．各サービス事業の動向と課題 6．事業別事故及びヒヤリハット等の状況
2023年11月23日(木) 9:30～11:00 出席者　8名 欠席者　0名	<検討事項> 1．財務等の報告について(10月実績) 2．法人事業委員会の進捗状況について 3．賞与支給(12月)について 4．新型コロナウイルス感染等の状況について 5．特定技能外国人の受入れについて 6．北海道電力の電気料金値上げに伴う月額及び年間の影響額について 7．年末年始の執行業務(法人)について 8．第６回法人合同福祉セミナーについて <報告事項> 1．法人各種委員会からの報告について 2．人事について 3．在籍状況について 4．１０月の実績状況について 5．各サービス事業の動向と課題 6．事業別事故及びヒヤリハット等の状況
2023年12月25日(月) 9:30～11:00 出席者　8名 欠席者　0名	<検討事項> 1．財務等の報告について(11月実績) 2．法人事業委員会の進捗状況について 3．2024年度事業計画、第４期３ヶ年アクションプランについて 4．新型コロナウイルス感染等の状況について 5．各制度並びに報酬改定等について 6．カスタマーハラスメントについて(特養部四恩園における事例から) 7．北海道電力の電気料金値上げに伴う月額及び年間の影響額について <報告事項> 1．法人各種委員会からの報告について 2．人事等について 3．在籍状況について 4．１１月の実績状況について 5．各サービス事業の動向と課題 6．事業別事故及びヒヤリハット等の状況
2024年1月24日(水) 9:30～11:00 出席者　8名 欠席者　0名	<検討事項> 1．財務等の報告について(12月実績) 2．法人事業委員会の進捗状況について 3．「障がい者生活支援センターみらい」委託料に係る社会福祉事業法上の取り扱いについて 4．新型コロナウイルス感染等の状況について 5．2024年能登半島地震に係る災害義援金について 6．北海道電力の電気料金値上げに伴う月額及び年間の影響額について <報告事項> 1．法人各種委員会からの報告について 2．人事について 3．在籍状況について 4．１２月の実績状況について 5．各サービス事業の動向と課題 6．事業別事故及びヒヤリハット等の状況

日　時　等	内　　　　容
2024年2月26日(月) 9:30〜11:00 出席者　8名 欠席者　0名	＜検討事項＞ 1．財務等の報告について(1月実績) 2．法人事業委員会の進捗状況について 3．2024年度予算案について 4．各事業ヒアリングの開催について 5．障がい者施設の定員変更等について 6．2024年能登半島地震に係る災害義援金について 7．長期勤続の表彰年と報奨金額の見直しについて 8．ワクチン接種に係る費用負担について 9．新型コロナウイルス感染等の状況について 10．北海道電力の電気料金値上げに伴う月額及び年間の影響額について ＜報告事項＞ 1．法人各種委員会からの報告について 2．人事について 3．在籍状況について 4．１月の実績状況について 5．各サービス事業の動向と課題 6．事業別事故及びヒヤリハット等の状況
2024年3月25日(月) 9:30〜11:00 出席者　8名 欠席者　0名	＜検討事項＞ 1．財務等の報告について(2月実績) 2．法人事業委員会の進捗状況について 3．2024年度経営会議・幹部会議日程について 4．2024年度理事会・評議員会・監事監査開催予定について 5．2024年度各種委員会について 6．労働者代表の選任について 7．介護福祉士資格取得支援制度規程の変更案について 8．新型コロナウイルス感染等の状況について 9．感染拡大防止に向けたマスク着用について 10．北海道電力の電気料金値上げに伴う月額及び年間の影響額について 11．能登半島地震　身障協人的支援(応援職員の派遣)について 12．利用者負担金の改定について(北広島リハビリセンター) ＜報告事項＞ 1．法人各種委員会からの報告について 2．人事等について 3．在籍状況について 4．２月の実績状況について 5．各サービス事業の動向と課題 6．事業別事故及びヒヤリハット等の状況

2023年度 運営委員会（幹部会議）開催状況

日　時　等	内　　　　　容
2023年4月28日（金） 9:30～11:00 出席者　21名 欠席者　 0名	＜内容＞ ・グループ討議　「法人プロジェクト委員会進捗状況について」 「事業計画進捗状況・収支状況分析（第４四半期）」 １．事業の推移と財務等の報告について ２．２０２３年度研修予定について（サービス向上推進委員会） ３．介護職員等処遇改善加算の支給計画について ４．新型コロナウイルス感染拡大防止策について ５．電気料金値上げに伴う影響について ６．重度障害者支援加算Ⅰの新規算定について ７．Ｊアラート（全国瞬時警報システム）発令時の対応について ８．法人各種委員会からの進捗状況と周知事項について
2023年5月26日（金） 9:30～11:00 出席者　21名 欠席者　 0名	＜内容＞ ・グループ討議　「〝ありがとう〞の言葉からの気づき」 １．事業の推移と財務等の報告について ２．賞与の支給について ３．新型コロナウイルス感染拡大防止策について ４．北広島リハビリセンター療護部過誤請求について ５．ともに施設見学及び機器貸出の有料化について ６．法人各種委員会からの進捗状況と周知事項について
2023年6月28日（水） 9:30～11:00 出席者　18名 欠席者　 3名	＜内容＞ ・グループ討議　「地域における社会福祉法人が果たす役割とは」 １．事業の推移と財務等の報告について ２．新規採用職員研修について ３．地域の夏祭りスケジュールについて ４．新型コロナウイルス感染拡大防止策について ５．法人各種委員会からの進捗状況と周知事項について
2023年7月28日（金） 9:30～11:00 出席者　21名 欠席者　 0名	＜内容＞ ・グループ討議　「法人プロジェクト委員会進捗状況について」 「事業計画進捗状況・収支状況分析（第１四半期）」 １．事業の推移と財務等の報告について ２．生涯現役地域づくり環境整備事業の進捗状況について ３．療護部コロナウイルス感染について ４．新型コロナウイルス感染拡大防止策について ５．拠点合同施設長会の開催について ６．北海道電力の電気料金値上げに伴う月額及び年間の影響額について ７．法人各種委員会からの進捗状況と周知事項について ８．各拠点のイベント開催（参加）予定について
2023年8月25日（金） 10:00～11:30 出席者　19名 欠席者　 2名	＜内容＞ ・グループ討議　「北広島市生涯現役地域づくり環境整備事業の取り組みについて」 １．事業の推移と財務等の報告について ２．２０２３年度事業計画ヒアリング（中間）について ３．新型コロナウイルス感染拡大防止策について ４．北広島市生涯現役地域づくり環境整備事業の進捗状況について ５．コロナ感染拡大防止に向けた抗原検査キットを活用した集中検査の実施について ６．法人各種委員会からの進捗状況と周知事項について
2023年9月28日（木） 9:30～11:00 出席者　18名 欠席者　 3名	＜内容＞ ・グループ討議　「法人設立５０周年とこれからの法人が目指すもの」 １．事業の推移と財務等の報告について ２．北海道最低賃金変更に伴う対応について ３．新型コロナウイルス感染拡大防止策について ４．各種委員会委員長会議の開催について ６．法人各種委員会からの進捗状況と周知事項について

日　時　等	内　　　　容
2023年10月27日(金) 9:30～11:00 出席者　19名 欠席者　　2名	<内容> ・グループ討議　「法人プロジェクト委員会進捗状況について」 　　　　　　　　「事業計画進捗状況・収支状況分析(第２四半期)」 1．事業の推移と財務等の報告について 2．北広島市生涯現役地域づくり環境整備事業の取り組み経過について 3．令和６年度障害福祉サービス等報酬改定について 4．北広島リハビリセンターの空きスペースの活用について 5．北海道医療大学と連携協定締結に向けた協議について 6．新型コロナウイルス感染等の状況について 7．北広島市福祉施設等臨時支援金について 8．２０２３年度ストレスチェックの実施について) 9．法人敷地内の遊歩道造成について
2023年11月29日(水) 9:30～11:00 出席者　21名 欠席者　　0名	<内容> ・グループ討議　「人材確保に向けた具体的な取り組みについて」 1．事業の推移と財務等の報告について 2．賞与支給(12月)について 3．新型コロナウイルス感染等の状況について 4．特定技能外国人の受入れについて 5．第６回法人合同セミナーについて
2023年12月27日(水) 9:30～11:00 出席者　21名 欠席者　　0名	<内容> ・グループ討議　「健康寿命の延伸が私たちの生活や事業にもたらすもの」 1．事業の推移と財務等の報告について 2．２０２４年度事業計画、第４期３ヶ年アクションプランについて 3．新型コロナウイルス感染等の状況について 4．各制度並びに報酬改定等について 5．カスタマーハラスメントについて(特養部四恩園における事例から)
2024年1月26日(金) 9:30～11:00 出席者　21名 欠席者　　0名	<内容> ・グループ討議　「法人プロジェクト委員会進捗状況について」 　　　　　　　　「事業計画進捗状況・収支状況分析(第３四半期)」 1．事業の推移と財務等の報告について 2．2024年度事業計画、第4期3ヶ年アクションプラン(2024～2026年度)について 3．「障がい者生活支援センターみらい」委託料に係る社会福祉事業法上の取り扱いについて 4．新型コロナウイルス感染等の状況について 5．2024年能登半島地震に係る災害義援金について 6．北海道電力の電気料金値上げに伴う月額及び年間の影響額について
2024年2月28日(水) 9:30～11:00 出席者　18名 欠席者　　0名	<内容> ・グループ討議　「ケアを受けるということ」 1．事業の推移と財務等の報告について 2．2024年度予算案について 3．各事業ヒアリングの開催について 4．障がい者施設の定員変更について 5．2024年能登半島地震に係る災害義援金について 6．長期勤続の表彰年と報奨金額の見直しについて 7．ワクチン接種に係る費用負担について 8．新型コロナウイルス感染等の状況について
2024年3月29日(金) 9:30～11:00 出席者　17名 欠席者　　1名	<内容> ・グループ討議　「働きやすさと働きづらさ」 1．事業の推移と財務等の報告について 2．2024年度経営会議・幹部会議日程について 3．2024年度理事会・評議員会・監事監査開催日程について 4．2024年度各種委員会について 5．労働者代表の選任について 6．介護福祉士資格取得支援制度規程の変更について 7．新型コロナウイルス感染等の状況について 8．感染拡大防止に向けたマスク着用について 9．能登半島地震 身障協人的支援(応援職員の派遣)について 10．利用者負担金の改定について(北広島リハビリセンター療護部)

サービス検討委員会委員（障がい者施設）

氏　名	所　属　等
鈴木靖彦氏	北広島市役所保健福祉部　福祉課長
田中宏明氏	社会福祉法人北広島市社会福祉協議会　事務局長
橘　功記氏	たちばな法律事務所　弁護士
桂　靖恵氏	法人　苦情解決第三者委員
福原淑子氏	法人　苦情解決第三者委員

2023年度 サービス検討委員会（障がい者施設）開催状況

日　時	議　題
第16回サービス検討委員会 2023年4月26日（水） 14:00～15:00 ※新型コロナウイルス感染防止対策により12名で開催 外部委員　5名 職員　7名	＜議題＞ 1．各事業の実績状況について 1）北広島リハビリセンター療護部 2）北広島リハビリセンター診療部 3）のびのびファイン 4）障がい児通所支援事業所みなみ 5）障がい福祉サービス事業所みなみ 6）障がい者生活支援センターみらい 7）障がい者施設共通事項 2．次回委員会の開催予定について
第17回サービス検討委員会 2023年7月26日（水） 14:00～14:50 ※新型コロナウイルス感染防止対策により11名で開催 外部委員　5名 職員　6名	＜議題＞ 1．各事業の実績状況について 1）北広島リハビリセンター療護部 2）北広島リハビリセンター診療部 3）のびのびファイン 4）障がい児通所支援事業所みなみ 5）障がい福祉サービス事業所みなみ 6）障がい者生活支援センターみらい 7）障がい者施設共通事項 2．障がい者支援施設の実地指導結果について 3．次回委員会の開催予定について
第18回サービス検討委員会 2023年10月25日（水） 14:00～15:00 ※新型コロナウイルス感染防止対策により10名で開催 外部委員　5名 職員　5名	＜議題＞ 1．各事業の実績状況について 1）北広島リハビリセンター療護部 2）北広島リハビリセンター診療部 3）のびのびファイン 4）障がい児通所支援事業所みなみ 5）障がい福祉サービス事業所みなみ 6）障がい者生活支援センターみらい 7）障がい者施設共通事項 2．その他 3．次回委員会の開催予定について
第19回サービス検討委員会 2024年1月24日（水） 14:00～15:00 ※新型コロナウイルス感染防止対策により10名で開催 外部委員　5名 職員　6名	＜議題＞ 1．各事業の実績状況について 1）北広島リハビリセンター療護部 2）北広島リハビリセンター診療部 3）のびのびファイン 4）障がい児通所支援事業所みなみ 5）障がい福祉サービス事業所みなみ 6）障がい者生活支援センターみらい 7）障がい者施設共通事項 2．その他 3．次回委員会の開催予定について

サービス検討委員会委員（高齢者施設）

氏　名	所　属　等
工　藤　秀　之　氏	北広島市役所保健福祉部　高齢者支援課長
田　中　宏　明　氏	社会福祉法人北広島市社会福祉協議会　事務局長
橘　　功　記　氏	たちばな法律事務所　弁護士
汐　川　美恵子　氏	市民オンブズマン
前　川　祐　子　氏	市民オンブズマン
島　谷　清　張　氏	法人　苦情解決第三者委員
藤　野　紀代子　氏	法人　苦情解決第三者委員

2023年度 サービス検討委員会（高齢者施設）開催状況

日　時	議　題
第91回サービス検討委員会 2023年4月20日（木） 場所　地域サポートセンターともに 参加者　17名 欠席　　2名	＜議題＞ １．各事業の実績状況、苦情事故等報告について １）特別養護老人ホーム・短期入所 ２）デイサービスセンター四恩園、デイホームさとみ、デイホームかたる ３）みなみ高齢者支援センター ４）居宅介護支援事業所 ５）グループホーム ６）複合型サービス ７）ホームヘルプサービス ８）訪問看護 ９）サービス付き高齢者向け住宅 １０）地域交流事業 ２．新型コロナウイルス感染症の対応について ３．外部委員からの意見 ４．特養入所待機状況、入居判定結果 ５．次回委員会の開催予定について
第92回サービス検討委員会 2023年7月20日（木） 場所　地域サポートセンターともに 参加者　16名 欠席　　3名	＜議題＞ １．各事業の実績状況、苦情事故等報告について １）特別養護老人ホーム・短期入所 ２）デイサービスセンター四恩園、デイホームさとみ、デイホームかたる ３）みなみ高齢者支援センター ４）居宅介護支援事業所 ５）グループホーム ６）複合型サービス ７）ホームヘルプサービス ８）訪問看護 ９）サービス付き高齢者向け住宅 １０）地域交流事業 ２．新型コロナウイルス感染症の対応について ３．外部委員からの意見 ４．特養入所待機状況、入居判定結果 ５．次回委員会の開催予定について
第93回サービス検討委員会 2023年10月19日（木） 場所　地域サポートセンターともに 参加者　19名 欠席　　0名	＜議題＞ １．各事業の実績状況、苦情事故等報告について １）特別養護老人ホーム・短期入所 ２）デイサービスセンター四恩園、デイホームさとみ、デイホームかたる ３）みなみ高齢者支援センター ４）居宅介護支援事業所 ５）グループホーム ６）複合型サービス ７）ホームヘルプサービス ８）訪問看護 ９）サービス付き高齢者向け住宅 １０）地域交流事業 ２．新型コロナウイルス感染症の対応について ３．外部委員からの意見 ４．特養入所待機状況、入居判定結果 ５．次回委員会の開催予定について
第94回サービス検討委員会 2024年1月18日（木） 場所　地域サポートセンターともに 参加者　18名 欠席　　1名	＜議題＞ １．各事業の実績状況、苦情事故等報告について １）特別養護老人ホーム・短期入所 ２）デイサービスセンター四恩園、デイホームさとみ、デイホームかたる ３）みなみ高齢者支援センター ４）居宅介護支援事業所 ５）グループホーム ６）複合型サービス ７）ホームヘルプサービス ８）訪問看護 ９）サービス付き高齢者向け住宅 １０）地域交流事業 ２．新型コロナウイルス感染症の対応について ３．外部委員からの意見 ４．特養入所待機状況、入居判定結果 ５．次回委員会の開催予定について

2023年度 資金収支決算報告書

(自) 2023年4月1日　(至) 2024年3月31日

No1

<法人本部・障がい者施設>

(単位 円)

収支区分及び科目		拠点区分	法人本部	療護部	のびのびファイン	診療部		小計 ①	備考
事業活動による収入		介護保険事業収入			37,523,629			37,523,629	施設・居宅・地域密着型サービス等介護給付費
		障害福祉サービス事業収入		399,993,334				399,993,334	生活介護・自立訓練・入所支援・居宅介護他給付費
		老人福祉事業収入						0	サービス付き高齢者向け住宅家賃・管理費・食費他
		医療事業収入				12,594,105		12,594,105	外来診療・訪問介護療養費・予防接種委託事業費
		その他の事業収入	7,041,416	2,767,454	167,950	100,000		10,076,820	北広島市委託事業費
		研修事業収入						0	介護職員初任者研修事業受講料
		経常経費寄附金収入						0	法人及び施設寄附金、寄附物品
		受取利息配当金収入	60	170	20	16		266	預金利息
		その他の収入	105,720	4,600,317	2,300	563,726		5,272,063	実習費、食費(利用者以外)、雑収入他
		事業活動収入 計 ①	7,147,196	407,361,275	37,693,899	13,257,847		465,460,217	
事業活動による支出	人件費支出	役員報酬支出	8,099,355					8,099,355	職員給与、諸手当
		職員給料支出	11,554,520	168,124,827	21,993,335	1,715,550		203,388,232	職員給与、諸手当
		職員賞与支出	2,637,250	38,402,751	4,769,510	842,050		46,651,561	職員期末手当
		非常勤職員給与支出	5,638,538	64,321,473	1,372,227	4,728,188		76,060,426	臨時職員等賃金
		派遣職員費支出						0	派遣職員委託費
		退職給付支出	89,000	11,096,138	613,595	44,500		11,843,233	退職共済掛金
		法定福利費支出	3,353,049	41,754,389	4,517,807	830,787		50,456,032	社会保険料事業主負担額
		人件費 小計 A	31,371,712	323,699,578	33,266,474	8,161,075		396,498,839	
	事業費支出	給食費支出		22,647,190				22,647,190	利用者給食材料
		介護用品費支出		1,281,578				1,281,578	利用者直接処遇用介護用品購入費
		医薬品費支出				1,017,291		1,017,291	診療用医薬品購入費
		診療・療養等材料費支出				465,915		465,915	診療用消耗品等購入費
		保健衛生費支出		500,293	904			501,197	利用者健診費
		医療費支出						0	利用者医療機関診療費
		被服費支出		2,114,343				2,114,343	利用者衣類・寝具等購入費
		教養娯楽費支出		764,747	2,200			766,947	利用者行事、レクリエーション等開催諸経費他
		日用品費支出						0	利用者現物給付日用品
		水道光熱費支出		18,622,255	588,069	392,065		19,602,389	電気・ガス・水道料
		燃料費支出		19,472,530	614,922	409,948		20,497,400	重油、灯油代
		消耗器具備品費支出		1,581,700	124,658	1,725		1,708,083	利用者直接処遇消耗品、備品購入費
		保険料支出						0	利用者損害保険料
		賃借料支出		2,555,240				2,555,240	利用者処遇用器具・備品等リース料
		葬祭費支出						0	利用者葬祭費
		車輌費支出		2,992,300	81,539	35,641		3,109,480	車輌燃料費、車輌検査費等
		業務委託費支出						0	サービス付き高齢者向け住宅管理費返還
		諸謝金支出	33,411	133,411				166,822	職員紹介謝礼
		検査費支出				1,126,504		1,126,504	診療用検査費
		雑支出		28,134				28,134	その他の事業費支出
		事業費支出 小計 B	33,411	72,693,721	1,412,292	3,449,089		77,588,513	
	事務費支出	福利厚生費支出	451,383	1,866,967	66,921	19,248		2,404,519	職員検診、福利事業諸費他
		職員被服費支出		663,392	15,928	27,446		706,766	職員貸与制服、作業衣等購入費
		旅費交通費支出	222,537	131,024	128,454			482,015	旅費、日当、外勤手当
		研修研究費支出	83,800	109,610				193,410	研修会参加費
		事務消耗品費支出	542,217	1,651,671	241,471	123,206		2,558,565	事務用品購入費
		印刷製本費支出	712,250	251,622				963,872	印刷物作成費・製本費
		水道光熱費支出	109,261					109,261	電気・ガス・水道料
		燃料費支出						0	重油、灯油代
		修繕費支出	1,664,123	4,000,693				5,664,816	建物・器具備品等修理費
		通信運搬費支出	7,120	1,107,309	434	181,212		1,296,075	電話・FAX・切手・各種発送費
		会議費支出						0	会議用茶菓子・食糧費
		広報費支出	232,100	126,863				358,963	広告折込料、チラシ、広報誌作成他
		業務委託費支出	2,620,200	3,199,537	55,668	136,110		6,011,515	清掃・洗濯・警備・除雪等委託費
		手数料支出	122,799	114,612	274,885	4,840		517,136	振込料・申請手数料・各種代行手数料他
		保険料支出	225,847	718,706	169,570	10,337		1,124,460	建物・設備損害保険料、職員損害保険料
		賃借料支出	516,230	748,649	623,040	121,200		2,009,119	器具備品等リース料
		土地・建物賃借料支出						0	土地及び建物等借用費
		租税公課支出	390,400	167,000	2,100	132,200		691,700	印紙、自動車税他
		保守料支出		4,107,360	6,405	283,669		4,397,434	建物及び各種機器等保守・点検料
		渉外費支出	222,430	270,000	10,000	10,000		512,430	慶弔費、創設記念費等
		諸会費支出	159,000	245,500	18,000	131,000		553,500	各種団体加盟会費・負担金
		雑支出	1,167,128	186,894	32,642	225,568		1,612,232	その他の事務費支出
		事務費支出 小計 C	9,448,825	19,667,409	1,645,518	1,406,036		32,167,788	
	利用者負担軽減額							0	介護保険施設負担金軽減額
	支払利息支出		50,118	179,647		1,410		231,175	借入金利息、リース債務利息
	その他の支出							0	利用者等外給食費他
	流動資産評価減等による資金減少額							0	利用者負担金徴収不能額
	事業活動支出 計 ②		40,904,066	416,240,355	36,324,284	13,017,610		506,486,315	
事業活動資金収支差額 ③ (①-②)			△ 33,756,870	△ 8,879,080	1,369,615	240,237		△ 41,026,098	
施設整備等による収入		施設整備等補助金収入				429,000		429,000	建物新築、改修等補助金
		施設整備等寄附金収入						0	建物新築、改修等寄附金
		施設整備借入金収入						0	建物新築、改修等資金借入金
		固定資産売却収入		450,000				450,000	
		施設整備等収入 計 ④	0	450,000	0	429,000		879,000	
施設整備等による支出		設備資金借入金元金償還支出		5,520,000				5,520,000	福祉医療機構・銀行借入金元金返済
		固定資産取得支出				553,300		553,300	固定資産新規取得額
		固定資産除却・廃棄支出						0	固定資産廃棄処分額
		ファイナンス・リース債務の返済支出		1,942,484		99,966		2,042,450	パソコン他設備機器リース元金返済
		施設整備等支出 計 ⑤	0	7,462,484	0	653,266		8,115,750	
施設整備等資金収支差額 ⑥ (④-⑤)			0	△ 7,012,484	0	△ 224,266		△ 7,236,750	
その他の活動による収入		長期運営資金借入金収入						0	退職共済出資金、各種積立金取崩額
		積立資産取崩収入	3,400,000	5,917,924	524,595			9,842,519	退職共済出資金、各種積立金取崩額
		事業区分間繰入金収入	6,816,000					6,816,000	事業区分間の資金繰入額 (内部取引)
		拠点区分間繰入金収入	28,744,000		500,000			29,244,000	拠点区分間の資金繰入額 (内部取引)
		その他の活動による収入						0	長期預り金収入 (入居者敷金)
		その他の活動収入 計 ⑦	38,960,000	5,917,924	1,024,595	0		45,902,519	
その他の活動による支出		長期運営資金借入金元金償還支出	4,992,000					4,992,000	退職共済出資金、各種積立金積立額
		積立資産支出	362,040	5,692,310	934,495	119,460		7,108,305	退職共済出資金、各種積立金積立額
		事業区分間繰入金支出				340,000		340,000	事業区分間の資金繰入額 (内部取引)
		拠点区分間繰入金支出		4,000,000	680,000			4,680,000	拠点区分間の資金繰入額 (内部取引)
		その他の活動による支出						0	
		その他の活動支出 計 ⑧	5,354,040	9,692,310	1,614,495	459,460		17,120,305	
その他の活動資金収支差額 ⑨ (⑦-⑧)			33,605,960	△ 3,774,386	△ 589,900	△ 459,460		28,782,214	
当期資金収支差額合計 ⑩ (③+⑥+⑨)			△ 150,910	△ 19,665,950	779,715	△ 443,489		△ 19,480,634	
前期末支払資金残高 ⑪			6,402,165	67,118,320	△ 5,636,965	6,323,603		74,207,123	
当期末支払資金残高 ⑫ (⑩+⑪)			6,251,255	47,452,370	△ 4,857,250	5,880,114		54,726,489	

2023年度 資金収支決算報告書

(自) 2023年4月1日　(至) 2024年3月31日

No2

＜法人本部・障がい者施設＞

(単位 円)

収支区分及び科目	拠点区分	障がい福祉サービス	障がい児通所支援	生活支援		小計②	合計(①+②)	備考
事業活動による収入	介護保険事業収入					0	37,523,629	施設・居宅・地域密着型サービス等介護給付費
	障害福祉サービス事業収入	102,553,710	26,673,969	49,908,190		179,135,869	579,129,203	生活介護・自立訓練・入所支援・居宅介護他給付費
	老人福祉事業収入					0	0	サービス付き高齢者向け住宅家賃・管理費・食費他
	医療事業収入					0	12,594,105	外来診療・訪問介護療養費・予防接種委託事業費
	その他の事業収入	533,967	2,159,468	12,452,100		15,145,535	25,222,355	北広島市委託事業費
	研修事業収入					0	0	介護職員初任者研修事業受講料
	経常経費寄附金収入					0	0	法人及び施設寄附金、寄附物品
	受取利息配当金収入	37	13	26		76	342	預金利息
	その他の収入	376,680	2,271,200			2,647,880	7,919,943	実習費、食費(利用者以外)、雑収入他
	事業活動収入 計 ①	103,464,394	31,104,650	62,360,316		196,929,360	662,389,577	
事業活動による支出 / 人件費支出	役員報酬支出					0	8,099,355	職員給与、諸手当
	職員給料支出	30,491,490	11,263,668	23,865,439		65,620,597	269,008,829	職員給与、諸手当
	職員賞与支出	6,980,020	2,346,740	5,462,950		14,789,710	61,441,271	職員期末手当
	非常勤職員給与支出	29,566,587	3,187,668	2,098,025		34,852,280	110,912,706	臨時職員等賃金
	派遣職員費支出					0	0	派遣職員委託費
	退職給付支出	222,500	44,500	178,000		445,000	12,288,233	退職共済掛金
	法定福利費支出	9,729,271	2,576,895	5,229,297		17,535,463	67,991,495	社会保険料事業主負担額
	人件費 小計 A	76,989,868	19,419,471	36,833,711		133,243,050	529,741,889	
事業費支出	給食費支出	3,142,464				3,142,464	25,789,654	利用者給食材料
	介護用品費支出		8,395			8,395	1,289,973	利用者直接処遇用介護用品購入費
	医薬品費支出					0	1,017,291	診療用医薬品購入費
	診療・療養等材料費支出					0	465,915	診療用消耗品等購入費
	保健衛生費支出	25,736	54,239			79,975	581,172	利用者健診費
	医療費支出					0	0	利用者医療機関診療費
	被服費支出					0	2,114,343	利用者衣類・寝具等購入費
	教養娯楽費支出	323,674	65,871			389,545	1,156,492	利用者行事、レクリエーション等開催諸経費他
	日用品費支出					0	0	利用者現物給付日用品
	水道光熱費支出	5,988,770	1,711,067	855,571		8,555,408	28,157,797	電気・ガス・水道料
	燃料費支出	1,332,332	380,663	190,344		1,903,339	22,400,739	重油、灯油代
	消耗器具備品費支出	527,139	208,028	9,220		744,387	2,452,470	利用者直接処遇消耗品、備品購入費
	保険料支出		2,700			2,700	2,700	利用者損害保険料
	賃借料支出	1,392,852	7,660	977,177		2,377,689	4,932,929	利用者処遇用器具・備品等リース料
	葬祭費支出					0	0	利用者葬祭費
	車輌費支出	3,100,024	707,319	292,947		4,100,290	7,209,770	車輛燃料費、車輛検査費等
	業務委託費支出					0	0	サービス付き高齢者向け住宅管理費返還
	諸謝金支出					0	166,822	職員紹介謝礼
	検査費支出					0	1,126,504	診療用検査費
	雑支出	99,950	1,100,214	8,416		1,208,580	1,236,714	その他の事業費支出
	事業費支出 小計 B	15,932,941	4,246,156	2,333,675		22,512,772	100,101,285	
事務費支出	福利厚生費支出	306,582	70,275	83,085		459,942	2,864,461	職員検診、福利事業諸費他
	職員被服費支出	63,951	62,205			126,156	832,922	職員貸与制服、作業衣等購入費
	旅費交通費支出	39,660		43,270		82,930	564,945	旅費、日当、外勤手当
	研修研究費支出	51,500				51,500	244,910	研修会参加費
	事務消耗品費支出	256,225	36,950	101,285		394,460	2,953,025	事務用品購入費
	印刷製本費支出	203,414		132,435		335,849	1,299,721	印刷物作成費・製本費
	水道光熱費支出					0	109,261	電気・ガス・水道料
	燃料費支出					0	0	重油、灯油代
	修繕費支出	1,081,592				1,081,592	6,746,408	建物・器具備品等修理費
	通信運搬費支出	450,119	114,874	818,092		1,383,085	2,679,160	電話・FAX・切手・各種発送費
	会議費支出					0	0	会議用茶菓子・食糧費
	広報費支出					0	358,963	広告折込料、チラシ、広報誌作成他
	業務委託費支出	364,092	48,713	176,157		588,962	6,600,477	清掃・洗濯・警備・除雪等委託費
	手数料支出	244,124	80,003	3,570		327,697	844,833	振込料・申請手数料・各種代行手数料他
	保険料支出	376,479	85,593	160,829		622,901	1,747,361	建物・設備損害保険料、職員損害保険料
	賃借料支出	694,179	63,445	464,484		1,222,108	3,231,227	器具備品等リース料
	土地・建物賃借料支出					0	0	土地及び建物等借用費
	租税公課支出	31,500	76,300	12,437,300		12,545,100	13,236,800	印紙、自動車税他
	保守料支出	786,042	183,348	92,770		1,062,160	5,459,594	建物及び各種機器等保守・点検料
	渉外費支出	75,000				75,000	587,430	慶弔費、創設記念費等
	諸会費支出	6,000	30,000			36,000	589,500	各種団体加盟会費・負担金
	雑支出	13,294		5,700		18,994	1,631,226	その他の事務費支出
	事務費支出 小計 C	5,043,753	851,706	14,518,977		20,414,436	52,582,224	
	利用者負担軽減額					0	0	介護保険施設負担金軽減額
	支払利息支出	587,556	239,158	3,947		830,661	1,061,836	借入金利息、リース債務利息
	その他の支出					0	0	利用者等外給食費他
	流動資産評価減等による資金減少額					0	0	利用者負担金徴収不能額
	事業活動支出 計 ②	98,554,118	24,756,491	53,690,310		177,000,919	683,487,234	
事業活動資金収支差額 ③ (①-②)		4,910,276	6,348,159	8,670,006		19,928,441	△ 21,097,657	
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入					0	429,000	建物新築、改修等補助金
	施設整備等寄附金収入					0	0	建物新築、改修等寄附金
	施設整備借入金収入					0	0	建物新築、改修等資金借入金
	固定資産売却収入					0	450,000	
	施設整備等収入 計 ④	0	0	0		0	879,000	
施設整備等による支出	設備資金借入金元金償還支出	5,623,200	2,296,800			7,920,000	13,440,000	福祉医療機構・銀行借入金元金返済
	固定資産取得支出					0	553,300	固定資産新規取得額
	固定資産除却・廃棄支出					0	0	固定資産廃棄処分額
	ファイナンス・リース債務の返済支出	339,886	79,970	279,905		699,761	2,742,211	パソコン他設備機器リース元金返済
	施設整備等支出 計 ⑤	5,963,086	2,376,770	279,905		8,619,761	16,735,511	
施設整備等資金収支差額 ⑥ (④-⑤)		△ 5,963,086	△ 2,376,770	△ 279,905		△ 8,619,761	△ 15,856,511	
その他の活動による収入	積立資産取崩収入					0	0	退職共済出資金、各種積立金取崩額
	事業区分間繰入金収入					0	6,816,000	事業区分間の資金繰入額 (内部取引)
	拠点区分間繰入金収入	1,500,000				1,500,000	30,744,000	拠点区分間の資金繰入額 (内部取引)
	その他の活動による収入					0	0	長期預り金収入 (入居者敷金)
	その他の活動収入 計 ⑦	1,500,000	0	0		1,500,000	47,402,519	
その他の活動による支出	積立資産支出	1,171,805	492,190	881,700		2,545,695	7,537,695	退職共済出資金、各種積立金積立額
	事業区分間繰入金支出					0	340,000	事業区分間の資金繰入額 (内部取引)
	拠点区分間繰入金支出		1,680,000	4,020,000		5,700,000	10,380,000	拠点区分間の資金繰入額 (内部取引)
	その他の活動による支出					0	0	
	その他の活動支出 計 ⑧	1,171,805	2,172,190	4,901,700		8,245,695	25,366,000	
その他の活動資金収支差額 ⑨ (⑦-⑧)		328,195	△ 2,172,190	△ 4,901,700		△ 6,745,695	22,036,519	
当期資金収支差額合計 ⑩ (③+⑥+⑨)		△ 724,615	1,799,199	3,488,401		4,562,985	△ 14,917,649	
前期末支払資金残高 ⑪		△ 9,077,504	2,081,483	9,914,149		2,918,128	77,125,251	
当期末支払資金残高 ⑫ (⑩+⑪)		△ 9,802,119	3,880,682	13,402,550		7,481,113	62,207,602	

2023年度 資金収支決算報告書

(自) 2023年4月1日　(至) 2024年3月31日

No3

＜高齢者施設＞

(単位 円)

収支区分及び科目	拠点区分	特養部	デイサービス	デイホーム さとみ	デイホーム かたる	ホームヘルプ	複合型 サービス	グループホーム	小 計 ①	備 考
事業活動による収入	介護保険事業収入	231,342,796	64,763,114	20,744,210	67,259,038	43,288,116	87,046,455	93,555,870	607,999,599	施設・居宅・地域密着型サービス等介護給付費
	障害福祉サービス事業収入					22,484,920			22,484,920	生活介護・自立訓練・入所支援・居宅介護他給付費
	老人福祉事業収入								0	サービス付き高齢者向け住宅家賃・管理費・食費他
	医療事業収入								0	外来診療・訪問介護療養費・予防接種委託事業費
	その他の事業収入	4,645,911	418,935	118,773	313,014	267,475	694,110	417,747	6,875,965	街灯料助成金他
	研修事業収入								0	介護職員初任者研修事業受講料
	経常経費寄附金収入	200,000							200,000	法人及び施設寄附金、寄附物品
	受取利息配当金収入	393	170	87	68	141	180	107	1,146	預金利息
	その他の収入	1,215,747	434,590	30,000	451,105	81,152			2,212,594	実習費、食費(利用者以外)、雑収入他
	事業活動収入 計 ①	237,404,847	65,616,809	20,893,070	68,023,225	66,121,804	87,740,745	93,973,724	639,774,224	
事業活動による支出 人件費支出	職員給料支出	66,718,793	20,058,148	2,901,236	26,233,420	17,640,483	24,967,032	21,752,988	180,272,100	職員給与、諸手当
	職員賞与支出	13,544,810	4,191,250	662,900	5,663,810	3,619,305	5,359,890	4,116,115	37,158,080	職員期末手当
	非常勤職員給与支出	47,967,931	25,383,850	6,324,124	11,048,808	26,815,801	27,463,585	35,851,949	180,856,048	臨時職員等賃金
	派遣職員費支出								0	派遣職員委託費
	退職給付支出	3,036,828	3,478,245		3,035,935		44,500	262,030	9,857,538	退職共済掛金
	法定福利費支出	18,344,043	6,259,370	645,320	5,773,717	5,565,788	7,891,746	7,524,262	52,004,246	社会保険料事業主負担額
	人件費 小計 A	149,612,405	59,370,863	10,533,580	51,755,690	53,641,377	65,726,753	69,507,344	460,148,012	
事業費支出	給食費支出	23,926,967	3,498,820	685,886	4,387,095		3,684,675	6,592,036	42,775,479	利用者給食材料
	介護用品費支出	3,931,013	86,096	13,223	34,375		51,167	69,630	4,185,504	利用者直接処遇用介護用品購入費
	医薬品費支出								0	診療用医薬品購入費
	診療・療養等材料費支出								0	診療用消耗品等購入費
	保健衛生費支出	1,372,939	1,063	5,191	6,480		20,611	15,897	1,422,181	利用者健診費
	医療費支出								0	利用者医療機関診療費
	被服費支出	1,574,839	174,986		84,546		225,456		2,059,827	利用者衣類・寝具等購入費
	教養娯楽費支出	264,084	629,144	36,462	312,178	44,343	153,187	160,295	1,599,693	利用者行事、レクリェーション等開催諸経費他
	日用品費支出								0	利用者現物給付日用品
	水道光熱費支出	10,063,304	4,312,865	326,446	4,039,339	2,312,736	3,444,416	4,215,310	28,714,416	電気・ガス・水道料
	燃料費支出	8,199,114	3,513,906	304,393	2,483,494	926,784	1,235,668	1,544,584	18,207,943	重油、灯油代
	消耗器具備品費支出	2,496,945	203,422	128,358	467,368	27,580	351,975	535,975	4,211,623	利用者直接処遇消耗品、備品購入費
	保険料支出				2,700				2,700	利用者損害保険料
	賃借料支出	324,642							324,642	利用者処遇用器具・備品等リース料
	葬祭費支出								0	利用者葬祭費
	車輌費支出	1,284,800	1,289,275	305,436	1,652,191	5,348	907,892		5,444,942	車輌燃料費、車輌検査費等
	管理費返還支出								0	サービス付き高齢者向け住宅管理費返還
	諸謝金支出								0	介護職員初任者研修事業講師料
	雑支出	801,600	70,569		33,418				905,587	その他の事業費支出
	事業費支出 小計 B	54,240,247	13,780,146	1,805,395	13,503,184	3,316,791	10,075,047	13,133,727	109,854,537	
事務費支出	福利厚生費支出	1,224,614	173,993	75,199	142,825	205,671	235,173	366,854	2,424,329	職員検診、福利事業諸費他
	職員被服費支出	396,412	17,720		32,025				446,157	職員貸与制服、作業衣等購入費
	旅費交通費支出	26,700		1,000		3,000		16,000	46,700	旅費、日当、外勤手当
	研修研究費支出	81,140	10,160		40,460	16,664	28,320	5,000	181,744	研修会参加費
	事務消耗品費支出	1,693,725	75,836	18,032	86,030	99,483	12,430	51,855	2,037,391	事務用品購入費
	印刷製本費支出	390,513	114,572	37,356	68,640	78,356	151,143	152,495	993,075	印刷物作成費・製本費
	水道光熱費支出								0	電気・ガス・水道料
	燃料費支出								0	重油、灯油代
	修繕費支出	1,272,286	31,170	418,000	154,565		79,200	50,481	2,005,702	建物・器具備品等修理費
	通信運搬費支出	1,194,456	154,411	213,161	476,271	530,760	283,335	248,505	3,100,899	電話・FAX・切手・各種発送費
	会議費支出								0	会議用茶菓子・食糧費
	広報費支出	277,768	58,848	32,272	207,905	36,542	36,542	71,519	721,396	広告折込料、チラシ、広報誌作成他
	業務委託費支出	10,091,447		210,045	192,231			439,461	10,933,184	清掃・洗濯・警備・除雪等委託費
	手数料支出	616,692	8,635	1,540	29,235	15,720	86,604	73,798	832,224	振込料・申請手数料・各種代行手数料他
	保険料支出	353,323	269,880	55,910	192,121	102,013	168,296	57,951	1,199,494	建物・設備損害保険料、職員損害保険料
	賃借料支出	780,446	1,378,583		105,512	321,969	324,286	239,195	3,149,991	器具備品等リース料
	土地・建物賃借料支出								0	土地及び建物等借用費
	租税公課支出	64,800	2,100		5,900	96,300	58,200		227,300	印紙、自動車税他
	保守料支出	1,733,371	604,274	6,600	280,500	265,155	326,040	403,425	3,619,365	建物及び各種機器等保守・点検料
	渉外費支出	90,000	5,000	20,000	37,050	30,000	35,000	56,500	273,550	慶弔費、創設記念費等
	諸会費支出	137,800	43,300	7,500	66,100			54,000	308,700	各種団体加盟会費・負担金
	雑支出	865,778	6,250	10,157	69,980	15,471	9,460	88,348	1,065,444	その他の事務費支出
	事務費支出 小計 C	21,291,271	2,954,732	1,106,772	2,187,350	1,817,104	1,834,029	2,375,387	33,566,645	
	利用者負担軽減額	14,773	21,714	47,626					84,113	介護保険施設負担金軽減額
	支払利息支出	28,896	9,175	235,633	4,276	38,483	82,390	213,712	612,565	借入金利息、リース債務利息
	その他の支出	1,410							1,410	利用者等外給食費他
	流動資産評価減等による資金減少額								0	利用者負担金徴収不能額
	事業活動支出 計 ②	225,189,002	76,136,630	13,729,006	67,450,500	58,813,755	77,718,219	85,230,170	604,267,282	
事業活動資金収支差額 ③ (①-②)		12,215,845	△ 10,519,821	7,164,064	572,725	7,308,049	10,022,526	8,743,554	35,506,942	
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入								0	建物新築、改修等補助金
	施設整備等寄附金収入								0	建物新築、改修等寄附金
	施設整備借入金収入								0	建物新築、改修等資金借入金
	固定資産売却収入								0	
	施設整備等収入 計 ④	0	0	0	0	0	0	0	0	
施設整備等による支出	設備資金借入金元金償還支出					657,700	1,550,100	4,089,600	6,297,400	福祉医療機構・銀行借入金元金返済
	固定資産取得支出	275,000	110,000		168,850				553,850	固定資産新規取得額
	固定資産除却・廃棄支出								0	固定資産廃棄処分額
	ファイナンス・リース債務の返済支出	1,759,991	565,969	593,588	152,776	102,732	125,467	127,849	3,428,372	パソコン他設備機器リース元金返済
	施設整備等支出 計 ⑤	2,034,991	675,969	593,588	321,626	760,432	1,675,567	4,217,449	10,279,622	
施設整備等資金収支差額 ⑥ (④-⑤)		△ 2,034,991	△ 675,969	△ 593,588	△ 321,626	△ 760,432	△ 1,675,567	△ 4,217,449	△ 10,279,622	
その他の活動による収入	積立資産取崩収入	4,325,558	15,109,155	8,000,000	2,519,025			262,030	30,215,768	退職共済出資金、各種積立金取崩額
	事業区分間繰入金収入				1,984,000				1,984,000	事業区分間の資金繰入額 (内部取引)
	拠点区分間繰入金収入								0	拠点区分間の資金繰入額 (内部取引)
	その他の活動による収入								0	長期預り金収入 (入居者敷金)
	その他の活動収入 計 ⑦	4,325,558	15,109,155	8,000,000	4,503,025	0	0	262,030	32,199,768	
その他の活動による支出	積立資産支出	4,713,595	12,788,170	8,142,860	1,102,455	742,500	1,081,500	896,810	29,467,890	退職共済出資金、各種積立金積立額
	事業区分間繰入金支出								0	事業区分間の資金繰入額 (内部取引)
	拠点区分間繰入金支出	7,702,000		2,898,000	1,984,000	2,402,000	2,480,000	2,898,000	20,364,000	拠点区分間の資金繰入額 (内部取引)
	その他の活動による支出								0	
	その他の活動支出 計 ⑧	12,415,595	12,788,170	11,040,860	3,086,455	3,144,500	3,561,500	3,794,810	49,831,890	
その他の活動資金収支差額 ⑨ (⑦-⑧)		△ 8,090,037	2,320,985	△ 3,040,860	1,416,570	△ 3,144,500	△ 3,561,500	△ 3,532,780	△ 17,632,122	
当期資金収支差額合計 ⑩ (③+⑥+⑨)		2,090,817	△ 8,874,805	3,529,616	1,667,669	3,403,117	4,785,459	993,325	7,595,198	
前期末支払資金残高 ⑪		80,798,641	42,341,193	5,296,393	6,135,111	45,819,289	17,240,416	15,435,964	213,067,007	
当期末支払資金残高 ⑫ (⑩+⑪)		82,889,458	33,466,388	8,826,009	7,802,780	49,222,406	22,025,875	16,429,289	220,662,205	

2023年度 資金収支決算報告書

(自) 2023年4月1日　(至) 2024年3月31日

No4

＜高齢者施設＞　(単位 円)

収支区分及び科目	拠点区分	居宅介護支援	訪問看護	高齢者支援センター	サ高住しおん	初任者研修		小　計 ②	合　計	備　考
事業活動による収入	介護保険事業収入	60,286,310	19,799,008	51,891,264				131,976,582	739,976,181	施設・居宅・地域密着型サービス等介護給付費
	障害福祉サービス事業収入							0	22,484,920	生活介護・自立訓練・入所支援・居宅介護他給付費
	老人福祉事業収入	1,311,490			56,891,905			58,203,395	58,203,395	サービス付き高齢者向け住宅家賃・管理費・食費他
	医療事業収入		7,650,613					7,650,613	7,650,613	外来診療・訪問介護療養費・予防接種委託事業費
	その他の事業収入	83,420	100,400	48,631				232,451	7,108,416	街灯料助成金他
	研修事業収入							0	0	介護職員初任者研修事業受講料
	経常経費寄附金収入							0	200,000	法人及び施設寄附金、寄附物品
	受取利息配当金収入	165	73	52	55			345	1,491	預金利息
	その他の収入	1,192,977		110,000	22,000			1,324,977	3,537,571	実習費、食費(利用者以外)、雑収入他
	事業活動収入 計 ①	62,874,362	27,550,094	52,049,947	56,913,960	0		199,388,363	839,162,587	
事業活動による支出 人件費支出	職員給料支出	27,348,664	11,110,380	29,234,153	10,206,320			77,899,517	258,171,617	職員給与、諸手当
	職員賞与支出	5,965,350	2,191,150	5,952,485	1,988,370			16,097,355	53,255,435	職員期末手当
	非常勤職員給与支出	2,500,088	3,672,003	1,031,800	12,133,452			19,337,343	200,193,391	臨時職員等賃金
	派遣職員費支出							0	0	派遣職員委託費
	退職給付支出	89,000	44,500	44,500	44,500			222,500	10,080,038	退職共済掛金
	法定福利費支出	6,018,039	2,584,359	5,588,504	2,977,705			17,168,607	69,172,853	社会保険料事業主負担額
	人件費 小計 A	41,921,141	19,602,392	41,851,442	27,350,347	0		130,725,322	590,873,334	
事業費支出	給食費支出				10,205,420			10,205,420	52,980,899	利用者給食材料
	介護用品費支出							0	4,185,504	利用者直接処遇用介護用品購入費
	医薬品費支出							0	0	診療用医薬品購入費
	診療・療養等材料費支出							0	0	診療用消耗品等購入費
	保健衛生費支出		51,081	6,968	3,149			61,198	1,483,379	利用者健診費
	医療費支出							0	0	利用者医療機関診療費
	被服費支出							0	2,059,827	利用者衣類・寝具等購入費
	教養娯楽費支出				367,713			367,713	1,967,406	利用者行事、レクリエーション等開催諸経費他
	日用品費支出							0	0	利用者現物給付日用品
	水道光熱費支出	1,541,782	770,886	240,000	4,335,601			6,888,269	35,602,685	電気・ガス・水道料
	燃料費支出	617,829	308,911		1,544,584			2,471,324	20,679,267	重油、灯油代
	消耗器具備品費支出		3,504	21,040	40,721			65,265	4,276,888	利用者直接処遇消耗品、備品購入費
	保険料支出							0	2,700	利用者損害保険料
	賃借料支出							0	324,642	利用者処遇用器具・備品等リース料
	葬祭費支出							0	0	利用者葬祭費
	車輌費支出			99,462	227,486			326,948	5,771,890	車輌燃料費、車輌検査費等
	管理費返還支出							0	0	サービス付き高齢者向け住宅管理費返還
	諸謝金支出							0	0	介護職員初任者研修事業講師料
	雑支出	577,691						577,691	1,483,278	その他の事業費支出
	事業費支出 小計 B	2,737,302	1,134,382	367,470	16,724,674	0		20,963,828	130,818,365	
事務費支出	福利厚生費支出	82,877	49,566	102,654	113,487			348,584	2,772,913	職員検診、福利事業諸費他
	職員被服費支出							0	446,157	職員貸与制服、作業衣等購入費
	旅費交通費支出			4,880				4,880	51,580	旅費、日当、外勤手当
	研修研究費支出	76,800	2,180	67,206				146,186	327,930	研修会参加費
	事務消耗品費支出	393,647	27,501	423,532	45,227			889,907	2,927,298	事務用品購入費
	印刷製本費支出	222,074	66,024	391,487	99,368			778,953	1,772,028	印刷物作成費・製本費
	水道光熱費支出							0	0	電気・ガス・水道料
	燃料費支出							0	0	重油、灯油代
	修繕費支出	638,880			198,000			836,880	2,842,582	建物・器具備品等修理費
	通信運搬費支出	275,715	157,333	796,948	246,237			1,476,233	4,577,132	電話・FAX・切手・各種発送費
	会議費支出			20,802				20,802	20,802	会議用茶菓子・食糧費
	広報費支出	194,623	32,450	19,932	16,610			263,615	985,011	広告折込料、チラシ、広報誌作成他
	業務委託費支出			192,230	566,621			758,851	11,692,035	清掃・洗濯・警備・除雪等委託費
	手数料支出	4,290	1,810	23,135	136,268			165,503	997,727	振込料・申請手数料・各種代行手数料他
	保険料支出	221,748	34,491	122,788	55,948			434,975	1,634,469	建物・設備損害保険料、職員損害保険料
	賃借料支出	198,757	107,133	575,300	100,452			981,642	4,131,633	器具備品等リース料
	土地・建物賃借料支出			784,800				784,800	784,800	土地及び建物等借用費
	租税公課支出	241,300	4,200	26,000	1,353,500			1,625,000	1,852,300	印紙、自動車税他
	保守料支出	217,470	93,885	216,700	396,825			924,880	4,544,245	建物及び各種機器等保守・点検料
	渉外費支出	37,650		37,050	15,000			89,700	363,250	慶弔費、創設記念費等
	諸会費支出	34,600		30,000	10,000			74,600	383,300	各種団体加盟会費・負担金
	雑支出	3,430	220	24,660	16,172			44,482	1,109,926	その他の事務費支出
	事務費支出 小計 C	2,843,861	576,793	3,860,104	3,369,715	0		10,650,473	44,217,118	
	利用者負担軽減額							0	84,113	介護保険施設負担金軽減額
	支払利息支出	424,855	8,657	400	436,963			870,875	1,483,440	借入金利息、リース債務利息
	その他の支出				14,365			14,365	15,775	利用者等外給食費他
	流動資産評価減等による資金減少額							0	0	利用者負担金徴収不能額
	事業活動支出 計 ②	47,927,159	21,322,224	46,079,416	47,896,064	0		163,224,863	767,492,145	
事業活動資金収支差額 ③ (①-②)		14,947,203	6,227,870	5,970,531	9,017,896	0		36,163,500	71,670,442	
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入							0	0	建物新築、改修等補助金
	施設整備等寄附金収入							0	0	建物新築、改修等寄附金
	施設整備借入金収入							0	0	建物新築、改修等資金借入金
	固定資産売却収入			11,000				11,000	11,000	
	施設整備等収入 計 ④	0	0	11,000	0	0		11,000	11,000	
施設整備等による支出	設備資金借入金元金償還支出	8,041,600	108,900		8,430,100			16,580,600	22,878,000	福祉医療機構・銀行借入金元金返済
	固定資産取得支出							0	553,850	固定資産新規取得額
	固定資産除却・廃棄支出							0	0	固定資産廃棄処分額
	ファイナンス・リース債務の返済支出	509,682	147,010	7,142	55,806			719,640	4,148,012	パソコン他設備機器リース元金返済
	施設整備等支出 計 ⑤	8,551,282	255,910	7,142	8,485,906	0		17,300,240	27,579,862	
施設整備等資金収支差額 ⑥ (④-⑤)		△ 8,551,282	△ 255,910	3,858	△ 8,485,906	0		△ 17,289,240	△ 27,568,862	
その他の活動による収入	積立資産取崩収入							0	30,215,768	退職共済出資金、各種積立金取崩額
	事業区分間繰入金収入							0	1,984,000	事業区分間の資金繰入額 (内部取引)
	拠点区分間繰入金収入							0	0	拠点区分間の資金繰入額 (内部取引)
	その他の活動による収入				600,000			600,000	600,000	長期預り金収入(入居者敷金)
	その他の活動収入 計 ⑦	0	0	0	600,000	0		600,000	32,799,768	
その他の活動による支出	積立資産支出	1,059,060	437,320	1,275,180	374,280			3,145,840	32,613,730	退職共済出資金、各種積立金積立額
	事業区分間繰入金支出	3,734,000	914,000	3,812,000				8,460,000	8,460,000	事業区分間の資金繰入額 (内部取引)
	拠点区分間繰入金支出							0	20,364,000	拠点区分間の資金繰入額 (内部取引)
	その他の活動による支出				610,000			610,000	610,000	
	その他の活動支出 計 ⑧	4,793,060	1,351,320	5,087,180	984,280	0		12,215,840	62,047,730	
その他の活動資金収支差額 ⑨ (⑦-⑧)		△ 4,793,060	△ 1,351,320	△ 5,087,180	△ 384,280	0		△ 11,615,840	△ 29,247,962	
当期資金収支差額合計 ⑩ (③+⑥+⑨)		1,602,861	4,620,640	887,209	147,710	0		7,258,420	14,853,618	
前期末支払資金残高 ⑪		8,858,056	12,939,485	4,393,573	△ 21,504,622	253,912		4,940,404	218,007,411	
当期末支払資金残高 ⑫ (⑩+⑪)		10,460,917	17,560,125	5,280,782	△ 21,356,912	253,912		12,198,824	232,861,029	

【法人関係】

1． 運営管理

（I）職員の状況

ア．職員の異動状況

2024年 3月31日現在

区　分	2023年4月1日付 職員数		2023年4月2日～2024年3月31日 採　用		退　職		2024年3月31日 現在数	
	障がい者施設	高齢者施設	障がい者施設	高齢者施設	障がい者施設	高齢者施設	障がい者施設	高齢者施設
正職員A	78	78	4	5	6	5	76	78
正職員B	8	17	6	2	9	2	5	17
再雇用職員	6	4	0	0	0	0	6	4
嘱託職員	7	16	2	0	0	0	9	16
パート職員	55	105	11	20	6	19	60	106
小　計	154	220	23	27	21	26	156	221
合　計	374		50		47		377	

イ．役付職員の状況

2024年 3月31日現在

障がい施設		高齢施設	
役職名	氏名	役職名	氏名
北広島ﾘﾊﾋﾞﾘｾﾝﾀｰ療護部施設長	齊藤久男	ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ四恩園施設長	神部健史
地域ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰみなみ 施設長	若狭聡美	ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰともに施設長	向山篤
診療部院長(嘱託医)	對馬伸泰	管理課長	大日向伸也
総務課長	山本拓二	給食サービス課長	西野聡
入所支援課長	新井田渉	施設サービス課長	清水孝修
通所支援課長	谷口勝也	通所介護課長	吉田匡貴
障がい地域支援課長	渡邊由佳	通所介護課長	林晃市
総務課庶務係係長	佐藤尚文	高齢者地域支援課長	吉田忠司
総務課給食係長	木戸和美	居宅介護支援課長	新沼右文
会計課経理係長	前川忍	訪問介護課長	吉永美香
会計課経理係長	清水順子	サービス付き高齢者向け住宅課長	玉邑亜矢
入所支援課入所支援係長	西尾恵史	複合型サービス課長	奥山智直
入所支援課入所支援係長	佐藤宏美	グループホーム課長	皆木有子
入所支援課入所支援係長	落合里沙	施設サービス課係長	長谷川智彦
障がい地域支援課相談支援係長	髙橋直子	給食サービス課係長	土池康介
障がい地域支援課相談支援係長	柏滋	複合型サービス課係長	秋田梢
障がい地域支援課地域支援係長	小俣東美	会計課経理係主任	田村啓之
総務課給食係主任	水留直樹	管理課施設係主任	神原英明
入所支援課入所支援係主任	濱元さなえ	給食サービス課主任	石川太貴
入所支援課入所支援係主任	横井圭司	施設サービス課主任	鈴木優子
入所支援課入所支援係主任	長内隆二郎	高齢者地域支援課主任	佐々木祐輔
通所支援課通所支援係主任	今綾	居宅介護支援課主任	伊東賢志朗
		複合型サービス課主任	渡辺雄太
		グループホーム課主任	畑中悠

ウ. 国家資格取得者

2024年 3月31日現在

	障がい施設						高齢者施設													
	療護部	診療部	のびのびファイン	障がい福祉サービス事業所みなみ	障がい児通所支援事業所みなみ	障がい者生活支援センターみらい	管理課	給食サービス課	施設サービス課	通所介護課デイ	通所介護課さとみ	通所介護課かたる	高齢者地域支援課	居宅介護支援課	訪問介護課	訪問看護課	サービス付き高齢者向け住宅課	複合型サービス課	グループホーム課	合計
社会福祉士	6		1	2		7	2	0	3	2	0	3	10	4	0	1	1	2	1	45
精神保健福祉士						2	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	7
介護福祉士	30		2	6	1	1	1	0	17	6	5	6	5	7	17	0	4	9	17	134
介護支援専門員	7		2	3		3	2	0	3	2	0	4	7	9	5	2	4	5	4	62
理学療法士	2		2	1	1		0			0										6
作業療法士			1	1			0			1							1			4
言語療法士		1					0													1
柔道整復師							0													0
保健師							0	0	0	1	0		1			1	0	1	0	4
看護師	4			4	2		0	0	0	2	1	3	1	1	1	5	0	2	0	26
准看護師	1						0	0	0	5	0	2	0	0	0	1	0	1	0	10
保育士	7		1	1	2		0		0		0			0	0	0			0	11
管理栄養士	1						1	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	2
栄養士	1						2	0	0	0	1		0	0	0	0	0	0	0	4
調理師	8			1			2	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	18
認知症指導者							0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
認知症介護基礎研修							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症リーダー研修							0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2	9
認知症実践者研修							0	0	5	3	1	2	1	0	1	0	1	6	8	28
社会福祉士実習指導者							1	0	1	0	0	1	1	2	0	0	0	1	0	7
介護福祉士実習指導者							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
主任介護支援専門員							0	0	1	0	0	1	3	4	0	0	0	1	1	11
実務者研修	8		1	2			0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	0	4	21
ヘルパー1級	1				1		0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	1	1	10
ヘルパー2級・初任者研修	13			3	3	3	10	1	10	6	3	3	2	4	19	0	2	2	15	99

エ．①年齢状況 ＜障がい者施設＞

2024年3月31日現在

区分	性別		職員区分別					職種別						合計
	男	女	正職員A	正職員B	継続雇用職員	嘱託職員	パート職員	事務	調理	介護	相談	医療	その他	
20歳未満	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
30歳未満	1	14	10	1	0	0	4	0	1	9	1	1	3	15
40歳未満	10	17	21	1	0	0	5	2	2	14	4	4	1	27
50歳未満	9	18	18	1	0	1	7	1	1	13	3	9	0	27
60歳未満	9	30	24	2	0	0	13	5	5	21	5	2	1	39
70歳未満	11	19	3	0	6	7	14	4	4	11	3	8	0	30
80歳未満	8	8	0	0	0	1	15	0	0	10	1	0	5	16
90歳未満	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
合計	49	107	76	5	6	9	60	12	13	78	17	24	12	156
平均年齢	53年5ヶ月	48年11ヶ月	43年1ヶ月	44年7ヵ月	62年10ヶ月	64年4ヶ月	56年2ヶ月	55年1ヶ月	50年10ヶ月	49年10ヶ月	50年3ヶ月	48年6ヶ月	49年11ヶ月	50年4ヶ月

エ．②年齢状況 ＜高齢者施設＞

2024年3月31日現在

区分	性別		職員区分別					職種別						合計
	男	女	正職員A	正職員B	継続雇用職員	嘱託職員	パート職員	事務	調理	介護	相談	医療	その他	
20歳未満	0	4	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	4
30歳未満	2	12	8	1	0	0	5	0	0	10	3	0	1	14
40歳未満	8	9	12	2	0	0	3	2	1	14	0	0	0	17
50歳未満	15	33	27	5	0	0	16	3	4	19	13	7	2	48
60歳未満	8	43	28	9	0	0	14	4	4	28	9	5	1	51
70歳未満	7	40	3	0	4	12	28	3	5	23	6	8	2	47
80歳未満	13	23	0	0	0	4	32	1	7	12	2	2	12	36
90歳未満	3	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	4
合計	56	165	78	17	4	16	106	13	21	110	33	22	22	221
平均年齢	55年8ヶ月	54年5ヶ月	46年2ヶ月	48年8ヶ月	62年7ヶ月	67年7ヶ月	59年10ヶ月	53年8ヶ月	59年10ヶ月	51年3ヶ月	51年7ヶ月	57年10ヶ月	69年10ヶ月	54年9ヶ月

オ．①勤続年数　【障がい者施設】

2024年3月31日現在

区分	性別		職員区分別					職種別						
	男	女	正職員A	正職員B	継続雇用職員	嘱託職員	パート職員	事務	調理	介護	相談	医療	その他	合計
3年未満	13	30	13	4	5	3	18	1	1	21	3	10	7	43
5年未満	5	17	9	0	1	2	10	2	3	8	2	5	2	22
10年未満	11	31	15	1	0	4	22	2	4	25	4	5	2	42
20年未満	9	17	18	0	0	0	8	1	5	16	1	3	0	26
30年未満	7	7	12	0	0	0	2	3	0	4	6	1	0	14
40年未満	4	5	9	0	0	0	0	3	0	4	1	0	1	9
合計	49	107	76	5	6	9	60	12	13	78	17	24	12	156
平均年数	11年5ヶ月	8年10ヶ月	13年9ヶ月	4年2ヶ月	2年10ヶ月	4年3ヶ月	6年6ヶ月	18年1ヶ月	8年5ヶ月	8年10ヶ月	15年3ヶ月	5年11ヶ月	5年7ヵ月	9年6ヶ月

オ．②勤続年数　【高齢者施設】

2024年3月31日現在

区分	性別		職員区分別					職種別						
	男	女	正職員A	正職員B	継続雇用職員	嘱託職員	パート職員	事務	調理	介護	相談	医療	その他	合計
3年未満	8	41	11	2	0	3	33	0	2	35	3	6	3	49
5年未満	10	23	12	3	0	2	16	1	5	18	4	2	3	33
10年未満	21	36	17	6	1	6	27	1	6	23	12	4	11	57
20年未満	10	42	24	5	1	3	19	6	6	20	9	6	5	52
30年未満	7	23	14	1	2	2	11	5	2	14	5	4	0	30
40年未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	56	165	78	17	4	16	106	13	21	110	33	22	22	221
平均年数	9年8ヶ月	9年11ヶ月	11年8ヶ月	9年0ヶ月	17年3ヶ月	10年4ヶ月	8年3ヶ月	16年4ヶ月	10年4ヶ月	8年7ヶ月	11年9ヶ月	10年8ヶ月	8年4ヶ月	9年10ヶ月

カ．①居住地　【障がい施設】

2024年3月31日現在

	北広島市	札幌市	江別市	恵庭市	千歳市	その他	合計
正職員A	20	32	10	8	3	3	76
正職員B	4	1	0	0	0	0	5
継続雇用職員	3	2	0	0	0	1	6
嘱託職員	6	3	0	0	0	0	9
パート職員	45	11	2	0	2	0	60
合計	78	49	12	8	5	4	156

カ．②居住地　【高齢施設】

2024年3月31日現在

	北広島市	札幌市	江別市	恵庭市	千歳市	その他	合計
正職員A	50	20	2	4	0	2	78
正職員B	17	0	0	0	0	0	17
継続雇用職員	3	0	0	1	0	0	4
嘱託職員	12	3	0	0	0	1	16
パート職員	92	5	0	2	1	6	106
合計	174	28	2	7	1	9	221

【障がい者施設関係】

1．運営管理

(1) 職員研修実施状況

ア．① 各種研修会参加の状況（ 道内 ）

2023年度

年　月　日	開　催　地	研　修　会　名　称	参加人数・氏名
2023 5/25	オンライン	デイケア、デイサービスOTの関わり方	三上、佐久間、谷
6/6.7	オンライン	北海道強度行動障害支援者養成研修	中川
7/10～8/25	オンデマンド配信	新任施設相談員研修	角田
7/21	オンライン	介護職員専門研修Ⅰ	五十嵐
8/2～10/31	オンデマンド配信	〃	五十嵐
8/24	北広島市	災害時の個別支援に関する勉強会	渡邊
8/29	ライブ配信	新任施設相談員研修	角田
9/4	札幌市	令和５年度個別支援の実現に向けたケアガイドライン研修会の開催及び第３回研修員会	齊藤
9/4	ライブ配信	新任介護職員研修（２）	芝﨑
9/8	千歳市	千歳保健所管内給食施設調理従事者研修	平川
9/11～10/27	オンデマンド配信	令和５年度障がい児保育専門研修	吉井
9/14～10/31	オンデマンド配信	新任介護職員研修（２）	芝﨑
9/21	ライブ配信	介護職員専門研修Ⅰ（２）	杉田
9/29～10/31	オンデマンド配信	〃	杉田
9/21	オンライン	LIFE関連加算研修を武器にしたデイの戦略	渡邊
9/28	ともに	スキンケア勉強会	及川、山中
9/29	札幌市	安全運転管理者・副安全運転管理者講習会	山下
10/17	北広島市	障がい者虐待防止研修会	櫛引、通
10/24	北広島市	令和５年度【高齢者虐待防止研修会】	谷口・今
10/26	札幌市	令和５年度身体障害者福祉施設職員研修会	角田・笠原
10/26	札幌市	令和５年度身体障害者福祉施設職員研修会	齊藤
12/10	オンライン	SW専門職たる社会福祉士、精神福祉士の養成に向けた実習を評価	渡邊
12/11	札幌市	安全運転管理者・副安全運転管理者講習会	徳永
2024 2/16	札幌市	令和５年度北海道身体障害者福祉施設協議会第２回総会及び身体障害者福祉研究セミナー	齊藤、新井田、佐藤、澤田
3/8	札幌市	令和５年度札幌市・石狩管内老人福祉施設職員合同研修会	谷口・渡邊
3/8	札幌市	「サービス付き高齢者向け住宅の今後の展開を考えるカンファレンス」	新井田
3/15	動画視聴	入浴介護技術研修	介護職員　7名
3/19	オンライン	障がい福祉サービス等初任者研修	櫛引
		延べ44名　一部全職員対象オンデマンド研修あり	

ア．② 各種研修会参加の状況（ 道外 ）

2023年度

年　月　日	開　催　地	研　修　会　名　称	参加人数・氏名
2023 12/13～12/14	東京都	全国身体障害者施設協議会第11回職員スキルアップ研修会	齊藤

イ．施設内研修実施状況（ 課内研修 ）

2023年度

担当	実施日	研修内容	参加人数
入所支援課	2023. 4.13	新規入所受け入れ対策について	6 名
	2023. 4.20	見守り介護ロボットについて	14 名
	2023. 5.2	重度障がいにおける介助方法について	7 名
	2023. 5.15	不適切ケア・虐待防止について	7 名
	2023. 5.25	個別支援計画書作成について	4 名
	2023. 7.19	感染症対策について	10 名
	2023. 7.31	コンプライアンスについて	4 名
	2023. 8.16	ガウンテクニックについて	30 名
	2023. 9.12	業務改善について	4 名
	2023. 9.20	施設から地域移行について	10 名
	2023. 10.2	重度心身障害児・者について	8 名
	2023. 10.25	災害時の非常食について	6 名
	2023.11.10	NASVAについて	6 名
	2023.11.28	新規入所受け入れ対策について	7 名
	2024.1.12	新規ショートステイ受け入れ対策について	7 名
	2024.2.5	ガウンテクニックについて	31 名
	2024.3.1	パラスポーツ(ボッチャ) について	8 名
	2024.3.18	お客様アンケートについて	7 名
障がい地域支援課	2023. 4.21	スタッフ会議（外出レク時のケアについて)	13 名
	2023.5.12	スタッフ会議（リフトの使用方法)	13 名
	2023.6.8	スタッフ会議（入浴・排泄について)	15 名
	2023.8.4	スタッフ会議（生産活動について)	13 名
	2023. 10.20	スタッフ会議（移乗方法について)	13 名
通所支援課	2023. 8.24	認知症基礎研修	6 名
	2023.10 17	基本理念・倫理綱領研修	6 名
	2023. 12.16	ケアによる権利擁護	8 名
職員研修会	2024.3.28	【 職員研修会 】	
		1．次年度事業計画	34 名
		①北海長正会法人本部	
		②北広島リハビリセンター拠点・診療部	
		③北広島リハビリセンター療護部	
		④のびのびファイン	
		⑤地域サポートセンターみなみ拠点　障がい者生活支援センター　みらい	
		⑥障がい福祉サービス事業所　みなみ	
		⑦障がい児通所支援事業所　みなみ	
施設職員研修会		虐待防止研修会	
	2023.8～9	虐待防止、身体拘束適正化についての研修会　第5回に分け、グループワークを実施。	73 名
法人全体研修	2023.9.27	救命救急研修	5 名
	2023.10.6	救命救急研修	6 名
	2023.10.13	救命救急研修	33 名

(2)　ボランティア受け入れ状況　（ボランティア数）

2023年度

リハビリセンター	種　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	種目合計
全体レク	夏　祭	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	13
	盆踊り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	年忘れ会食会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	繕い物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車椅子清掃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月別合計	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	13

地域ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰみなみ	種　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	種目合計
全体レク	麻　雀	0	0	3	3	3	3	4	4	1	6	5	5	37
	制作体験会	0	0	0	0	4	0	0	0	0	3	0	0	7
	外出レク	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	会食会	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
		0	0	3	3	7	3	4	6	5	9	5	5	50

(3)　面会者状況　（北広島リハビリセンター）

2023年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人　数	78	59	61	43	53	45	65	57	85	66	46	72	730
1日平均	2.6	1.9	2.0	1.4	1.7	1.5	2.1	1.9	2.7	2.1	1.6	2.3	24

(4)　施設見学等受け入れ状況

2023年度

北広島リハビリセンター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体数	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
見学者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域サポートセンターみなみ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体数	3	0	3	0	1	2	0	1	0	0	2	1	13
見学者数	5	0	7	0	1	4	0	1	0	0	4	1	23

(5)　実習生（研修生）受け入れ状況

2023年度

学校名	期間	人数	配置部署
北海道文教大学（理学療法士）	2023　9/4　～　9/8	1	入所支援課
鹿光学習センター	2024　2/6	1	入所支援課
札幌医療リハビリ専門学校（理学療法士）	2024　2/26　3/1	1	入所支援課
札幌医療リハビリ専門学校（作業療法士）	2023　9/4　～　9/8	2	通所支援課
北海道文教大学（作業療法士）	2024　2/13　～　2/23	1	通所支援課
藤女子大学（社会福祉士）	2023/5/22 ～ 2023/6/6	1	障がい地域支援課
藤女子大学（社会福祉士）	2023/6/5 ～ 2023/6/19	1	障がい地域支援課
星槎道都大学（社会福祉士）	2023/7/3 ～ 2023/8/3	2	障がい地域支援課
鹿光学習センター（介護実務者）	2023/8/7 ～ 2023/8/10	4	障がい地域支援課
藤女子大学（社会福祉士）	2023/8/21 ～ 2023/8/28	2	障がい地域支援課
大原学園（社会福祉士）	2023/9/25 ～ 2023/9/29	1	障がい地域支援課
大原学園（社会福祉士）	2023/10/2 ～ 2023/10/4	1	障がい地域支援課
鹿光学習センター（介護実務者）	2023/12/18	1	障がい地域支援課
鹿光学習センター（介護実務者）	2023/12/19	1	障がい地域支援課
鹿光学習センター（介護実務者）	2024/1/21	1	障がい地域支援課
計		21	

(6) 2023年度施設行事等実施状況

月	日	曜日	行事名	参加人数 利用者
4	26	水	すきやきの日（リハビリセンター）	70
5	8	月	お花見週間(～13日まで)(福祉サービス)	55
	10	水	お花見(リハビリセンター)	20
	24	水	外出レク(石屋製菓)(児童)	3
6	7	水	防火総合訓練（リハビリセンター）	70
	8	木	苗植え・種まき(～9日まで)(児童)	5
	14	水	パフェの日（リハビリセンター）	20
	14	水	防火総合訓練（みなみ）	25
7	1	土	運動会（みなみ）	60
	5	水	ジンギスカン会食（リハビリセンター）	70
	7	金	外出レク（新さっぽろ駅周辺）（福祉サービス）	4
	18	火	外出レク（小樽観光①）（福祉サービス）	5
	18	火	ｼｬﾎﾞﾝ玉&ﾚｲﾝｽﾃｨｯｸ演奏会（22日まで）(福祉サービス)	30
	28	金	外出レク（小樽観光②）（福祉サービス）	5
8	4	金	外出レク（江別蔦屋書店）（福祉サービス）	3
	5	土	夏祭り（リハビリセンター）	70
	16	水	夏祭り（みなみ）	60
	16	水	北海道マラソン壮行会（リハビリセンター）	1
	27	日	北海道マラソン（リハビリセンター）	1
	31	木	外出レク（長沼アイスの家）（福祉サービス）	5
9	6	水	ジンギスカン(福祉サービス)～7日	50
	11	月	外出レク（円山動物園）（福祉サービス）	4
	13	水	外出レク（恵庭道の駅）（福祉サービス）	5
	15	金	外出レク（しゃぶ葉）（福祉サービス）	5
	26	火	外出レク（村上牧場）（福祉サービス）	4
10	5	木	外出レク（恵庭道の駅）（福祉サービス）	5
	16	月	外出レク（アートは自由だ！）（児童）	3
	25	水	ハロウィン（リハビリセンター）	30
	25	水	外出レク（キリンビール北海道千歳工場）（福祉サービス）	5
11	6	月	紅葉週間(～11日まで)(福祉サービス)	55
	8	水	秋の防災訓練、非常食提供訓練（リハビリセンター）	70
	8	水	ボッチャ体験会	30
	21	火	フライドチキンの日	70
	25	土	麻雀教室（みなみ）	15
12	16	土	年忘れ会食会（みなみ）	60
	20	水	年忘れ会食会（リハビリセンター）	70
	20	水	麻雀教室（みなみ）	15
1	17	水	新春お楽しみ会（リハビリセンター）	30
	27	土	麻雀教室（みなみ）	15
2	21	水	麻雀教室（みなみ）	15
3	6	水	ひなまつり（リハビリセンター）	30
	12	火	卒業を祝う会(～18日まで)(児童)	20
	23	土	麻雀教室（みなみ）	15

2-1 利 用 者 支 援 状 況　　【療護部】

（1）定　員

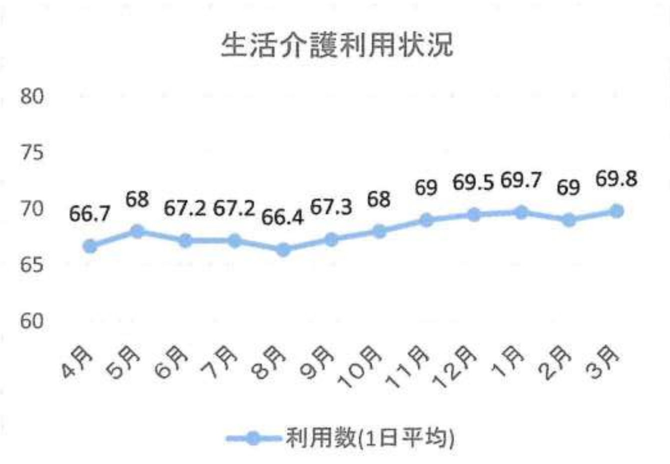
2024年3月31日現在

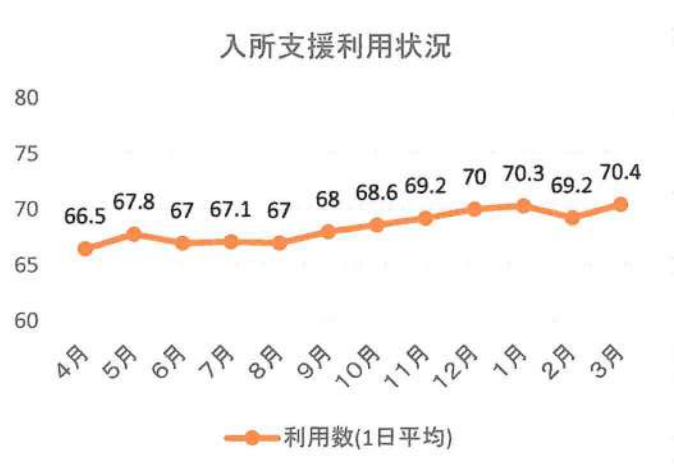
	生　活　介　護	入　所　支　援
定　　員	80	80

（2）日中活動・施設入所支援利用状況

2023年度

月	生活介護（　定員80名）		入所支援（　定員80名）	
	利用数(1日平均)	支援日数	利用数(1日平均)	支援日数
4月	66.7	22	66.5	30
5月	68.0	23	67.8	31
6月	67.2	22	67.0	30
7月	67.2	23	67.1	31
8月	66.4	23	67.0	31
9月	67.3	22	68.0	30
10月	68.0	23	68.6	31
11月	69.0	22	69.2	30
12月	69.5	23	70.0	31
1月	69.7	23	70.3	31
2月	69.0	21	69.2	29
3月	69.8	23	70.4	31
平　均	68.2	22.5	68.4	30.5





＊2023年度においても職員の人材確保が困難な状況ではありましたが、課内・他課で協働し、徐々に新規入所お客様の受け入れを進め、最終的には一年間を通して9名（2022年度は1名）のお客様が新規入所いただきました。

日中活動・施設入所支援状況年間比較

	2022 年 度	2023 年 度	2024 年 度	2025 年 度
生　活　介　護	69.9	68.2		
施 設 入 所 支 援	69.9	68.4		

＊定員80名に対して、2023年度の生活介護の利用者数平均は68.2名（稼働率85%）でした。2022年度と比較し1.7名低値となっています。新規9名入所いただけたものの、退所者が6名出てしまい大きな利用実績・稼働率の改善には至りませんでした。

（3） 入 所 経 路 【施設入所支援対象】 【療護部】

2023年度

	在宅より	病院より	他施設より	合 計
施 設 入 所 支 援	2	5	2	9

＊当短期入所事業をご利用のお客様が在宅より2名入所いただきました。今後は、市内に限らず加齢等に伴い在宅での地域生活が困難な方々のお受け入れも積極的に行っていきます。

（4） 退 所 理 由 【施設入所支援対象】

2023年度

	施 設 移 行				在 宅	医療機関	死亡退所	合 計
	授産施設	療護施設	老人施設	その他				
施 設 入 所 支 援	0	0	0	0	1	2	3	6

＊地域生活移行された方や専門的な医療処置が必要となった方、入院中に逝去された方等がいらっしゃいました。

（5）-1 性 別 年 齢 別 状 況

2024年3月31日現在

		最低年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢	
					生活介護	施設入所
男 性	生活介護	40歳10ヶ月	85歳 9ヶ月	64歳 8ヶ月	64歳 3ヶ月	64歳2ヶ月
	施設入所	40歳10ヶ月	85歳 9ヶ月	64歳 5ヶ月		
女 性	生活介護	29歳 4ヶ月	83歳 9ヶ月	63歳 7ヶ月		
	施設入所	29歳 4ヶ月	83歳 9ヶ月	63歳 7ヶ月		

＊2023年度の性別年齢別状況として、2022年度と男性の最低年齢が8歳程度若くなり男性の平均年齢も多少若くなりました。

（5）-2 性 別 年 齢 別 状 況

2024年3月31日現在

年齢範囲（歳）		18～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合 計
男 性	生活介護	0	0	0	0	1	2	6	9	8	10	5	6	3	50
	施設入所	0	0	0	0	1	2	6	9	8	10	5	5	3	49
女 性	生活介護	0	1	0	0	1	2	1	4	4	3	5	2	2	25
	施設入所	0	1	0	0	1	2	1	4	4	3	5	2	2	25
合 計	生活介護	0	1	0	0	2	4	7	13	12	13	10	8	5	75
	施設入所	0	1	0	0	2	4	7	13	12	13	10	7	5	74

＊2022年度は50代から70代前半が半数以上を占めていましたが、2023年度は50代から60代が半数以上を占めております。

（6）-1 性 別 在 所 期 間 別

2024年3月31日現在

	最低在所	最高在所	平均在所	男女平均在所期間
男性	0ヶ月	44年 3ヶ月	10年 2ヶ月	11年
女性	3ヶ月	36年11ヶ月	12年 5ヶ月	

0ヶ月・・・2024年3月入所

＊平均在所が男女で10年以上であり、男性の最高在所では44年以上となっています。

（6）-2 性別在所期間別状況　【療護部】　2024年3月31日現在

期間範囲（年）	0～0.5年未満	0.5～1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～30年未満	30～	合計
男性	3	4	4	14	6	8	5	0	5	49
女性	1	1	1	6	3	5	2	4	2	25
合計	4	5	5	20	9	13	7	4	7	74

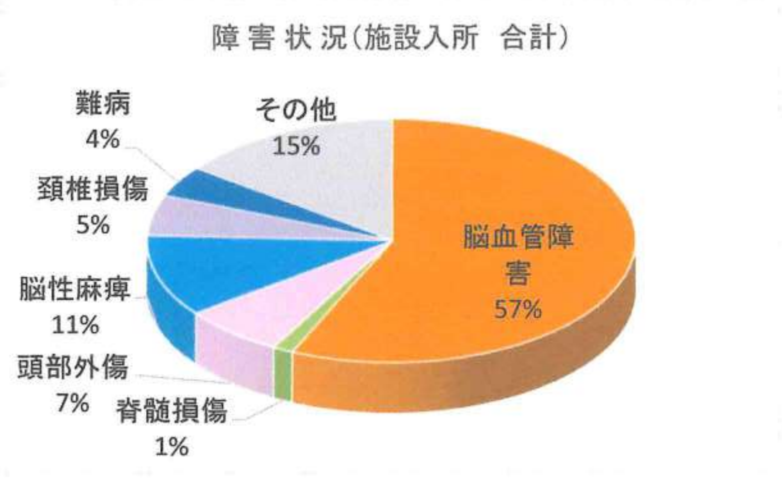
＊男女の性別在所期間別状況は15年未満が70%以上を占めています。

（7） 障害状況　2024年3月31日現在

		脳血管障害	脊髄損傷	頭部外傷	脳性麻痺	頚椎損傷	難病	その他	合計
男性	生活介護	31	0	3	4	4	1	7	50
	施設入所	30	0	3	4	4	1	7	49
女性	生活介護	12	1	2	4	0	2	4	25
	施設入所	12	1	2	4	0	2	4	25
合計	生活介護	43	1	5	8	4	3	11	75
	施設入所	42	1	5	8	4	3	11	74

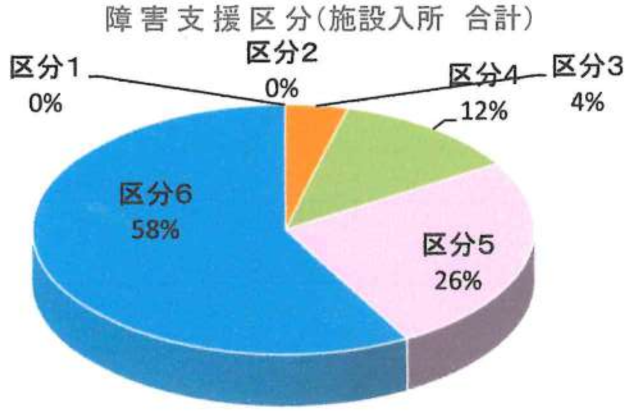
難病内訳 ： もやもや病　1名 ： 脊髄小脳変性症　1名
： 遠位型ミオパチー　1名 ：

＊脳血管障害による運動麻痺を呈したお客様が半数以上(57%)を占めています。



(8)　障 害 支 援 区 分　　　　　　　　【療護部】　　　　　　　　2024年3月31日現在

		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均区分
男性	生活介護	0	0	3	6	14	27	5.3
	施設入所	0	0	3	5	14	27	5.3
女性	生活介護	0	0	0	4	5	16	5.5
	施設入所	0	0	0	4	5	16	5.5
合計	生活介護	0	0	3	10	19	43	5.4
	施設入所	0	0	3	9	19	43	5.4

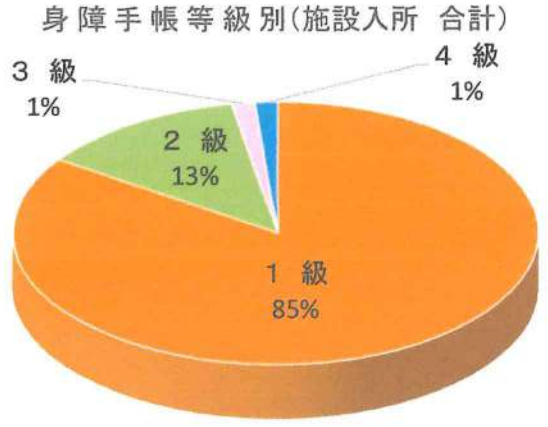


＊平均区分は2022年度5.5で、2023年度は5.4でした。区分5以上が80%以上を占めています。

(9)　身 障 手 帳 等　　　　　　　　2024年3月31日現在

	1　級	2　級	3　級	4　級
男性	37	7	0	2
女性	23	2	0	0
合計	60	9	1	1

※生活介護 男性1名　1級



＊2022年度同様に2023年度も1級が大半を占めています(2022年度80%)。

【療護部】

(10)　出身地域別（　施設入所　）　　　　　　　　　　　　　　　　　　2024年3月31日現在

地域		市区町村等	人数
道　央	札幌市	東　区	5
		西　区	4
		南　区	3
		北　区	3
		中央区	1
		厚別区	5
		白石区	5
		手稲区	3
		清田区	4
		豊平区	3
	石狩振興局	北広島市	15
		江別市	1
		千歳市	2
		恵庭市	5
		石狩市	1
		当別町	0
		新篠津村	0
	空知総合振興局		2

地域	振興局	人数
道　南	後志総合振興局	3
	渡島総合振興局	1
	檜山振興局	0
	胆振振興局	4
	日高振興局	0
道　東	十勝総合振興局	0
	釧路総合振興局	0
	根室振興局	0
	オホーツク総合振興局	0
道　北	上川総合振興局	2
	宗谷総合振興局	1
	留萌振興局	0
その他の地域		1
合　計		74

＊札幌市と石狩振興局等の道央エリアで80%を占め、その他全道各地からご利用いただいています。

(11)身体および認知状況（施設入所支援）　　　　　　　　　　　　　　2024年3月31日現在

		障害自立度					認知症自立度					
区分	人数	自立	J	A	B	C	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	M	なし
区分1	0											
区分2	0											
区分3	3			3			1	1				1
区分4	9			7	2		1	1		3		4
区分5	19			10	8	1		4	3	8	1	3
区分6	43			2	21	20		2	4	27	7	3
合計	74			22	31	21	2	8	7	38	8	11
%	100			30	42	28	3	11	9	51	11	15
合計	74	74					74					

＊2022年度と比較し、2023年度は障害自立度Aのお客様が減少しBが増加しているため障害自立度が低下していることが示唆されます。また、認知症自立度においても認知症なしが減少しⅠが増加、またⅡ減少しⅣが増加していることから認知症自立度の低下も示唆されます。今後は更なる日中活動の充実を図り、予防に努める必要があります。

＜参考＞

障害自立度	J	何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する	認知症自立度	Ⅰ	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している
	A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしでは外出しない		Ⅱ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても誰かが注意していれば自立できる
	B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ		Ⅲ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々みられ、介護を必要とする
	C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えに介助を要す		Ⅳ	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁にみられ、常に介護を必要とする
				M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患がみられ、専門医療を必要とする

【療護部】

(12)医療的ケア(実人数、複数回答)

2023年3月31日現在

ケア内容		経管栄養	喀痰吸引	間歇的導尿	ストーマ処置	カテーテル	摘便・浣腸	褥瘡	疼痛の管理	皮下注射	血糖測定
人数	生活介護	8	1	1	2	6	9	9	14	3	2
	施設入所	8	1	1	2	6	9	9	14	3	2

＊2022年度と比較し、2023年度は医療的ケアが必要なお客様は増加しております。特に疼痛管理と褥瘡処置が増え、褥瘡は高齢化より食欲不振に伴う栄養状態の悪化や痩せ（皮膚のたわみも含む）、また認知機能低下による同一姿勢時間の延長により増加。そして、疼痛管理は、神経系の痺れや疼痛と筋・筋膜性の疼痛を認めるお客様が増加しております。

2-2 短期入所利用者支援状況　【ショートステイ】

2023年度

月	障害支援区分 1	2	3	4	5	6	延利用日数	実利用者数
4	0	0	12	24	10	14	60	2.0
5	0	0	31	27	5	18	81	2.6
6	0	2	30	28	11	22	93	3.1
7	0	0	31	24	8	13	76	2.5
8	0	0	31	0	12	25	68	2.2
9	0	0	30	0	10	12	52	1.7
10	0	0	31	0	10	17	58	1.9
11	0	0	30	0	10	14	54	1.8
12	0	0	31	0	10	15	56	1.8
1	0	0	31	0	9	19	59	1.9
2	0	0	29	0	11	6	46	1.6
3	0	0	31	0	10	12	53	1.7
計	0	2	348	103	116	187	756	2.1

＊2023年度は新型コロナウイルスのクラスターが7月中旬から下旬と2月上旬から下旬の2回発生しました。そのため、その期間は短期入所のご利用を制限させていただきました。一年を通して、春・夏季に比べ、秋・冬季はご利用が減少しております。

短期入所支援状況年間比較

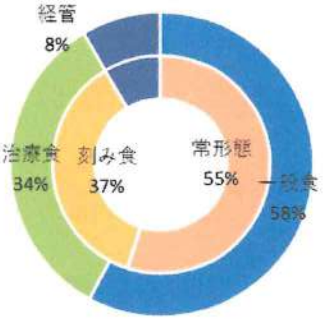
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
施設入所支援（延利用日数）	598	756		
施設入所支援（実利用者数）	1.6	2.1		

＊2022年度と比較し、2023年度は延利用日数並びに実利用者数は増加しております。

2-3 食事量形態状況

2023年度

(1)食種・形態



在籍 71 人

食種	一般食		41	人
	治療食	糖尿病 肝臓病 等	24	人
	経管		6	人
形態	常形態		39	人
	刻み食	刻み・ペースト食等	26	人
	経管		6	人

(2)食事摂取基準

一般食

エネルギー	1650	kcal
たんぱく質	62～83	g
脂質	37～55	g
炭水化物	206～268	g

(3)イベント食

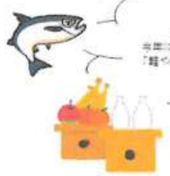
行事食 / 食べ物記念日

月	日	内容	月	日	内容
4 月	27 日	セレクトメニュー	9 月	15 日	ひじきの日
	20 日	発芽野菜の日	10 月	25 日	世界パスタデー
5 月	17 日	世界高血圧デー		31 日	スイーツデー ハロウィン
	18 日	スイーツデー お花見	11 月	12 日	韮の日
	23 日	春の味覚弁当	12 月	21 日	会食会
6 月	1 日	開所記念日		22 日	冬至
	29 日	パフェの日	1 月	20 日	血栓予防の日
7 月	13 日	ジンギスカン	2 月	8 日	寄せ鍋
	28 日	世界肝炎デー		16 日	寒天の日
8 月	3 日	夏祭り	3 月	14 日	スイーツデー ホワイトデー
	3 日	八丁味噌の日		31 日	山菜の日

他 季節行時 : 土用の丑・敬老の日・クリスマス・お正月・七草・節分・ひな祭り 等

(4)週間予定献立表ー抜粋

	11/6 (日)	11/7 (月)	11/8 (火)	11/9 (水)	11/10 (木)	11/11 (金)	11/12 (土)
朝食	ご飯 味噌汁(なす) 茎わかめの佃煮 大根甘酢 うり漬 牛乳 or ヤクルト	ご飯 味噌汁(もやし) 白菜ピーナッツ和え すき焼風味 桜漬 牛乳 or ヤクルト	ご飯 味噌汁(ほうれん草) 細切り昆布の炒め煮 たら華造り たいみそ 牛乳 or ヤクルト	ご飯 味噌汁(南瓜) 納豆 味のり 胡瓜塩漬 牛乳 or ヤクルト	ご飯 味噌汁(豆腐・葱) 大根の金平 じゃこ佃煮 山海漬 牛乳 or ヤクルト	ご飯 味噌汁 (えのき・にら) わらびの炒め煮 身欠昆布 大根味噌漬 牛乳 or ヤクルト	【A】 あんぱん バターロール 目玉焼 ツナの和え物 コーヒー(手づくり) 牛乳 or ヤクルト 【B】 ご飯 味噌汁 目玉焼 ツナの和え物 漬物 牛乳 or ヤクルト
昼食	ご飯 味噌汁(モロヘイヤ) 豚ジンギスカン 筍とワカメの煮物 豆苗の塩昆布和え	えびカツ丼 味噌汁 (ふのり・聖大根) 栗と鶏肉の醤油煮 長芋のおかかサラダ	ご飯 三平汁 味噌おでん 薩摩豆腐 胡瓜の甘酢生姜和え	ご飯 もやしのスープ 酢豚 えびしゅうまい レタスのサラダ	【A】 イチゴジャムパン ライ麦パン コンソメスープ ビーフシチュー 海草サラダ 【B】 ご飯 コンソメスープ ビーフシチュー やまうど金平 海草サラダ	ご飯 味噌汁(小松菜) 鮭のマヨネーズ焼き エリンギの金平 コールスローサラダ	ご飯 味噌汁(じゃが芋) えび団子 レバニラ炒め いんげんと白木耳のナムル
	キウイフルーツ	りんご	パイン	牛乳寒(みかん)	梨	オレンジ	柿
夕食	ご飯 味噌汁(薩摩芋) たらのムニエル カレー風味ソース 冬瓜のそぼろ煮 ほうれん草の 胡麻マヨ和え	ご飯 味噌汁(キャベツ) そいの南部焼き ふきの油炒め トマトサラダ しらすのせ	ご飯 味噌汁(菜花) 白菜とひき肉の 重ね蒸し 里芋しら煮 ひじきとごぼうの しそマヨ風味	ご飯 味噌汁(白菜) すり身揚 蕪の煮物 なめたけおろし	ご飯 味噌汁(里芋・葱) カレイの野菜あんかけ 豆鼓炒め かぶのわさび酢和え	ご飯 味噌汁 (切干大根・貝割) 豚肉ソテー おろし添え 卵の袋煮 人参のサラダ	ご飯 お吸いもの 魚の西京漬焼 白菜の煮物 こんにゃくとセロリの和え物



2-4 院外受診状況表　　　　　　（　療　護　部　）

院外受診件数　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2023年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
計	27	27	30	25	24	32	27	24	35	22	23	30	326
職員付き添い数	27	27	29	25	23	32	28	23	35	22	24	30	325

＊2022年度同様に加齢による眼症状などでの新規受診がみられました。また１人で複数の病院を受診される方も増えてきています。

救急搬送件数　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2023年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
計	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	1	0	5

＊救急搬送先科目と原因疾患においては、内科４名（コロナウイルス感染２名、肺炎２名）、泌尿器科１名（前立腺肥大）でした。

【行事写真】

お花見

パフェの日

外出レク

はまなす車いすマラソン2023

夏祭り

年忘れ会食会

3. 診 療 状 況

【診療部】

外来患者月別実績表

2023年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	年度1日平均
診療日数	9	8	9	8	10	8	9	8	7	8	9	8	101	73.1
延患者数	639	619	648	594	653	647	656	575	590	616	533	616	7,386	
月1日平均	71.0	77.4	72.0	74.3	65.3	80.9	72.9	71.9	84.3	77.0	59.2	77.0		

・コロナ感染のためリハビリの実施回数減少。（7月・2月）

物理療法（消炎鎮痛）実施状況

2023年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	9	8	9	8	10	8	9	9	7	7.5	6.5	8	99	21.8
延人数	220	199	193	208	147	87	201	197	199	210	125	174	2,160	

＊7月中旬から下旬と2月上旬から下旬の2回新型コロナウイルスによるクラスターが発生。感染拡大防止のためお客様の行動制限を実施。そのため物理療法の実施数が減少。（2022年度と比べて1日平均1.9人程

言語療法実施状況

2023年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	3.5	2.5	3	3.5	3	3	4.5	3.5	3.5	2.5	1.5	3	37	13.7
延人数	43	38	38	50	47	45	65	32	39	40	22	47	506	

＊物理療法同様、2回の新型コロナウイルスによるクラスターが発生し、感染拡大防止のためお客様の行動制限を実施。そのため言語療法の実施数が減少。（2022年度と比べて1日平均0.7人程度減少）

4．のびのびファイン

2023年度

（1）事業紹介

事業所名	対象者	特　徴
地域密着型通所介護 のびのびファイン	介護１～５	リハビリを通して自宅でその人らしい生活を継続できるよう支援します
介護予防通所介護相当サービス のびのびファイン	要支援１・２ 事業対象者	お身体に合ったリハビリや運動を提供し、機能向上・維持を目的としたサービスです。
通所サービスC のびのびファイン	要支援１・２ 事業対象者	生活動作を中心にリハビリを行う6ヶ月間（全24回）の短期集中型リハビリです。

（2）活動内容

のびのびファイン(地域密着型通所介護＋介護予防通所介護相当サービス)

定員:午前18名　午後18名

【スケジュール】

午前	午後	内　　容
9:00	13:00	お迎え
9:25	13:30	サービス利用開始　血圧測定・体調確認
9:40	13:40	準備体操・口腔体操
9:50	13:50	個別リハビリ　マシントレーニング　レクリエーション他
12:10	16:10	整理体操
12:30	16:35	サービス利用終了・お送り

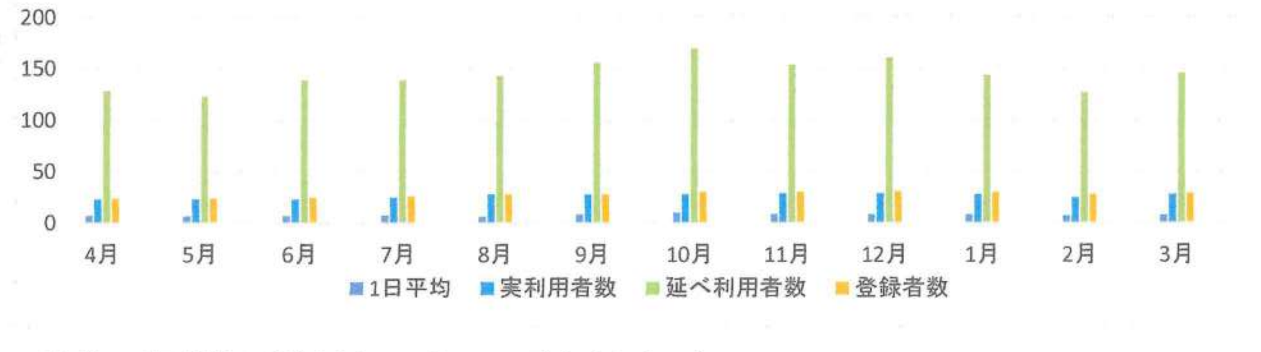
（3）事業実績

1）地域密着型通所介護

Ⅰ）利用状況（定員数：36名/日※介護予防通所介護相当サービスを含む　　(2024年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均	7.2	6.8	7	7.7	6.5	8.6	10	8.8	8.5	8.5	7.4	7.9
実利用者	23	23	23	25	28	28	28	29	29	28	25	28
延利用者	129	123	139	139	143	156	170	154	161	144	127	146
登録者	24	24	25	26	28	28	30	30	31	30	28	29

（単位：人）



・要介護の登録者数は増加傾向で12月には31名となりました。

・夏期は猛暑の影響で冬期は感染症の流行等もあり利用者数は減少しました。

Ⅱ）利用者構成

性別	要介護区分					計
	介護１	介護２	介護３	介護４	介護５	
男性	6	5	1	2	0	14
女性	10	3	1	0	0	14
計	16	8	2	2	0	28

（単位：人）

Ⅲ）地域別利用状況

地区	東部地区	西の里地区	大曲地区	西部地区	北広島団地地区	計
人数	8	2	3	1	14	28

（単位：人）

・北広島団地地区のお客様が半数、東部地区のお客様も増加しています。

２）介護予防通所介護相当サービス

Ｉ）利用状況　（定員数：36名/日　※地域密着型通所介護を含む）　(2024年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均	22.1	20.4	22.2	21.9	21.5	21.3	24	20.7	22.7	21.6	22.5	22.5
実利用者	80	79	82	81	81	78	78	80	81	78	81	81
延利用者	355	326	399	329	344	341	363	310	386	324	361	383
登録者	84	79	84	84	81	82	80	82	83	84	84	83

（単位：人）

・登録者数は5月に80名を切りましたが、その他の月は80名以上を維持できました。

Ⅱ）利用者構成

性別	要支援区分			計
	事業対象者	要支援１	要支援２	
男性	5	10	5	20
女性	7	35	19	61
計	12	45	24	81

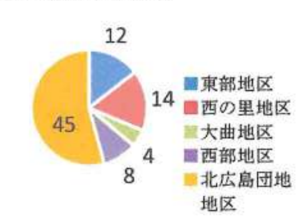
（単位：人）

・区分変更により要支援2のお客様の割合が増えています。

Ⅲ）地域別利用状況

地区	東部地区	西の里地区	大曲地区	西部地区	北広島団地地区	計
人数	12	14	4	8	45	83

（単位：人）



・北広島団地地区のお客様が半数以上を占めており地域に根差したサービスを提供しています。

３）総合事業通所型サービスＣ

Ｉ）利用状況　（開催日：1回/週　定員数：３名）　　（2024年3月31日現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0
延利用者	3	0	0	4	4	4	4	4	3	0	0	0
登録者	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0

（単位：人）

・短期集中型（6ヶ月間）の事業で、長期的な利用を希望する方が多く、登録者数の増加には至りませんでした。

（４）活動の様子

・個別リハビリや集団体操、レクリエーション活動を楽しんで頂いています。

5-1 利 用 者 支 援 状 況　　　【障がい福祉サービス】

（1）　定　　員 （ 及び登録者数 ）

2024年3月31日現在

	機能訓練	（ ）内は登録数	生活介護	（ ）内は登録数	共　生　通　所
定　　員	6	(1)	34	(69)	(16)

※一年間を通して在籍者数に大きな変動はなく、介護保険対象となり生活介護が終了となっても共生通所に移行し継
利用ケースが多い。機能訓練の利用希望は減少傾向、共生通所の登録者数が増加傾向にある。生活介護と共生通所の

（2）　利用実績状況

月	機能訓練（定員6名）	生活介護（定員34名）	共生通所	日中活動合計（ 定員40名）	
	実利用数(1日平均)	実利用数(1日平均)	実利用数(1日平均)	実利用数(1日平均)	実支援日数
4　月	0.3	24.3	2.9	27.5	23
5　月	0.3	24.4	3.3	28.0	23
6　月	0.4	24.6	3.5	28.5	24
7　月	0.4	24.6	3.9	28.9	23
8　月	0.5	25.0	3.5	29.0	24
9　月	0.4	24.0	3.2	27.6	23
10　月	0.4	23.0	3.4	26.8	23
11　月	0.4	24.0	3.2	27.6	23
12　月	0.4	25.0	4.4	29.8	24
1　月	0.4	23.3	3.6	27.3	23
2　月	0.5	24.0	4.0	29.0	22
3　月	0.0	23.9	4.6	28.5	23
平　均	0.4	24.2	3.6	28.2	23.2

※コロナ感染症の影響も少なくなり、利用控えも減り利用実績が伸びた。
共生通所の利用実績が増加している傾向にある。

（3）-1　性 別 年 齢 別 状 況

		最 低 年 齢	最 高 年 齢	平 均 年 齢	男女平均年齢
男　性	機 能 訓 練	66.1	66.1	66.1	66.1
	生 活 介 護	19.6	85.9	20.5	49.9
	共 生 通 所	60.4	75.4	68.3	69.6
女　性	機 能 訓 練	−	−	−	
	生 活 介 護	19.7	81.8	49.3	
	共 生 通 所	64.5	81.1	71.54	

※18歳から85歳（共生型）までと幅広い年齢層の利用がある。

（3）-2　性 別 年 齢 別 状 況

年齢範囲（歳）		15～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合　計
男　性	機 能 訓 練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	生 活 介 護	4	2	2	3	1	4	3	10	1	2	1	2	2	37
	共 生 通 所	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	2	0	9
女　性	機 能 訓 練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生 活 介 護	3	2	3	4	2	5	1	2	1	5	1	1	2	32
	共 生 通 所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	0	1	7
合　計	機 能 訓 練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	生 活 介 護	7	4	5	7	3	9	4	12	3	7	2	3	4	69
	共 生 通 所	4	0	4	0	3	4	6	4	2	1	3	4	1	14

※18歳から85歳まで幅広い年齢層からの利用がある。前年度と比較し、平均年齢は若干上がっている状況。

(4) 障 害 状 況

2024年3月31日現在

	脳血管障害	脳性麻痺	脊髄損傷	頭部外傷	精 神	難 病	その他	手帳なし	合 計
機能訓練	0	1	0	0	0	0	0	0	1
生活介護	17	13	7	3	1	10	15	3	69
共生通所	10	1	0	0	3	2	0	0	16

※重複での障がいあり

難 病 内 訳 : 遠位型ミオパチー　多 発 性 硬 化 症　筋緊張性ジストロフィー
CFC症候群　球脊髄性筋委縮症　先天性無痛症　等

※近年は、精神疾患、知的障害、難病の利用者様が増加傾向にあり、多様な障害状況となっている。

(5) 障 害 支 援 区 分 ・ 要 介 護 度

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均区分
機能訓練	1	0	0	0	0	0	0	
生活介護		0	1	14	16	9	29	4.8
合 計	1	0	1	14	16	9	29	4.8

＊ 機能訓練については障害区分認定が無いため、一次判定（コンピューター判定）結果を記載

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
共生通所	4	4	3	2	3	2.8

※障がい支援区分は、昨年と比較し大きな変化はないが、要介護度は上がっており重度化が見られている。

(6) 出 身 地 域 別

	北広島市	恵庭市	札幌市	江別市	その他市町村	
合 計	51	11	16	3	5	86

※約４０％の利用者様が、市外からの利用となっており、広範囲に送迎を行っている。

(7)身 体 お よ び 認 知 状 況

		障害自立度					認知症自立度					
区分	人数	自立	J	A	B	C	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	M	なし
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	3	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	2
区分3	18	0	10	8	0	0	1	1	0	0	0	15
区分4	17	0	8	8	1	0	3	2	0	0	0	11
区分5	10	0	0	7	2	1	1	2	0	0	0	7
区分6	29	0	0	4	7	18	0	2	0	0	0	8
合計	77	0	18	30	10	19	5	8	0	0	0	43
%		0	23	39	13	25	6	10	0	0	0	56
合計		77					56					

(8)医療的ケア(実人数、複数回答)

ケア内容		経管栄養	喀痰吸引	間歇的導尿	ストーマ処置	カテーテル	摘便・浣腸	褥瘡	疼痛の管理	皮下注射	血糖測定
人数	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活介護	11	9	5	0	5	4	6	1	0	0
	共生通所	2	2	0	0	2	0	1	0	1	1

※重複あり

※医療的ケアを必要とする利用者様が増加しており、ニーズも高い状況にある。特に最近は若年層からのニーズが高い傾向。

（9）　レクリエーション実施状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2024年3月31日現在

レクリエーション種目	実施月	内容
ほのぼのくらぶ	通年	スヌーズレン、制作活動、水遊び、雪遊び、音楽活動
外出レク	5～10	お花見、新さっぽろ周辺、小樽、恵庭道の駅、キリンビール園、にじのかかるところ
運動会	6	玉転がしリレー、玉入れ、借り物競争、棒サッカー
夏祭り	8	射的、魚釣り、ヨーヨー釣り、焼き鳥、焼きそば、カレーライス、唐揚げ、わらび餅
年忘れ会食会	12	ビンゴ、VO手品、VOキッズダンス、フラダンス、職員出し物
グループ活動等	通年	生産活動、ほのぼのクラブ、出店（ふれてフェス等）、麻雀、制作体験会

（10）　地域生活支援事業　～　日中一時支援　登録者数　14名（うち日中一時のみ利用　14名・生活介護併用　1名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延利用回数	93	100	107	104	100	94	79	83	103	98	92	88	1141
実利用人数	11	12	14	13	12	14	11	12	12	13	14	14	152

※ほぼ児童デイ利用者の入浴による利用やリハビリ目的による利用となっている。

【レクレーション風景】

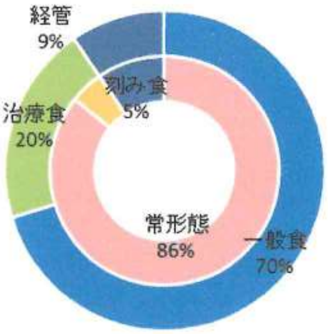
【外出レク】

日々のアクティビティ（例）

(11)食事提供状況

2024年3月31日現在

(1)食種・形態



		在籍 (食事なし除く)	84	人
食種	一般食		59	人
	治療食	糖尿病 肝臓病 等	17	人
	経管		8	人
形態	常形態		72	人
	刻み食	刻み・ペースト食等	4	人
	経管		8	人

(2)食事摂取基準

一般食

エネルギー	600	kcal
たんぱく質	24	g
脂質	17	g
炭水化物	95	g

(3)イベント食

月	日	行事食 / 食べ物記念日	月	日	行事食 / 食べ物記念日
4 月	4 日	開所記念日	10 月	17 日	セレクトメニュー
5 月	10 日	春の食材メニュー	11 月	13 日	セレクトメニュー
6 月	15 日 28 日	セレクトメニュー パフェの日	12 月	16 日	会食会
7 月	28 日	梅の日	1 月	17 日 日	お祝い御膳
8 月	16 日	みなみまつり	2 月	2 日 16 日	節分 寄せ鍋
9 月	6 日 7 日	ジンギスカン	3 月	1 日	ひな祭り

(4)週間予定献立表−抜粋

2023年 週間予定献立表 12月

地域サポートセンター みなみ

	12月4日(月)	12月5日(火)	12月6日(水)	12月7日(木)	12月8日(金)	12月9日(土)
昼食	ご飯 味噌汁(南瓜) 豚カツ 含め煮(はんぺん) 海藻のみぞれ和え	【A】 肉うどん トマトサラダ 【B】 ご飯 味噌汁(なす) 秋刀魚蒲の焼玉子とじ エリンギのオイスター炒め トマトサラダ	ご飯 味噌汁(大根・キヌサヤ) 鮭ちり風煮 しいたけの肉詰め マカロニサラダ	ご飯 豆もやしのスープ チキンソテイ 和風きのこソース キャベツの煮びたし スナップエンドウのおかかポン酢	ご飯 お吸いもの 豚肉と茄子のみぞれ煮 お麩の田楽 胡瓜とかにかまの酢の物	ご飯 味噌汁(タマネギ・人参) マーボー豆腐 南瓜の煮物 ブロッコリーのピリカラマヨ和
おやつ	フルーツ2種	レモンゼリー	オレンジ	パイン	キウイフルーツ	りんご

5-2 利用者支援状況　　　【障がい児通所支援】

(1)　定　員（及び登録者数）　　　2024年3月31日現在

	児童発達支援登録数	放課後等デイサービス登録数
定員（5名）	1	20

※定員5名に対する登録者数は横ばい。新規登録者が減少傾向。

(2)　利用実績状況

月	児童発達・放課後デイ	
	実利用数（1日平均）	実支援日数
4　月	4.6	23
5　月	4.4	23
6　月	4.8	24
7　月	3.9	23
8　月	4.5	24
9　月	4.3	23
10　月	4.4	23
11　月	3.8	23
12　月	4.7	24
1　月	4.6	23
2　月	4.0	22
3　月	4.4	24
平　均	4.4	23,3

※感染病の家族感染が多かったです。突発的なキャンセルも多く実利用数5.0を超える事ができませんでした。

(3)　性別年齢別状況

		最低年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢	
					児童発達	放課後デイ
男児	児童発達				16歳7ヶ月	14歳1ヶ月
	放課後デイ	7歳2ヶ月	18歳8ヶ月	13歳11ヶ月		
女児	児童発達	16歳7ヶ月				
	放課後デイ	7歳10ヶ月	18歳11ヶ月	14歳4ヶ月		

※高校卒業（18歳）まで利用する方がほとんど。新規の児発の利用者のが少ないです。

(4)　医療的ケア

ケア内容		胃ろう	経鼻	SC	エアウエイ管理	酸素	呼吸器	導尿	痙攣時座薬挿入	排便管理	気管管理
人数	児童発達	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0
	放課後デイ	6	2	9	2	8	0	1	7	2	2

※一人の利用者で複数のケア実施あり
※医療ケアの実施に関しては各家庭での状況（方法）に合わせる様努めている。

(5)　障害状況

		脳障がい	遺伝性疾患	てんかん	先天性	脊髄疾患	代謝疾患	側弯症	染色体異常	発達障がい	その他
人数	児童発達	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	放課後デイ	12	2	7	4	2	1	3	1	1	1

※重複障害あり

(6)　出身地域別

		北広島市	札幌市	恵庭市	江別市	千歳市	由仁町	…	…	…	…
人数	児童発達	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	放課後デイ	14	0	2	1	3	1	0	0	0	

（7）　　レクリエーション実施状況

2024年3月31日現在

レクリエーション種目		内　　　容
季節の製作	通年	桜、ハート、かぶと、ミノ虫、こいのぼり、お花、葉っぱ、鳥、七夕飾り（短冊）、パイナップル、りんご、カボチャ、パーナップル、龍
季節の行事	通年	水遊び、雪遊び、畑作り（種まき、水まき、収穫）、七夕、書初め、豆まき お祭りごっこ、ハローウィン仮装、ひな祭り、卒業をお祝いする会、端午の節句、クリスマス
外出レク	通年	桜花見、ドライブ、ふれてまつり、ともに学芸会、センター祭、市役所アート展、石屋製菓見学、ともに運動会
調理レク	通年	かき氷
日々の活動	通年	散歩、スヌーズレン、ブランコ、誕生会、絵本、トランプ、ペタンク、ボウリング、カラオケぬりえ、シャボン玉、ハンモック、卓球、キャッチボール、魚釣り、ボードゲーム、スマートボール、かるた、ハンドベル、くるみボタン作り、じゃんけん大会、アイロンビーズ他

※季節の行事は季節感を重視し、各月、週単位で行っています。製作で作った作品は壁面に展示するようにしています。

【レクレーション風景】

【クリスマス（12月）】

【みなみ祭（１０月）】

【　水遊び（７月）　】

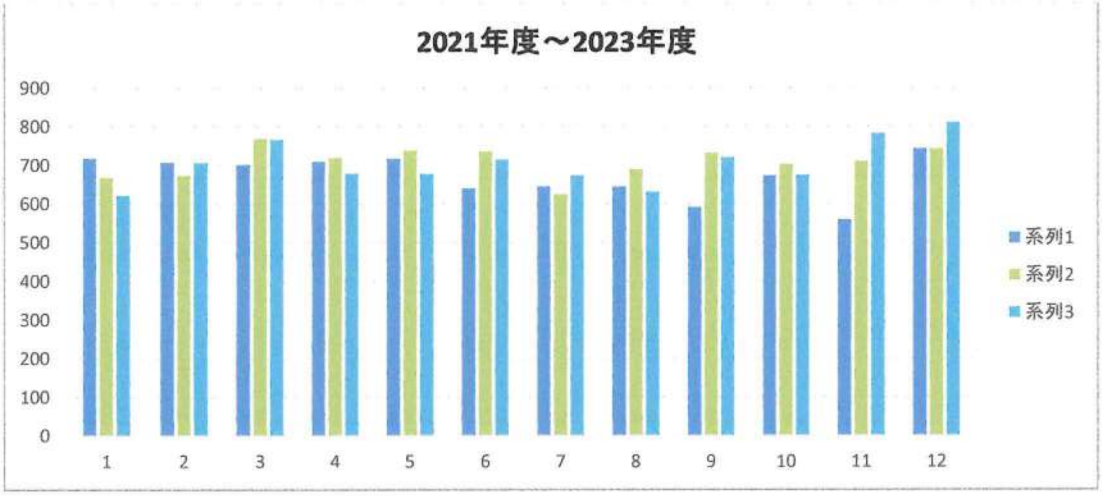
【　秋のお散歩（９月）　】

6. 障がい者生活支援センターみらい事業実績状況

(1) 月別相談件数　　2023年度

＊同一利用者に関わる相談は一日１件で集計

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	622	707	766	679	678	714	674	631	720	675	782	810	8,458

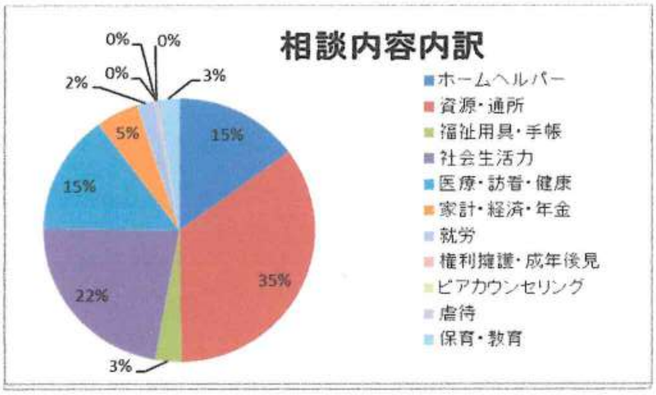


(2) 内容別・形態別・障害別・地域別相談件数 (2022年度)

＊受けた回数をそのまま集計している。（内容が重複している相談は除く）

① 相談内容内訳

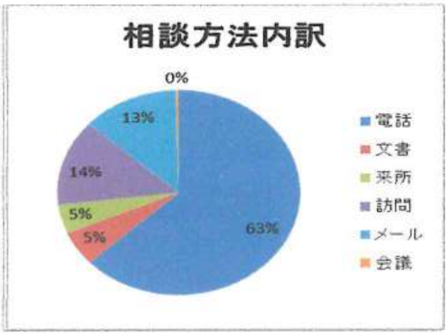
相談内容内訳	( )内は前年度人数
ホームヘルパー	1,866 (1,534)
資源・通所	4,372 (4,606)
福祉用具・手帳	394 (332)
社会生活力	2,820 (2,975)
医療・訪看・健康	1,837 (1,560)
家計・経済・年金	635 (611)
就労	258 (216)
権利擁護・成年後見	36 (55)
ピアカウンセリング	12 (11)
虐待	5 (11)
保育・教育	333 (306)
合計	12,568 (12,217)



総相談件数は昨年度に続き12,000件を超えて高止まり状態であるが、のべ「相談件数」において2～3月は昨年比より大幅に増加している。特に3月は過去最高数となっており、増加要因として、他市からの転入者や新規の児童デイ利用希望が集中してあったこと、新年度に向けてサービスの変更・追加を希望する方が多かった事による。「相談内容」では児者共に医療連携を含めた他機関連携が増えている事。また児童に関しては学校や児童相談所との連携機会が増えている事が特徴として上げられる。

② 相談方法内訳

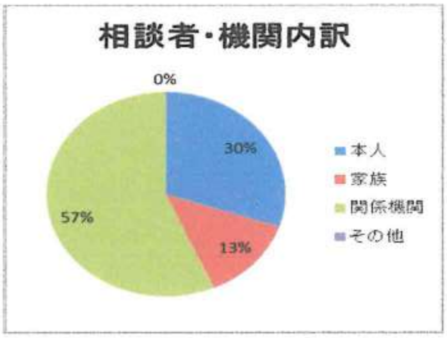
相談方法内訳	( )内は前年度人数
電　話	9,031 (9,222)
文　書	779 (606)
来　所	660 (617)
訪　問	1,962 (1,920)
メール	1,887 (1,368)
会　議	44 (66)
合　計	14,363 (13,799)



昨年よりメール件数が大幅に増加。ＬＩＮＥを含んで計上しており、特に児童の家族との連絡調整にＬＩＮＥを活用している事が影響している。連絡ツールとして欠かせないものになって来ている。

③相談者・機関内訳

相談者・機関内訳	( )内は前年度人数
本　人	4,370 (4,312)
家　族	1,911 (2,121)
関係機関	8,127 (7,809)
その他	7 (18)
合　計	14,415 (14,260)



昨年とほぼ同様の状況。他機関連携が増えている影響により関係機関は微増している。

(3)-1 相談数・相談実人数・新規相談数の比較　　2023年度

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
相談件数	7,237	7,503	7,868	8,050	8,507	8,458
相談実人数	429	439	426	425	437	441
新規相談件数	65	44	41	33	49	52

新規相談数は昨年より増加。(のべ)相談数は前年とほぼ同様だがコロナ禍にあった年に比べ、相談実人数は増加傾向である。一人に対する相談頻度の増加や長期的な相談支援になるケースが多くなって来ている。

(3)-2 相談実人数詳細　　2023年度

	身体	重心	知的	精神	発達	その他	実人数
障がい者	76	12	124	77	21	10	320
(2021年度)	(75)	(9)	(118)	(91)	(18)	(14)	(325)
障がい児	8	7	35	0	71	0	121
(2021年度)	(11)	(5)	(41)	(0)	(54)	(0)	(111)
計	84	19	159	77	92	10	441
	(86)	(14)	(159)	(91)	(72)	(14)	(436)

全体の相談実人数は増加。特に障がい児が増加している。（前述の通り、児童デイ利用を希望する障がい児の増加が影響していると考えられる。）

(4)-1 ピアカウンセラー活動内容 2023年度

日　(曜日)	講和内容	学校名（参加人数）
7月11日(火)	〃	2023年度社会福祉法人北海長正会新規採用職員研修
8月29日(火)	肢体障がいについて	北広島市立北の台小学校５年（６６名）
9月12日(火)	〃	北広島市立大曲東小学校４年（７２名）
11月14日(火)	〃	2023年度社会福祉法人北海長正会新規採用職員研修
3月30日(木)	〃	2023年度社会福祉法人北海長正会新規採用職員研修
5月16日(火)	聴覚障がい・手話体験	北広島市立大曲東小学校４年（７２名）
6月16日(金)	〃	北広島市立東部中学校３年（１１２名）
9月7日(木)	〃	北広島市立双葉小学校４年（５１名）
9月19日(火)	〃	北広島市立西部小学校５年（３６名）
9月25日(月)	〃	北広島市立大曲小学校４年（７４名）
10月19日(木)	〃	北広島市立西の里中学校２年（４２名）
10月23日(月)	〃	北広島市立広葉中学校１年（６２名）
11月2日(木)	〃	北広島市立西の里小学校５年（５０名）
12月13日(水)	〃	北広島市立大曲中学校２年（１５０名）
2月22日(金)	〃	北広島市立西の里中学校１年（５４名）

(4)-2 こころの交流会実施状況　単位：人 2023年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者	4	3	3	5	5	6	5	3	3	6	5	2	50

昨年度に続き、オンライン開催の他、集合での開催も行った。継続開催を求める内容（テーマ）については、複数回、定期開催も行っている。

(4)-3 発達障がい者当事者会　ポンコツクラブ　単位：人 2023年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

活動実績なし。

(5) 計画相談件数　（サービス等利用計画作成数） 2023年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
計画相談支援	新規	15	15	22	17	15	47	29	15	21	22	20	24	262	715
	継続	48	34	39	37	35	48	28	42	41	32	27	42	453	
障害児相談支援	新規	6	11	18	9	13	8	4	8	20	4	3	24	128	227
	継続	12	7	7	7	2	17	22	7	7	3	2	6	99	
地域移行支援	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地域定着支援	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新規月別　小計		21	26	40	26	28	55	33	23	41	26	23	48	390	
継続月別　小計		60	41	46	44	37	65	50	49	48	35	29	48	552	
月別　合計		81	67	86	70	65	120	83	72	89	61	52	96	942	

計画作成総数については前年度とほぼ変わらない。上記の作成月以外にも必要に応じて介入し、より良いサービス提供がなされるよう対応している。成人、児童ともにそれぞれの利用しているサービス内容に基づき定期的なモニタリングを実施し状況把握をする事により、新たな課題や介入が必要な事案が判明し、しかるべきサポートにつなげるケースも増えている。

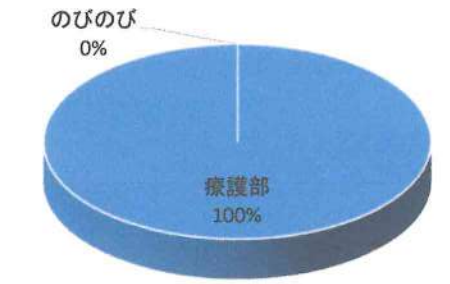
7-1．リスクマネジメント報告

～　事故・ニアミス報告より　～

2023年度

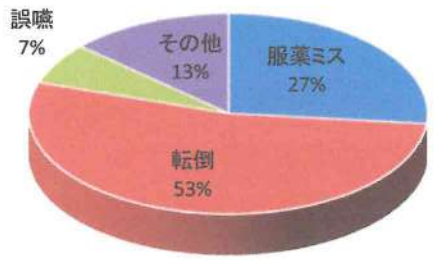
(1) リスク報告件数

療護部	16　件	88.9%
のびのび	2　件	11.1%
計	18　件	100.0%



(2) リスク内容

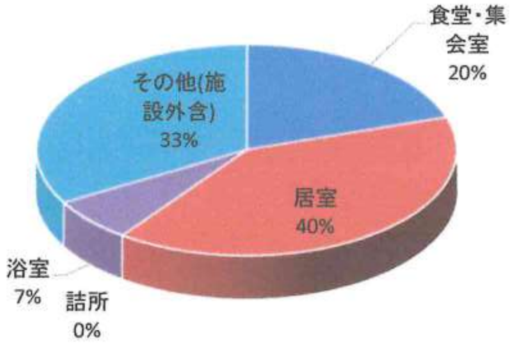
服薬ミス	6　件	33.3%
転倒	10　件	55.6%
誤嚥	0　件	0.0%
その他	2　件	11.1%
計	18　件	100.0%



(3) 発生場所

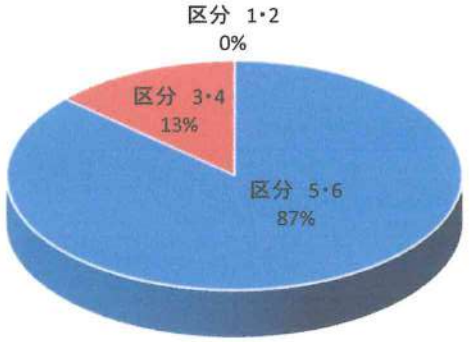
食堂・集会室	4　件	22.2%
居室	10　件	55.6%
詰所	0　件	0.0%
浴室	0　件	0.0%
その他(施設外含)	4　件	22.2%
計	18　件	100.0%

その他に発生場所不明2件を含む



(4) 対象者障害区分

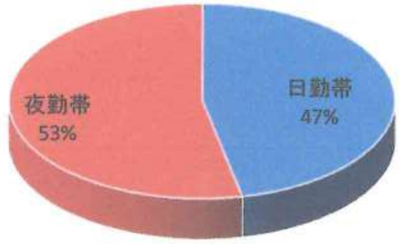
区分　5・6	16　件	100.0%
区分　3・4	0　件	0.0%
区分　1・2	0　件	0.0%
計	16　件	100.0%



(5) 発生時間帯

日勤帯	12　件	66.7%
夜勤帯	6　件	33.3%
計	18　件	100.0%

時間帯不明1名



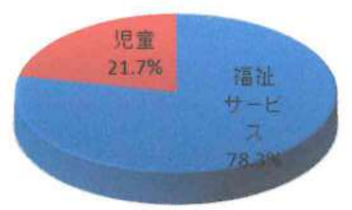
7-2　リスクマネジメント報告（障がい福祉サービス・障がい児通所）

～　事故 ・ ニアミス報告より　～

2023年度

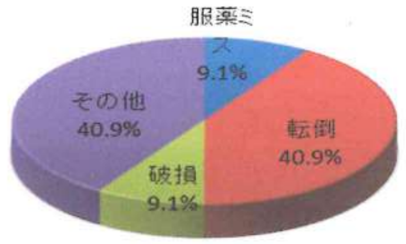
(1) リスク報告件数

福祉サービス	6	件	78.3%
児童	3	件	21.7%
計	9	件	100.0%



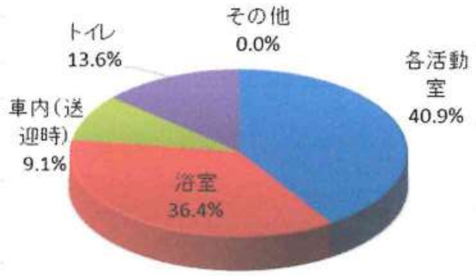
(2) リスク内容

服薬ミス	1	件	11.1%
転倒	5	件	55.6%
破損	2	件	22.2%
その他	1	件	11.1%
計	9	件	100.0%



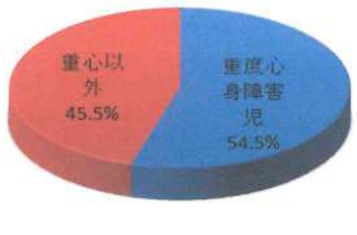
(3) 発生場所

各活動室	4	件	44.4%
浴室	0	件	0.0%
車内（送迎時）	2	件	22.2%
トイレ	0	件	0.0%
その他	3	件	33.3%
計	9	件	100.0%



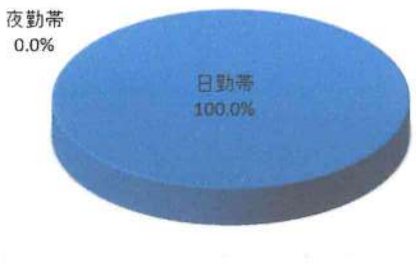
(4) 対象者障害区分

重度心身障害児	3	件	33.3%
重心以外	5	件	55.6%
計	9	件	100.0%



(5) 発生時間帯

日勤帯	3	件	33.3%
夜勤帯	0	件	0.0%
計	9	件	100.0%



様式1

2023年度 総務課 事業総括

主管　総務課

事　業　方　針

総務課の役割は窓口業務、請求業務、給与賃金、各種手続等の労務管理の他、医事業務、施設管理、給食業務と多岐に渡る。それぞれがお客様、職員の為を考え行動していく事が大切になる。

制度改定・法改正等が事業を継続していく上で、大きな影響を受けることを念頭に置き、日頃より情報を収集し各事業が、健全かつ安定した事業運営が行えるように側面的な支援を行っていく。個人情報保護法の改正についても広く個人情報を取り扱う部署として慎重な取り扱いを行う。また、少人数で業務を行う部署として IT も積極的に取り入れ書類のペーパーレス化を進め業務のスリム化を目指す。

慢性化している人材不足については、引き続き人材確保を行うとともに、職員が辞めない環境づくりを進める。

重　点　事　業　項　目

<庶務係>

◇庶務係は施設の入り口として謙虚に努め、利用者、ご家族、職員、外部のお客様に対し生活を含めた全般をサポートする役目を担っているということを念頭におき、信頼される庶務係（事務室）となるよう業務展開していく。

◇庶務係は利用者、職員に対し継続的なサービス提供や福利厚生の充実をはかれるような情報や企画の提供に努める。また、様々な情報が集約される部署であるため、情報管理を徹底し利用者、職員共に安心できる頼られる体制を維持していく。

<施設業務係>

施設管理部門

◇建物、設備の管理及び維持に努める。　◇車両管理及び除排雪行う。

◇光熱水費及び燃料費の効率的使用と使用量の低減化を図る。

医療事務部門

◇外来患者対応業務等を速やかにミスなく行う。

◇保険請求業務のチェックを行い算定漏れや査定・返戻減らす。

<給食係>

◇「お客様によろこんでもらえる」且つ「お客様本位」である食事提供を行う。

◇給食提供に伴う制度や食材高騰などを含む社会情勢の変化に対応しうる、柔軟性・多様性のある組織（給食係）作りを行う。

【上半期評価】	【最終評価】
庶務～問題や検討が必要な時は以前にもまして各々意見を出し合い議論することが増え、徐々にではあるが様々な視点から物事をとらえられるようになってきたと感じる。下半期も継続していきたい。 施設業務～医事 コロナワクチン接種券届かず未請求者が出ている。9月中顔認証カードリーダー設置。 施設　事業計画通りに達成する事が出来たが各自主点検が出来ていない時があった。 給食～計画外の業務が複数生じ、事業内容に対し細部まで検討し実行するまでには至らなかった反面、それらの事案を通し現状を客観視できた。計画外でも対応しえた事は柔軟性のある組織づくりの結果であると評価したい。	庶務～重点事項目は計画通り実施達成するとができた。上半期同様、意見を出し合い良く考え、多角的に物事を捉えることができた。次年度は請求、給与業務で大きく変わる年度になるため、システムや手続き等、きちんと見極め準備をしていきたい。 施設業務～医事 通常業務は問題なく行えた。ﾜｸﾁﾝ接種（ｺﾛﾅ・ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ）は、入所者のｺﾛﾅﾜｸﾁﾝｸｰﾎﾟﾝ券が遅れて来たため、最終請求が 3 月までかかった。顔認証ｶｰﾄﾞﾘｰﾀﾞｰは、9月に設置されたので、職員に向けて使用呼びかけを積極的に行う。 施設～計画通りに達成する事が出来たが各自主点検が出来ていない時があった。外気温に合わせて、暖房の温度調節し重油の燃費向上が出来た。 給食～予定外の事に多くの時間が割かれた1年であった為、目標に対し不十分な点がある事は否めないが、長短を見極め且つ現状を客観視できる良い機会となった。事故なく食事提供を継続できた事は職員の成果としたい。

様式1

2023年度　診療部　事業総括

主管　　管理者

事　業　方　針

診療部は、2017 年度から北広島市介護予防日常生活支援総合事業を開始し、2020 年は新規事業（地域密着型通所介護事業）の開始に伴い法人内の会計区分（拠点）の見直しを行い、診療部については施設を利用されるお客様（施設入所者、通所外来）の診療報酬のみを収入源とするシンプルな会計区分とした。その結果、収入面は落ち込み、運営的には厳しい局面を迎えているが 2022 年度においては新型コロナウイルスのワクチン接種の実施などより、収支的には改善が認められた。

しかし、新型コロナの感染症法上の見直しにより季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行するため、2023年度は収支のバランスを見極めながら安定した運営体制の実現に向け取り組んでいきたい。また、引き続き感染防止を第一に障がい者施設、高齢者施設利用者の健康管理に努め、感染発生時を想定し、法人と連携を取りながら初動の対応整備を強化する。

重　点　項　目

1．**健康管理への取り組み**

施設で生活されるお客様の健康管理（予防・早期発見・治療）は、健康な生活を継続する上で重要な関わりである。障がいの多様化・重度化、高齢化から医療的な処置を必要とするお客様は多く、他医療機関への受診や入院はお客様にとっての負担（不安）を強いり、施設にとっても経営上大きな影響を及ぼすものである。施設（地域）で生活されているお客様が安心して生活を送れるよう健康管理に向けた診療体制の確保に取り組んでいく。

2．**外来リハビリテーションの取り組み**

法人理念「お客様が喜んでもらえるように」「お客様に役に立てるように」に基づき、入所利用者様に対して物理療法による消炎鎮痛やＳＴが口腔ケアの管理及び疾患別リハビリテーション実施し、疼痛緩和や可能な限り長く経口摂取を継続出来る事、言語的・非言語的コミュニケーション能力の維持・向上が図れるよう支援する。

3．**感染症防止対策の取り組み**

重度障がい者や高齢者においては感染リスクが高まることを踏まえ、感染防止対策委員会と連動して感染予防に努める。また、感染症が発生した場合の対策など、感染対策マニュアルの見直しを進める。

【上半期評価】	【最終評価】
高齢化が進むお客様に対し、日々の健康管理や口腔ケアにより重篤化を予防に努めているが、肺炎などによる入院対応を要するケースが複数みられている。 当初計画ではコロナ感染のワクチン接種を予定していなかったが、6月に実施している。 7 月中旬に新型コロナの感染者が発生したが、ガウンテクニック研修の実施や初動対応がスムーズに進めることが出来、早期に終息ができている。	コロナ感染のワクチン接種を6月・11月、また、インフルエンザ予防接種も 12 月に実施し、収入面では計画値を達成できる見込みである。 施設内におけるインフルエンザの発生はなかったが、2月に新型コロナの感染者が発生し、利用者 12 名、職員 5 名が感染している。ゾーニング後の感染が認められため、感染防止については課題を残している。引き続き、ダウンテクニックなどの研修を実施する必要性がある。

様式1

2023年度 会計課 事業総括

主管 会計課

事業方針

新型コロナ収束の兆しも見え始めるであろう 2023 年度は、エネルギー問題が引き続き法人運営に制約となるなか、入所サービスの安定と通所サービスの業績回復が 2024 年度の経営発展に繋がるよう期待しています。

その中で、経理の役割が実現できるのか、入出金の処理管理などの正確でスピーディな会計処理が、経理の根幹であることは間違いありません。一方で法人の財務状況を最も把握している経理だからこそ、現状だけでなく中長期的な経営計画の道筋を示せる。正確な会計処理に基づくデータ分析こそが、法人の利益へ直結する経理の付加価値だと考えます。ただその役割を思うように果たしきれない課題もあります。スキルの向上と体制の完備に努めて参ります。

重点項目

1）決算までのプラン設定

2）キャッシュフローの見える化

3）財務の健全化

4）求められるスキルと正確でスピーディな会計業務

5）経営状況の把握と提供

【上半期評価】	【最終評価】
決算が滞りなく終えることができた事に加え財務諸表等電子開示システム、福祉医療機構事業実績報告書についても期日までに提出できたこと、また日頃の入出金等の処理管理などの正確でスピーディな会計処理が出来ていることについては評価したい。 引き続き、税理士と連携しながら経理、財務業務にあたっていきたいと考えます。	日常的な業務について概ね期日までに完了することができているが、一部の拠点区分において把握しきれていない部分があるので今後の検討課題である。さらに、物価高騰に伴う適正な予算管理や業者の見直し、コスト削減が求められてくる。 1月に行った障がい者相談支援事業の委託料に係る消費税の修正申告に伴い今年度から消費税の計算方法が変更となる為、更なるスキルアップが求められる。（簡易課税から本則課税へ）

様式1

2023 年度　療護部　事業総括

主管　入所支援課

事業方針

昨年度は施設内の新型コロナウイルスのクラスターが発生し、比較的早く終息できたものの、その後も感染拡大防止対策に伴い、施設内行事以外の外出行事・外出・外泊を制限せざるを得ない状況となってしまった。しかし、今年度は「静（できない」から「動（どうすればできるか）」に転換し、感染対策を徹底しながら、お客様が地域での活動や社会との関わりが増え、お客様の自己効力感の向上や自己実現が達成され、また地域に根ざした施設としての役割を担い推進できるよう取り組んでいきたい。

また、昨年度より各職種別の課制を「入所支援課」へ統合した療護部は新たな組織体制で運営がスタートした。現在も多職種が各専門性を活かしチームケアに努めている発展段階である。その中でサービスの質の向上を図るためには、チーム内・関係機関・地域との「情報共有」および「協働」が不可欠である。今年度は「情報共有と協働によるチームケア」をスローガンに掲げ、お客様の尊厳や自己決定を尊重し、基本理念に基づいたサービス提供を図り、生活介護・入所支援・短期入所をご利用のお客様のウェルビーング（身体的・精神的・社会的な幸福）を意識し取り組みたい。また、その達成には支援体制が不可欠であり、人材確保および人材育成も併せて取り組んでいきたい。

お客様一人ひとりが心豊かで快適な生活が出来るよう、当法人の基本理念・倫理綱領に基づき、職員が一丸となって取り組んでいくことを当施設の基本方針とする。

重点項目

1．「ウェルビーイング」に向けての取り組み

＊人権尊重と権利擁護および虐待防止の徹底　＊個別支援計画書の充実および相談支援事業所との連携

＊チームケアの充実　＊健康管理および栄養管理の徹底　＊日中活動の充実　＊地域との共生の実現

2．職員の人材育成と人材確保

＊お客様一人ひとりのストレングスを見出し、寄り添い、障害特性だけではなく健康状態・生活機能・背景因子も配慮した包括的に適切な支援ができる人材育成。

＊OJT およびスーパービジョンによる人材育成の確立

＊福祉養成校等への学校訪問や就職説明会等の職員募集イベントへの参加、広告

3．大規模修繕計画についての取り組み

＊新型コロナウイルス等の感染防止対策の取り組みとして、昨年度同様に施設にウイルスを持ち込まないため、日々の職員の健康管理の徹底を図る。また換気や手洗い、3密回避等の基本的な感染予防の徹底を図る。また、例え施設内で感染拡大を認めた場合であっても、迅速に初動対応にて感染を最小限に止める。

＊ICT や介護ロボット等の活用によりサービスの質の向上および業務の効率化を図る。

＊老朽化して不具合が生じている設備・備品の更新

【上半期評価】	【最終評価】
・上半期の実績として、介護職不足は解消されなかったが、介護職の勤務調整、課内および他課の協力を得て新規お客様4名を受け入れ可。しかし医療ケア要した5名が退所。 上半期(8 月まで)の平均在籍は 71.6(89.5%)で目標値の 74.8 名(93.5%)には至らなかった。 ・外出レク再開や夏祭り、はまなす車椅子マラソン大会等の参加において、お客様が地域活動・参加機会が増え、地域の方々との関わりの中で喜びを感じていただけた。 ・コロナ感染状況として、7月にお客様・職員計 11 名の陽性者が確認されたが 10 日程度でほぼ収束。	・下半期の実績は上半期同様にチームケアで協働し、3名新規受け入れ可も地域移行のため1名退所。下半期（2月まで）の平均在籍数 73 名(91.3%)で目標値の 78.8 名(98.5%)には至らなかった。3月に2名入所受け入れ調整中 ・日中活動として、ボッチャ開始し、全国大会出場という夢を持たれたお客様もおり、意欲的に取り組まれている。 ・2月のコロナ感染において、お客様・職員計 17 名陽性が確認。約3週間で収束。初期の段階で食い止めることが出来なかった。感染対策の徹底が再度必要（一介助一消毒、感染ゾーンの換気）。

様式1

2023年度 のびのびファイン 事業総括

主管　通所支援課

事業方針

高齢化が進む北広島市内において、「介護予防」としてのリハビリテーションの需要は高く、リハビリ特化型デイサービスを行っている当事業所へのニーズも年々高くなっている。のびのびファインとしては、北広島市内にお住いの高齢者がその有する能力に応じて、住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることが出来るよう、「お客様・居宅・支援センター・事業所」が三位一体となって取り組んで行きたい。

「選ばれる事業所」として、専門性の高い質の良いサービスの提供が必要となってきている。のびのびファインでは、リハビリ専門職による個別機能訓練、介護職や機能訓練員による介護予防運動や認知症予防プログラム、麻雀や卓球、アイロンビーズなどの趣味的活動や年齢や障がいなど分け隔てなくできるユニバーサルな活動を取り入れ、お客様ひとりひとりに合わせたプログラムや活動を提供することを目指していく。また、相談員を中心にお客様やそのご家族および居宅事業所、支援センターとの連携を図り情報を共有することで、生活状況やニーズを把握しお客様を包括的に支援していく。そのためには個々の職員が専門性を高め、専門分野以外の知識を習得することも必要であることから、定期的に事業所内での勉強会や外部の研修会に参加しスキルアップを図っていく。

地域密着型通所介護と介護予防通所介護サービス相当サービスの一体型事業として事業運営したことにより、介護認定の区分が変更になってもご利用頂けることになった。通いなれた事業所を継続して利用できることはお客様やご家族の安心にも繋がっている。

「その人らしい生活を支援する」をモットーにお客様が好きなこと、やりたいことを、その背景にある生活歴等を理解、共感し「お客様本位のサービス」を提供できるよう取り組んでいく。

重点事業項目

1．お客様のニーズに合わせ「その人らしい生活を支援する」サービスの提供
　①各専門職がチームとして、お客様のニーズ・生活課題を理解・把握し、専門的な質の高いサービスを提供する。
　②お客様の「その人らいし生活」の実現を目指し、「楽しく・笑顔になれるような明るく元気なサービス」を提供できるよう取り組む。
　③地域の研修会や講習会、行事などに積極的に参加し地域に必要とされる資源となり得るようスキルアップを図る。

2．将来を担う人材育成への取り組み
　①OJT を活用し、経験や成功体験を積み重ね、お客様や職員間でも信頼される人材育成に取り組む。
　②定期的な勉強会や研修を開催し、リハビリ・認知症の専門知識や権利擁護・虐待防止などの知識・技術の向上に取り組む。

3．施設資源を活用したサービスの取り組み（大規模改修計画に付帯して）
　①業務の ICT 化を積極的に推進し、「ムリ・ムダ・ムラ」を無くし効率の良い事業の運営に取り組む。
　②施設敷地内の遊歩道や桜並木などの自然を地域のお客様に発信し、自然と健康促進を掛け合わせた魅力あるサービスの提供に取り組む。

【上半期評価】

上半期、事業所として目指す「その人らしい生活を支援するサービス」「楽しく・笑顔になれる明るく元気なサービス」への取り組みは、職員一人一人が自覚や責任感を持ち、専門職がチームとなり、その特性を活かしお客様の生活課題に取り組む事ができたと評価します。その結果として、お客様がボランティア活動やそれぞれの社会活動を継続する事ができています。また、リハビリだけではなく、様々な行事やイベントを企画し、多くのお客様に喜んでいただき、楽しく・笑顔にサービスの実現ができたと評価し、結果として、職員もお客様と一緒に楽しみながら事業に取り組んでいます。

職員のスキルアップとして、上半期に事業所単独で、3回の事業所内研修と、4回のオンライン勉強会に参加しています。お客様に「選ばれる事業所」となれるよう専門性や人間性を高められる取り組みをOJTを活用し取り組んでいます。しかしながら、8月に退職者1名を出してしまった事から、職員に永く働いて貰える環境作りを考え、退職者にアンケート調査を実施し、今後の環境作りにして行きたいと考えています。

【最終評価】

事業所として「その人らしい生活を支援する」と言うことに焦点をあて取り組みました。お客様一人一人の健康や生活課題に対し、専門職がチームとなり取り組むことができたと評価します。また、リハビリや運動以外にもレクリエーションや季節行事、勉強会、ボランティア活動など、お客様が「楽しく、笑顔になれるサービス」も提供できました。その中でも更生太鼓・夏祭りボランティア・人生会議研修は、職員全員の努力により実施することができたと評価します。

事業実績は、夏場に要介護で体調不良者が多く、数字が停滞しましたが、介護・予防共に目標数値の稼働率80%をクリアしました。しかし、収支差を残すことができませんでした。次年度は人員配置を見直し、効率良く事業運営ができるよう検討して行きたいです。

また、今年度退職者を3名出してしまい事業運営に影響が出ました。次年度は、事業が安定して持続できるよう人材育成、職員のスキルアップに力を入れて行きたいです。

様式1

2023年度　障がい福祉サービス事業所みなみ 事業総括

主管　障がい地域支援課

事業方針

法人基本理念に基づき地域で暮らすどのような障がいのある方にも、その人らしく生き生きとした生活を送ることができるよう、利用者様やご家族が安心して利用して頂けるよう努めていく。利用者様、ご家族が何を必要としみなみが何を求められているのかを考え、変化するニーズを敏感に捉えつつ柔軟なサービス提供を行う。市内環境はエスコンフィールドの開設で大きな変化を迎えている。地域環境を生かしたサービスの提供を視野に入れて行きたい。

みなみの強みとしている各専門職による専門的ケアの一層の充実を図り、入浴やリハビリ、個々の状況に沿った多様な日中活動や生産活動を継続的に提供するとともに、みなみを利用して頂く事でプラスαの経験が出来る様柔軟な支援を行う。幅広い年齢層が関わる事で生まれる学びや成長を感じて頂き、訪問販売や理美容の利用、各種制度申請の支援や補装具作製など、在宅生活での困り感の解消を行い、地域生活を支える資源としてみなみ独自の魅力、強みについて PR し、認知度も高めていきたい。

上記支援を実践するため、職員間の日々の情報共有、チームワームの意識を大切にし、チーム力を高めつつ、質の高いケアの提供、各職種の専門性を生かした一体的な支援を目指す。

重点事業項目

1）感染予防に努めながら、満足度の高いサービス提供を両立させ、安定した利用実績を残す
・感染予防対策を継続し、安心して利用して頂ける環境作りを行う。
・多様な障がい状況に対応したケアや活動の充実を図る。
・変化する社会情勢や地域状況を見極め、柔軟なサービス提供を行う。

2）支援力の向上、チームで一体感を持った支援体制を作っていく
・日頃から『ほうれんそう』の重要性を意識し、ミーティング機会等、多職種連携強化を図る。
・個々に合わせたケア方法について、職員間（ｽﾀｯﾌ会議、ｹｱ会議）で活発な意見交換の機会を作る。

3）地域資源の一つとしてみなみ独自の魅力の発信を強化していく
・みなみ独自の魅力を SNS やﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ等多様なツールを活用し、地域や関係機関へのｱﾋﾟｰﾙを進め認知度を上げる。
・ボランティアの活用や地域の活動への参加等、地域住民との交流機会を作る。

【上半期評価】

上半期のベストは6月の稼働率71%であり、計画値を上回ることができたが、他月に関しては計画値に届かない結果となった。

コロナ感染症が5類に移行したことも大きく影響し、利用控えも解消され稼働率は改善傾向にあり、昨年と比較しても毎月の収入は増加している。しかし光熱費等の高騰や車両故障に対する支出が増加しており、収入を上回る結果となっている。

外出レクや地域交流を活発的に行うことができた点は大変良かった。初めての試みとなったキッズ向けの制作体験会は予想以上の方に参加していただき、みなみを知ってもらう機会や地域との交流、利用者様の力を発揮し、自信に繋げる機会ともなった。

月1回の麻雀ボランティアは社協、みらいの協力のもと実施しているが、交流機会の場となりボランティア参加人数も徐々に増えている。今後も参加者の幅やボランティア活動の幅を広げるなど、地域との関わりを積極的に行っていく。

下半期は、引き続き利用者様に楽しんで、満足して頂けるよう質の高いサービスを提供していくとともに、新規獲得や利用増回調整を積極的に行い、多職種連携を図りチーム力を向上させ選ばれる施設となるよう努める。

【最終評価】

下半期のベスト稼働率は75%であり、年間の平均利用は28名、70%となった。冬期間は、ご本人やご家族の感染症による欠席や天候不良による欠席が見られ、計画値に届かなかった。

キャンセルがあった際は、積極的に他のお客様にお声がけし、職員全員が稼働率が低下しないよう意識を持ち、働きかけを行った。また、新規相談があった際は、お断りすることなく積極的に受け入れを行い、収入増とはなっているが、計画値には届かず支出が上回る結果となってしまった。

お客様に楽しんで頂けることと、安定した利用実績を維持するための工夫として、外出レクや買い物レク、行事食や催し物など魅力的な行事を企画し、利用増回となるよう働きかけを行った。レクリエーションの幅が広がったことや外出し社会との関り機会が増えたことは、お客様の満足度と利用増回にも繋がっている。

地域との関わりやボランティアに関しても、今年度は積極的に関わりを持ち、地域社会資源の一つとして多くの地域の方にみなみを知ってもらい、お客様との交流を持つ機会を作ることができたことは大きな一歩と感じている。次年度以降も、地域資源の一つとして根付くような働きかけを継続していく。

次年度はより一層、新規開拓に向け営業活動を行い安定した利用実績を残すこと、サービスの質、お客様の満足度高められるよう、サービス内容の工夫を実施、職員にとっても働きやすい職場環境となるよう努めていく。

様式1

2023年度 児童発達支援・放課後等デイサービス 事業総括

主管　障がい地域支援課通所支援係

事業方針

より良い支援を行う為、まずはスタッフ自身での基本的な健康管理（感染対策・腰痛予防・ストレスの軽減、耐性）を行っていく。風通しの良い環境を意識的に作り、スタッフ間での情報共有機会を怠らず、互いに協調し合い、効率化の図れる部分を検討しながら、スタッフ全員のスキルアップを目指したい。

法人の基本理念に沿い「安心して通って頂く」「ご家族に寄り添う」「不安を与えない」の3点を変わらい信念とし、子ども達とご家族のニーズを敏感に感じ取って行く。重度の障害のある子ども達が安心して身を委ねられる場所、ご家族にとってレスパイトの場であり、心の拠り所となるように努力していく。

医療的ケア児対応の事業所が少ない環境である事から市内に限らず、近郊在住者からの期待も多い中、「より安全・安心な環境で医ケアを受けながら活動や交流出来る場」を作るため、日頃から関係機関（医療、学校等）との連携や情報交換を密に行い、情報共有を図りながら緊急時（重篤な発作等）等に迅速な対応を行える様にしていく。医療的ケア児やご家族が生き生きと生活する姿を"みなみ"という事業所を通して地域により認知して頂くように啓発的活動も行っていきたい。

重点項目

1）**子ども達、ご家族のニーズを敏感に感じ取る**
- 安心・安全に過ごせる環境を作り、レスパイトケアの役割を果たす。
- 子ども達やご家族に寄り添いながら在宅生活の安定を図る。
- ニーズの高い日中一時支援サービス（入浴）の強化を図る。

2）**より安心・安全な医療的ケアの実施**
- 体調の把握に努め、緊急時の迅速な対応や家族連絡体制等、安心できる環境の維持を図る。
- 安全な医療的ケアが提供できるよう、他機関との密な連携を図って行く。

3）**スタッフの健康管理・スキルアップを目指す**
- スタッフ間の情報共有を強化し効率よく働けるような環境作りを目指す。
- 未来を見据えた事業体制を検討し、継続的な事業の運営に努める。
- 健康管理を意識し感染対策を徹底しながら事業所内感染の無い様にする。

【上半期評価】

新型コロナウイルスの位置付けが5類に移行してからも子ども達が間接的にお休みせざるを得ない状態が続いておりました。それに加え今年の異常気象で体調不良でお休みする子ども達が多かった事が稼働率アップできなかった大きな要因になりました。又、管理者が至らなかった為スタッフの健康管理が出来ていなく体調を壊したり、ケガをするスタッフで長期休みが生じ業務をスムーズに回すことができずキャンセル待ちの方にお声がけできなかった事も収益ダウンの結果です。

上記のような状態の中、事故発生も数件起きてしまい「安心・安全な支援」を再確認しながら同じことが発生しないように努力していきます。

スタッフの努力でご家族との関係性は継続的に良好で、家族ニーズのイレギュラーの利用と時間の変更にできる範囲で対応ている事が喜ばれております。地域サービス（日中一時）未契約の市との契約もやっと本格的に動きだし準備を進めていきたいと思います。

【最終評価】

一年間通して、子ども達の免疫力低下で体調不良、間接的なお休みが続きました。積極的にキャンセル待ちの方にお声がけするも既にサービス利用が決まっているため利用に至らず空きを埋めることができませんでした。又、スタッフの入退職が続き落ち着いた事業体制になるまでに時間を要し新規のお客様を受け入れられなかった事も稼働率減となった要因となりました。

子ども達が楽しみにしている外出行事の機会を増やすことができたのでこれからも積極的に行っていきたいです。ご家族とみなみがアプローチしてきた地域サービス（入浴）が開始になった事はとても大きな成果でした。

来年度は、送迎範囲外のお客様の利用が増えてきている事を鑑みて送迎方法等を検討していき新規獲得にもつなげていきたいです。キャンセル等を見越した1日利用をどのように維持していくか日々検討し収益ダウンにならないよう努力していきます。みなみの役割であるレスパイトでお受入れする事はご家族にも認知して頂いてきているので今後もその役割を担っていきたいです。

様式1

2023年度 障がい者生活支援センターみらい 事業総括

主管　障がい者生活支援センターみらい

事業方針

昨年もコロナ感染症が続く中、オンラインを活用する事で期待以上の効果が得られた。成果の得られた取り組みの連続性を意識し、2023年度も法人理念に基づき、利用者本位の立場で地域に暮らす障がい児・者への相談支援にチーム一体となって取り組んで行く。

毎月に行う職員ミーティングの際には事業計画の遂行状態の検証を行いながら業務に取り組み、業務の効率化を図る上でのチーム分け（計画相談や障がい児相談中心のAチーム、委託相談・障がい者（成人）中心のBチーム）体制は継続して行く。

相談支援（一般相談・計画相談）についてはこれまで同様サービス等利用計画書作成に関わる管理を徹底し、サービス更新・モニタリングの確実な遂行を心がけて行く。又、昨年度課題となった件数等バランスの見直しや相談員の配置増の検討を含め、具体的な取り組みをして行く。最近の相談傾向として、関わりを求める方の増加、精神的に不安定な方が多い、家庭環境も困難な状況にある方が多く家族全体への支援が必要となっている、必要とされる支援が多様なため、関係機関も多岐に渡っている状況が見られている。利用者との関わりにおいては、効率を考える事は出来ず、効率化を図れる部分を見極めつつ、相談員個々が疲弊しない様、担当する件数や業務のバランス、サポート体制を探っていきたい。

昨年度は「アクションプラン」に掲げた1年目の「種まき」を実行出来た為、今年度は「育てる」期間として、次年度の「収穫」期間に向け、昨年開催した絵画展「アートは自由だ！展」をモデルに地域全体で繋がり合う中での新たな機会の創造を目指す。地域の中で一人一人が自己を表現できる場や機会のサポートに力を入れていく。

重点項目

1）職員個々やチームでの相談支援力の向上を図る（お客様の役に立てるように・信頼は接し方から）
- 職員間・他機関・地域住民との連携する力の向上を目指す。
- 研修等により知識や理解を深め、利用者本位を基本とした質の高いサービス等利用計画書を作成する。
- 相談者への丁寧かつ柔軟な対応を心がけ、長期化する課題に対して継続的な関わりを行う。

2）チームみらいの充実を図る（力の出るほうれんそう・信頼は接し方から）
- 職員一人ひとりが抱え込み、孤立する事のない様、情報共有やケース対応の体制を作る。
- 事務作業の効率化に向けた環境整備を更に進め、相談支援（本来業務）の時間確保に努める。
- 災害時や感染症に強い予防を含む対策と相談体制を検討し、事業の継続を目指す。

3）『あなたとコネクト事業』の充実を目指す（お役様に喜んでもらえる様に・お客様の役に立てる様に）
- インスタグラム等による事業活動の周知に努め、気軽に相談できる、つながりやすい情報発信を工夫する。
- こころの交流会の開催と共に、趣味や嗜好、年齢等に合わせた参加者間の活動サポートを目指す。

4）『ちいきとコネクト事業』を拡げる（地域にもとめられる資源として・地域の資源の活動とつながり）
- 活用できる社会資源の発見・連携・開発しながら連携出来る体制を目指す。
- 地域にいる人たちが自分を表現できる企画交流の場の創造する。

【上半期評価】

相談支援において職員一人ひとりが抱え込まないためにも他機関と連携を進めたいが利用者・家族の同意が難しく、突破口が見つからない場合がある。つながりを作っても、利用者自身で関係機関を狭めて行くこともあり連携が難しく担当職員の負担が増すケースが多くなっている。

相談者と地域をつなぐ役割を意識し、事業計画に基づき活動を実践した。上半期は順調に進行中。後半の企画（「アートは自由だ」展）へ向けて推進する。

【最終評価】

今年度も前例のない相談が多く、新たな経験を蓄積できた。一方で休日を問わずに相談対応する場面も増え、心身共に大変負荷のかかる事が多かった。そのような中、互いに他の相談員の状況の把握に努めてフォローし合い、出来る部分を代行したり、ケース変更等行いながら取り組んだ。

また地域の活動は社会資源の活用と共に新たな資源の創出に繋がっている。次年度も、地域に住む一人一人が自分らしくいられる支援を続けていく。

様式２

2023年度 防災対策委員会 事業総括（障がい者施設）

主管 法人本部

目的（ねらい）	1. 現行の消防法に沿った内容で整備されている施設にあっても防火対策は重要な課題である。また、北海道では近年台風の被害や雪害、震災が発生し、ブラックアウトによる停電を経験し火事のみならず地震や台風等の自然災害対策にも重点を置く必要がある。 2. 年2回の防火総合訓練を機に自営防衛組織や事故の役割、任務の理解と防火・防災に対する知識の修得等、自主防衛組織としての防火管理体制の確立を目指す。また、地域住民(町内会等)との参加による相互応援訓練等も行い協力連携を進めていく。 3. 北広島市の福祉避難所としての役割を担えるように、施設のハード面の整備や備品や非常用食料品の整備と管理に取り組む。 4. 新型コロナウイルスを含め、感染症対策は、非常時もしっかりとした対応が必要となる。普段より感染予防の対策を行い、施設がクラスターとならないように対策をとる。
担当職員	山本 拓二　長内 隆二郎　菊池 士　能藤 一夫 柏 滋　小山 俊之

計画 項目	事業内容	実績 評価	実績 評価内容
1	防火対策委員会の定例開催 （毎月第２ 水曜日）	3	合同開催できない月があった。みなみは定時開催している。
2	避難訓練、夜間想定訓練、夜間緊急訓練（６月 １１月）	3	訓練内容の不備が散見されたため要綱を見直す。
3	防災機器の取り扱い理解	3	周知の職員数を増やしたいと考えている。
4	防火総合訓練の立案と消防署への届け出	4	滞りなくできている。
5	防火対象物定期点検実施と消防署への届け出	4	滞りなくできている。
6	非常用食料品・物品の確認、備蓄調整	3	みなみの備蓄は市では用意できない。
7	非常時の職員駆けつけや非常時職員通報等の検討	3	引き続き検討中
8	停電時等の対応の検討	3	引き続き検討中
9	非常用備品の管理とメンテナンス	4	行っているが、故障している物品あり。
10	非常時の備蓄燃料の確保	4	出来ている。
11	非常時の感染対策	3	引き続き検討中
12	非常時の地域住民との協力体制の確立	3	今後町内会と協議を行う。

備考：
非常時の感染対策については、外部受け入れの際のスペースの確保、感染予防備品の整備等、施設改修計画時の提案等も引き続き検討していきたい。
町内会との連絡・応援体制の構築。今後総会で検討することとなる。
緊急時自動通報が誤報だった場合の職員周知方法の登録を進める。

評価基準：
5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた）　4. できている（期待した成果が得られた）
3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった）　2. できていない（見直しが必要）
1. 全くできていない

様式２

2023年度 快適送迎検討委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目：
1. お客様に安心して乗車して頂ける送迎車輌の運行及び車輌の管理を行う。
2. 職員に対し安全運転への啓発活動を行う。
3. 基本感染症対策として、施設内にウイルスを持ち込まない為に、運転業務に係る職員の健康管理や、送迎車輌の消毒や換気、乗車前の利用者様の健康管理を行う。
4. 酒気帯び検査を実施し、事故の無いよう運転業務の管理を行う。

計画 月	事業内容	実績 評価	実績 評価内容
4	乗車前酒気帯び検査の実施	4	各事業所で実施し、酒気帯びの報告はない
5	・車輌算定評価実施	4	定期的に実施し、評価出来ている
6	・法人合同委員会の開催	2	コロナの影響もあり、開催を９月に延期
7	・交通安全啓発活動	4	ポスター掲示とオンデマンド研修の実施
8			
9			
１０	・車輌算定評価実施	4	法人車輌の更新計画を進めることが出来た
１１	・冬期交通安全啓発活動	3	WEB 研修は実施出来たがアンケートまでは至らなかった
１２			
1			
2			
3	・法人合同委員会の開催		

備考：
お客様を安心・安全に送迎する観点から、今年度は大きな事故なく業務遂行することが出来ました。交通安全の啓発活動や研修については、定期的に実施しましたが、WEB 研修のアンケートまで実施することは出来ませんでした。
また、法人車輌の老朽化が進み、車輌の入替えが急務とされる中、総務課と共有しながら車輌更新計画を立てることが出来ています。定期的な車輌評価を実施し、管理することでムダの無い車輌更新計画を遂行して行きたいです。
今後は送迎業務に関わりの無い職員に対しても交通安全について興味・関心を持って貰えるよう啓発活動に取り組んで行きたいです。

評価基準：
5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた）　4. できている（期待した成果が得られた）
3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった）　2. できていない（見直しが必要）
1. 全くできていない

様式２

2023年度 カイゴみらい委員会 事業総括

主管　法人本部

重点項目

○社会福祉・介護福祉の啓発活動及び人材確保への取り組み

○魅力のあるホームページへの取り組み

計画

項目	事業内容	実績 評価	実績 評価内容
1	委員会の開催　毎月第２水曜日（毎月第３金曜）	5	・毎月開催。事前に討議内容メール送付し各委員の意見を吸い上げている。
2	就職相談会・セミナーへの参加・協力	4	・4/25 星槎道都インターンシップ説明会 ・7/14　就職氷河期世代のための就職面接会 ・7/23 人材センター説明会 8/7 三幸学園就職説明会 ・11/4　9法人合同セミナー開催予定。打ち合わせ中 ＊直接雇用に繋がった職員(看護師)１名 ・3/3 福祉の仕事就職フェア
3	学生・中途採用者へのアプローチ（パンフレット・HP・ICT 化等）	3	・説明会やセミナー等に合わせてパンフレットや動画等を更新。 ・三幸学園訪問し学生へアピールできたことは良かったが、他の学生や中途採用者へのアプローチが弱かった。
4	高齢との情報共有・合同委員会の開催	3	・高齢施設委員会とは、説明会等協力する際には近状報告をしていたが、合同委員会への開催まで至っていない。
5	ＨＰの求人ページ作成・ブログの更新	4	・ブログはひと月 1~2 回アップ、みなみはSNS1~2回/週以上アップ ・個人情報管理規定が完成したためSNS開設決定。今後タブレット購入予定
6	「辞めない職場作り」「働きやすい職場作り」の提案	4	・アンケート実施。全体の集計結果を職員へ周知。

備考

＊説明会や相談会などでＰＣが使えない場所もある為、タブレットを導入し使用できるようにしたい。

評価基準：
5.　良くできている（期待した以上の成果が得られた）　4.　できている（期待した成果が得られた）
3.　十分ではない（期待した成果が得られなかった）　2.　できていない（見直しが必要）
1.　全くできていない

様式２

2023 年度　食事検討委員会　事業総括

主管　法人本部

重点項目

「食べることは生きること」を念頭におき、サービスを利用する人の食事のあり方等、多職種連携の下で口から食べる事のあり方を検討する事を目的とする。

1．多職種連携のもと“食”に関するニーズを再発掘し、それらの中から利用者本位のサービスにつながるよう課題の対応策を協議し改善を図る
2．食に関する情報提供や啓発を行う
3．感染症や災害等の不測の事態下でも安定した食事提供ができるよう体制をととのえる

担当職員　木戸和美　濱本さなえ　水留直樹　松岡真友　宇佐美菜奈　西田健徳　五十嵐さゆり

計画

項目	事業内容	実績 評価	実績 評価内容
1	ニーズ再発掘に関わる事項全般の協議	4	アンケート結果に基づいたニーズの実現に向け、課題整理を行い改善へとつなげている。
2	「たべもの記念日」の実施による利用者への啓発	4	毎月定期提供できている。
3	食や嚥下に関する職員向けの情報交換	4	情報提供を行い、資料作成などを行う。次年度、具体的な対応について検討できるよう、下準備を行っている。
4	不測の事態下でも安定した食事提供を行うための整備	4	非常食を使用した実地訓練を実施。今年度の課題を整理し次年度に向ける。
5	食事環境に関する協議	3	現実的な課題解決に向け協議するには至っていないが課題を共有するための発信は行うことができている。
6	食事摂取基準の周知	4	実施した。
7	日々の給食に関する意見の収集及び改善点に対する対策	4	収集した情報を日々の業務に反映させる事ができている。

備考

評価基準：
5.　良くできている（期待した以上の成果が得られた）　4.　できている（期待した成果が得られた）
3.　十分ではない（期待した成果が得られなかった）　2.　できていない（見直しが必要）
1.　全くできていない

様式2

2023年度　研修委員会　事業総括

主管　　法人本部

重点項目：本委員会は倫理綱領を遵守し、基本理念を具現化するために職員の資質向上と専門職としての知識向上およびチームケアの結束によるサービスの質向上を重点に取り組んでいきたい。

計画

項目	事業内容	実績 評価	実績 評価内容
1	・定期委員会（毎月第4水曜日 16:30〜） →感染予防と業務効率化のため各拠点（リハセンターとみなみ）でのオンラインリモート会議	5	概ね開催できておりオンライン環境も不具合なく行えていた。
2	・資格取得にむけた情報提供（5月） →社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員（申請日や試験日、受験資格要件等）	4	国家資格の情報提供はおこなているため、今後制度やスキルアップにつながる資格取得に向けた情報提供も検討必要。
3	・施設職員研修会（8月〜9月） →虐待防止、身体拘束適正化関連の研修	4	虐待についての研修内容が続いていた為、それ以外の内容の研修を受けたいとの声が多く聞かれた。研修内容は振り返りなどで聞かれた内容など今後検討が必要。
4	・職員研修会（3月） ・次年度事業計画		3月28日実施予定。次年度の事業計画について。
5	・救急蘇生法研修（北海道ハイテクノロジー専門学校　救急救命士学科）	4	1回目85名、2回目62名、3回目47名と多くの職員の参加があった。使用方法など再度復習でき良い機会になったと思われる。
6	・誤嚥性肺炎予防のための口腔ケア研修	2	給食委員会へ相談しレジュメなど使用し行う予定であったが調整が上手く行えず実施できなかった。次年度どの様な形で行うか検討必要。
7	・障がい特性の理解を深める研修	2	障がい特性は事業所間でも違い集団での研修より事業所や課内など小集団の方が効果的ではないかとの話もあったが細部まで検討する事ができず実施出来なかった。
8	・サービス向上推進委員会との連携		

備考：

評価基準：5.　良くできている（期待した以上の成果が得られた）　4.　できている（期待した成果が得られた）
3.　十分ではない（期待した成果が得られなかった）　2.　できていない（見直しが必要）
1.　全くできていない

様式2

2023年度　広報委員会　事業総括

主管　法人本部

重点項目：日々変化する社会情勢や福祉制度そして施設の現況および利用者の方々の日頃の生活の様子等の情報紙・広報誌を作成・発行し、ご家族や関係機関に向けた情報発信から「選ばれる施設作り」の実現を目指す。

担当職員：西尾　恵史　清水　順子　榎又　早紀　伊藤　文子　永田　みずき　角田　光　島田　成美　佐久間　健一

計画

月	事業内容	実績 評価	実績 評価内容
4	委員会開催　役割分担、委員会推進内容についての検討と確認	4	委員会内で活動を周知。各役割分担を決める。
5	委員会開催　情報紙および広報誌作製	4	広報誌、情報紙の作成案も予定通りすすめられた。
6	委員会開催　進行状況の確認	3	家族向け情報紙作成が遅延し状況を整理。広報誌は順調に作成がすすむ。
7	委員会開催　情報紙および広報誌作製	3	広報誌原稿が遅れる部署あり。家族向け情報誌作成状況、初回送付分も遅延。最終確認のうえ調整。
8	委員会開催　進行状況の確認	4	広報誌完成。発行部数や送付先など整理。家族向け情報紙の最終確認を行う。
9	委員会開催　情報紙および広報誌作製	4	広報誌、発行に向け最終調整。家族向け情報紙作成状況を随時確認。
10	委員会開催　次号広報誌の構成など掲載内容確認、原稿締切日程の検討、次年度事業計画、予算要望書作成検討	4	広報誌作成ページ構成や原稿締切日を確認。介護みらい委員会の協力でパンフレット見直し調整。
11	委員会開催　情報紙および広報誌作製	3	家族向け情報紙編集の発行が遅延。
12	委員会開催　次号広報誌の進行状況	3	家族向け情報紙発行。広報誌の一部作成の遅延あり、確認。
1	委員会開催　情報紙および広報誌作製、次年度事業計画確認	3	家族向け情報紙の作成遅延。広報誌も各担当ページの作成遅れあり、進捗状況を確認。
2	委員会開催 広報誌『さくらの丘』発行、評価検討	3	施設内のコロナ感染対応等で計画通り発刊準備がすすまなかった。構成と送付先名簿の最終確認実施。
3	委員会開催　委員会事業内容の分析・評価	4	広報誌「さくらの丘」発行。 および家族向け情報紙、今年度作成分を発送。全体的な遅れがあったが、完成度は高かった。

備考：

評価基準：5.　良くできている（期待した以上の成果が得られた）　4.　できている（期待した成果が得られた）
3.　十分ではない（期待した成果が得られなかった）　2.　できていない（見直しが必要）
1.　全くできていない

【高齢者施設関係】
1. 運営管理
(1)職員研修状況
ア. 外部研修実施状況

2023年度

地区	月日	開催地	研修会名称	参加者名
道外			なし	
道内	4月25日 ～ 4月26日	札幌市	甲種防火管理新規講習	林 晃市
	6月6日 ～ 7月28日	オンライン	令和5年度北海道介護支援専門員 更新研修 eーラーニング3	奥山智直
	6月19日	札幌市	重層的支援・生活支援／体制整備事業における「つながり・気にかけ・支え合う」 地域づくり実践講座～地域共生社会の実現に向けて～	吉田忠司
	6月23日	札幌市	「病院・介護給食システムの未来」in 札幌	長谷川倫子
	6月30日 ～ 8月22日	オンライン	令和5年度北海道介護支援専門員 専門研修Ⅱ eーラーニング3	早川彩子
	7月6日	札幌市	令和5年度石狩管内老人福施設協議会～総会及び研修会～	神部健史 向山 篤 清水孝修 新沼右文 吉田忠司
	7月23日	札幌市	福祉職場説明会	前本睦実
	7月26日 7月27日	札幌市 オンデマンド	令和5年度全国老施協北海道ブロック研究大会	神部健史 大日向伸也 清水孝修 新沼右文 吉田忠司 吉永美香 畑中 悠 久保田朱香
	8月4日 8月5日	オンライン	令和5年度北海道介護支援専門員 更新研修 ZOOM研修3	奥山智直
	8月7日	札幌市	令和5年度北海道デイサービスセンター研究協議会	吉田匡貴 林 晃市
	8月25日	札幌市	令和5年度地域包括支援センター職員研修(初任者研修)	泉 正人 千葉ゆか
	8月29日 8月30日	オンライン	令和5年度北海道介護支援専門員 専門研修Ⅱ ZOOM研修3	早川彩子
	9月14日 ～ 11月7日	オンライン	令和5年度北海道介護支援専門員 専門研修Ⅱ eーラーニング3	松崎千絵
	9月22日	オンライン	就労的活動支援コーディネーターってなんだろう？ ～生活支援コーディネーターとの重なり～	小野崎ひとみ
	11月14日 11月15日	オンライン	令和5年度北海道介護支援専門員 専門研修Ⅱ ZOOM研修3	松崎千絵
	12月11日	札幌市	安全運転管理者・副安全運転管理者講習	大日向伸也 吉田匡貴 奥山智直 神原英明

地区	月日	開催地	研修会名称	参加者名
道内	1月17日	札幌市	令和5年度高齢者の権利擁護を考える集い ～高齢者の虐待防止に向けて～	神部健史
	2月8日	札幌市	感染症対応力向上研修	山﨑里恵
	2月27日	札幌市	感染症対応力向上研修	吉永美香
	3月3日	札幌市	令和5年度　福祉のしごと就職フェア	髙谷里奈
	3月8日	札幌市	令和5年度　札幌市・石狩管内老人福祉施設職員合同研修会	神部健史 新沼右文 吉田忠司 清水孝修 長谷川智彦 奥山智直
	3月14日	オンライン	令和5年度　北海道デイサービスセンター研修会	吉田匡貴

２．高齢者施設事業実施状況

居住系サービス利用者状況（特別養護老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅・グループホーム）

１．特別養護老人ホーム四恩園

１）施設サービス利用者状況

ア．在籍者人数

２０２４年3月３１日現在

項　　　目	男	女	合　　計
人　　　数	5	45	50

イ．年齢別

２０２４年3月３１日現在

区　分 年　齢	男	女	計
５０～５９歳	0	1	1
６０歳～６４歳	0	0	0
６５歳～６９歳	0	0	0
７０歳～７４歳	0	2	2
７５歳～７９歳	1	2	3
８０歳～８４歳	0	8	8
８５歳～８９歳	3	8	11
９０歳～９４歳	0	7	7
９５歳～９９歳	1	14	15
１００歳以上	0	3	3
計	5	45	50
平　均　年　齢	87.2	88.4	87.8

※最高１０３歳

ウ．利用経路

２０２４年3月３１日現在

居宅より	病院より	老人保健施設より	その他	計
7	4	0	1	12

＊在宅サービス利用しながら入所移行、病院からの入所も増加

エ．退所理由

２０２４年3月３１日現在

居宅へ	病院へ	老人保健施設へ	その他（看取り）	計
0	5	0	7（4）	12

＊長期入院退所、終末期四恩園での看取り対応希望増加

オ．在所期間

2024年3月31日現在

区分 年数	男	女	計
1年未満	3	8	11
2年未満	2	7	9
3年未満	0	7	7
4年未満	0	10	10
5年未満	0	7	7
5年以上	0	5	5
10年以上	0	1	1
計	5	45	50
平均	8ヵ月	4年8ヵ月	2年9ヵ月

*在所期間が短期化傾向継続

カ．保険者別

2024年3月31日現在

実施機関名	男	女	計
北広島市	5	40	45
札幌市北区	0	1	1
滝川市	0	1	1
大雪広域連合	0	1	1
赤平市	0	1	1
紋別市	0	1	1
計	5	45	50

キ．月別施設受診状況表（施設外受診）

2024年3月31日現在

	入所者				ショート		往診（ショート）			計（ショート）
	協力医療機関受診	他病院受診	入院	退院	受診	入院	輪厚三愛	やまと皮膚科	他	
4月	18	21	1	1	2	0	0	19 (1)	0	60 (3)
5月	22	16	0	1	1	0	0	14	0	53 (1)
6月	13	13	2	0	0	1	0	17	1	46 (2)
7月	20	12	1	2	2	0	0	12 (1)	0	45 (3)
8月	16	13	0	0	5	1	1	22	0	63 (2)
9月	26	19	1	1	2	0	0	10	0	57 (2)
10月	24	22	6	1	2	0	0	10	0	63 (3)
11月	19	18	3	4	11	0	0	16	0	60 (11)
12月	15	19	0	2	6	0	0	10(1)	0	46 (7)

1月	20	25	2	1	5	0	0	20	0	68(5)
2月	19	19	2	1	3	1	0	23 (1)	0	64 (5)
3月	10	27	3	2	5	1	0	22(1)	0	63(7)
計	220	234	23	16	44	4	1	195 (5)	1	690 (51)

※( )数字は、受診・往診者の数中のショートステイ利用者数状況

ク．特別養護老人ホーム四恩園身体状況

２０２４年3月31日現在

		障害自立度					認知症自立度					
		自立	J	A	B	C	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	M	なし
介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護2	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0
介護3	15	0	0	1	14	0	0	5	7	3	0	0
介護4	28	0	0	0	28	0	0	6	17	3	1	0
介護5	5	0	0	0	5	0	0	0	2	4	0	0
合計	50	0	0	2	48	0	0	12	27	10	1	0
%	100	0	0	4	96	0	0	24	54	20	2	0
合計	50	50名					50名					

<参考>

障害自立度	J	何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する	認知症自立度	Ⅰ	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している
	A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしでは外出しない		Ⅱ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多少みられても誰かが注意していれば自立できる
	B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ		Ⅲ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々みられ、介護を必要とする
	C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えに介助を要す		Ⅳ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁にみられ、常に介護を必要とする
				M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患がみられ、専門医療を必要とする

2) 施設サービス行事等実施状況

ア．行事実績一覧

特別養護老人ホーム四恩園（ｼｮｰﾄｽﾃｨ含む）

２０２３年度

月	日	曜日	行事名	参加人数				計
				利用者	職員	ボランティア	家族	
9	14	木	敬老会食事会	55	10	5	7	77
12	24	金	クリスマス食事会	56	10	1	1	65
1	1	月	新年交礼会	54	9	0	1	64
計				280	50	6	0	336

※誕生日のお祝いは個別に企画

3) ボランティア受入状況

ア．定期ボランティア

２０２３年度

月　　日	内　　容	団　体　名
月1回	華　道　ク　ラ　ブ	感染対策のため活動休止
月1回	書　道　ク　ラ　ブ	
月1回	音　楽　ク　ラ　ブ	
月1回	車椅子清掃、加湿器清掃、花壇整備	

イ．月別ボランティア内容

２０２３年度

月	内　　容	人　数	団　体　名　等
4	特になし	0	
5		0	
6		0	
7		0	
8		0	
9	敬老食事会	5	星槎道都大学生、グランパカルテット
10	特になし	0	
11		0	
12	クリスマス会	2	星槎道都大学生
1	新年交礼会	1	ご家族挨拶
2	バレンタインバンド演奏	7	ラディッシュバンド
3		0	
計		9	

4）家族ボランティア報告

２０２３年度

月	日	事　業	家族等参加者数
		花壇整備、加湿器清掃	感染対策のため活動休止

2. グループホーム四恩園

1)　サービス利用者状況　　2024年3月31日現在

ア. 在籍者人数調

項　　　目	男	女	合　　計
人　　　数	1	17	18

イ. 年齢別　　2024年3月31日現在

区分 / 年齢	男	女	計
６５歳～６９歳	0	0	0
７０歳～７４歳	0	0	0
７５歳～７９歳	0	2	2
８０歳～８４歳	0	1	1
８５歳～８９歳	0	4	4
９０歳～９４歳	1	4	5
９５歳～９９歳	0	4	4
１００歳以上	0	2	2
計	1	17	18
平　均　年　齢	91.0	85.7	90.7

※最高 100 歳

ウ. 利用経路　　2024年3月31日現在

居宅より	病院より	老人保健施設より	その他	計
1	0	1	0	2

エ. 退所理由　　2023年度

居宅へ	病院へ	特別養護老人ホームへ	その他(看取り)	計
0	1	0	1(看取り)	2

オ. 在所期間　　2023年度

区分 / 年数	男	女	計
１　年　未　満	0	2	2
２　年　未　満	0	6	6
３　年　未　満	1	2	3
４　年　未　満	0	3	3
５　年　未　満	0	1	1
５　年　以　上	0	2	2
１０　年　以　上	0	1	1
計	1	17	18
平　　　均	2年8ヵ月	2年8ヵ月	2年9ヵ月

カ)グループホーム四恩園身体状況

2024年3月31日現在

		障害自立度					認知症自立度					
		自立	J	A	B	C	I	II	III	IV	M	なし
介護1	4	0	1	3	0	0	1	2	1	0	0	0
介護2	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
介護3	5	0	2	3	0	0	0	1	4	0	0	0
介護4	6	0	0	2	4	0	0	1	5	0	0	0
介護5	2	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0
合計	18	0	4	9	5	0	1	6	11	0	0	0
%	100	0	22.2	50	27.8	0	5.6	33.3	61.1	0	0	0
合計	18	18名					18名					

2) 行事実施状況

2024年3月31日現在

月	日	曜日	行 事 名
4	22	土	レクリエーション会・家族の集い
5	2	火	お花見
6	16	金	長沼あいすの家
8	29	火	ともに夏祭り
9	18	月	敬老の祝い・家族の集い
10	13	金	紅葉見学
11	10	金	テイクアウト会食
12	19	火	餅つき大会
12	24	日	クリスマス会
12	31	土	年越し
1	1	日	新年の集い
2	3	土	節分
3	3	日	雛祭り

※誕生日のお祝いは個別にて

３．サービス付き高齢者向け住宅しおん

１）利用者状況

ア．在籍者人数　　２０２４年3月３１日現在

項　　目	男	女	合　　計
人　　数	7	26	33

イ．年齢別　　２０２４年3月３１日現在

区分／年齢	男	女	計
６５歳～６９歳	0	0	0
７０歳～７４歳	0	0	0
７５歳～７９歳	0	2	2
８０歳～８４歳	0	4	4
８５歳～８９歳	2	6	8
９０歳～９４歳	4	10	14
９５歳～９９歳	1	2	3
１００歳以上	0	2	2
計	7	26	33
平 均 年 齢	90.7	89.5	89.8

ウ．入居経路　　２０２４年3月３１日現在

居宅より	病院より	介護保険施設より	その他	計
5	0	1	1	7

※その他は介護付き有料老人ホームより転居されてきたケース

エ．退去理由　　２０２４年3月３１日現在

居宅へ	病院へ	介護保険施設へ	その他	計
0	4	1	2	7

※その他は逝去

オ．入居期間　　２０２４年3月３１日現在

区分／年数	男	女	計
1 年 未 満	1	6	7
2 年 未 満	2	3	5
3 年 未 満	1	3	4
4 年 未 満	0	4	4
5 年 未 満	0	3	3
5 年 以 上	3	7	10
10 年 以 上	0	0	0
計	7	26	33
平　　均	4年4ヵ月	4年0ヵ月	4年2ヵ月

カ．介護サービス利用状況

２０２４年3月３１日現在

なし	通所介護･リハ	訪問介護	訪問看護･リハ	複合型	その他	合計
4	12	18	10	6	0	50

※その他は訪問マッサージ、訪問入浴など　※重複あり

キ．サービス付き高齢者向け住宅しおん身体状況

２０２４年3月３１日現在

		障害自立度					認知症自立度					
		自立	J	A	B	C	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	M	なし
自立	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
支援1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
支援2	7	0	1	6	0	0	5	1	0	0	0	1
介護1	12	0	4	7	1	0	5	7	0	0	0	0
介護2	7	0	1	4	2	0	3	2	0	0	0	2
介護3	4	0	0	4	0	0	0	3	1	0	0	0
介護4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	33	0	8	21	4	0	14	13	1	1	0	4
%	100	0	24	64	12	0	42	40	3	3	0	12
合計	33	33名					33名					

2)行事実施状況

ア．行事実績一覧

２０２４年3月３１日現在

月	日	曜日	行　事　名	参　加　人　数				計
				お客様	職員	ボランティア	家族	
4	24	水	買い物外出	3	2	0	1	6
5	18	木	お花見	4	2	0	1	7
5	19	金	お花見	5	2	0	0	7
7	7	金	買い物外出	8	3	0	0	13
7	18	火	緑ヶ丘小花火鑑賞	18	2	0	0	20
8	29	火	ともに夏祭り	27	4	0	6	37
9	2	土	ふれてフェス外出	5	2	0	0	7
9	18	日	敬老祝賀会	29	8	8	24	69
11	1	水	紅葉ドライブ	6	3	0	1	10
11	8	水	紅葉ドライブ	3	2	0	0	5
12	19	火	ともにもちつき	20	4	0	4	28
12	24	日	クリスマス食事会	32	5	0	0	37
12	31	土	年越し夕食会	32	4	0	0	36
3	3	日	ひなまつり茶話会	20	4	0	0	24
計				212	47	8	37	304

３．高齢者施設月別利用者、稼働率状況

１）特養・短期利用者実績（施設サービス課　特養定員 50 名、短期入所 10 名）

項目	４月	５月	６月	７月	８月	９月	上半期合計(平均)
入所登録（月末入院者）	49 名（入院０名）	49 名（入院０名）	49 名（入院１名）	49 名（入院０名）	49 名（入院１名）	49 名（入院１名）	49 名（入院 0.5 名）
入所稼働率	97.2	98.1	99.7	96.0	98.3	96.9	97.7
入所・退所者数	入所０名・退所１名	入所１名・退所１名	入所１名・退所１名	入所１名・退所２名	入所１名・退所２名	入所１名・退所０名	入所５名・退所７名
月延べ入院者数（日数）	41 名	6 名	4 名	22 名	22 日	46 名	141 名
短期実人員・１日平均	188 名・6.3 名	191 名・6.2 名	178 名・5.9 名	193 名・6.2 名	176 名・5.7 名	170 名・5.7 名	1096 名・6.0 名
特養＋短期稼働率	91.4	92.0	93.0	90.4	91.4	90.2	(95.4)
待機者数（各１日付）	68 名	66 名	66 名	65 名	64 名	69 名	(66.3)
入所平均介護度	3.70	3.74	3.72	3.76	3.78	3.78	(3.58)
平均年齢	88.78	88.94	88.78	88.88	88.82	88.88	(88.1)
家族面会者総数	57 件（101 名）	66 件（127 名）	44 件（72 件）	51 件（78 件）	50 件（103 名）	48 件（80 名）	617 件（561 名）

項目	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	年度合計(平均)
入所登録（月末入院者）	49 名（入院６名）	46 名（入院２名）	49 名（入院０名）	50 名（入院１名）	49 名（入院１名）	48 名（入院１名）	48.5名(入院1.8名)
入所稼働率	90.8	87.7	96.5	96.8	94.9	98.0	94.56
入所・退所者数	入所０名・退所１名	入所０名・退所３名	入所３名・退所０名	入所１名・退所０名	入所１名・退所２名	入所１名・退所２名	入所６名・退所８名
月延べ入院者数（日数）	123 名	138 名	14 名	25 名	38 名	29 名	下半期 367 名 508 名
短期実人員・１日平均	144 名・4.6 名	228 名・7.6 名	203 名・6.5 名	223 名・7.2 名	207 名・7.5 名	233 名・7.5 名	2334 名・6.7 名
特養＋短期稼働率	83.4	85.7	91.2	92.6	88.9	94.2	(94.5)
待機者数（各１日付）	68 名	71 名	71 名	52 名	52 名	56 名	62.3 名
入所平均介護度	3.78	3.76	3.78	3.76	3.78	3.76	(3.74)
平均年齢	88.98	89.14	88.80	88.22	88.23	88.10	(88.51)
家族面会者総数	3 件（5 名）	57 件（105 名）	47 件（74 名）	54 件（81 名）	57 件（104 名）	61 件（103 名）	896 件（1033 名）

2024 年 10 月期感染対応にて稼働減、他月間は終末期看取り等にて退所後短期利用からの入所受入にて稼動回復

2）北広島デイサービスセンター四恩園　利用者実績(通所介護課　定員50名；月間延べ750名未満)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期合計（平均）
平均利用数	18.2名/日	17.7名/日	17.1名/日	17.3名/日	17.1名/日	15.7名/日	17.2名/日
月間延利用数	456名　60.8%	479名　63.9%	444名　59.2%	449名　59.9%	463名　61.7%	407名　54.3%	449.7名　60%
月間実利用数	63名	60名	58名	59名	60名	58名	59.7名
中重度者数	26	28	27	28	26	24	23.8
男女比	19：44	17：43	15：43	16：43	15：45	18：40	20：46
平均要介護度	2.1	2.3	2.2	2.2	2.2	2.1	2.2
新規利用者数	2名	3名	1名	3名	5名	3名	2.8名

・新型コロナ５類移行後も、お客様、職員含め単発での感染事例は一定数あり、キャンセル増となった。職員も体調不良による欠勤で予定よりも少ない人数での営業や勤務調整を行う機会が多く、外出行事等中止した予定があった。

項目	１０月	１１月	１２月	1月	2月	3月	年度合計（平均）
平均利用数	17.6名/日	19.2名/日	18.3名/日	18.5名/日	18.8名/日	20.5名/日	18名/日
月間延利用数	458名　61.1%	500名　66.7%	477名　63.6%	499名　66.5%	469名　62.5%	532名　70.9%	469名　62.6%
月間実利用数	62名	68名	73名	71名	71名	74名	65名
中重度者数	26	29	29	27	27	26	24
男女数	18：44	22：46	23：50	22：49	22：49	22：52	21：47
平均要介護度	2.1	2.1	2.1	2.0	2.1	2.0	2.13
新規利用者数	5名	7名	4名	7名	1名	4名	3.8名

・今年度は新規依頼が多かったが、終了者も多く、実人数は増加したものの延人数を増やすことができなかった。同じことをしていては、増加に転じないこと。新しいことへの挑戦が必要と考えている。もちまつりについて、他事業所のお客様にも参加いただけるように企画を進め、その中で他部署の職員との連携を経験することができた。

・北広島デイサービスセンター四恩園の新しいチラシが完成し、２月以降の周知活動に活用した。

・コロナ禍にて中止してきた外出行事を再開することができた。この経験を活かして次年度は外出の機会を増やしていきたいと考えている

3）デイホームさとみ　利用実績（通所介護課　定員10名）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期合計（平均）
平均利用数	3.4名/日	3.6名/日	4.0名/日	4.8名/日	4.5名/日	5.4名/日	(4.28名)
月間延利用数	86名　27.0%	96名　31.0%	105名　35.0%	125名　40.0%	131名　42.0%	141名　48.0%	(114名)
月間実利用数	13名	11名	12名	15名	17名	17名	(14.1名)
平均要介護度	1.8	1.6	1.9	2.0	1.9	2.1	(1.88)

上半期新規9名、終了3名。相談、体験も増加。猛暑による体調不良やコロナウイルス感染症にてお休みされたお客様も見られたが、増回のお客様で利用者数増加傾向。

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計（平均）
平均利用数	6.2名/日	5.8名/日	5.4名/日	6.0名/日	7.2名/日	6.8名/日	5.2名/日
月間延利用数	163名　53.0%	152名　53.0%	142名　46.0%	151名　49.0%	181名　62.0%	177名　57.0%	137.5名　45.0%
月間実利用数	17名	17名	17名	19名	20名	22名	16.4名
平均要介護度	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.1	2.00

下半期新規6名。11月、12月、1月、BPSDの症状で休みがちや入院のお客様で利用者数は伸びなかった。1月中旬より退院、新規のお客様により増加、実利用者数22名（登録数23名）となった。

4）デイホームかたる　利用者実績(通所介護課　定員 33 名；月間延べ 750 名未満)

項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期合計（平均）
平均利用数	24.6 名/日	25.6 名/日	24.7 名/日	23.8/日	23.7/日	24.7 名/日	(24.4 名/日)
月間延利用数	604 名　80.5%	692 名　92.2%	643 名　85.7%	619 名　82.5%	632 名　84.2%	618 名　82.4%	(635 名　84.6%)
月間実利用数	101 名	104 名	102 名	102 名	101 名	102 名	(102 名)
中重度者数	12	13	13	12	11	9	(11.6)
男女比	23：77	22：78	23：77	23：77	20：80	21：79	(22：78)
平均要介護度	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	(1.16)
月間延利用(年度平均)	604 名　80.5%	648 名　86.4%	646 名　86.1%	640 名　85.3%	638 名　85.0%	634 名　84.6%	(634 名 84.6%)

上半期評価：4 月頃に新型コロナウイルスの流行等から欠席者数が増加したものの、その後利用再開や新規利用希望者の増加により少しづつ稼働率が上昇した。

項目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年度合計（平均）
平均利用数	23.5 名/日	24.0 名/日	24.0 名/日	22.8 名/日	24.2 名/日	24.4 名/日	(24.1 名/日)
月間延利用数	637 名　84.9%	624 名　83.2%	624 名　83.2%	618 名　82.4%	606 名　80.8%	635 名　84.6%	(629 名　83.8%)
月間実利用数	98 名	97 名	101 名	99 名	97 名	101 名	(100 名)
中重度者数	8	9	10	11	10	12	(10.8)
男女比	21：79	22：78	25：75	25：75	26：74	25：75	(23：77)
平均要介護度	1.1	1.1	1.2	1.2	1.1	1.2	(1.15)
月間延利用(年度平均)	635 名　84.6%	633 名　84.4%	633 名　84.4%	631 名　84.1%	629 名　83.8%	629 名　83.8%	629 名　83.8%

年間評価：　今年度はコロナ渦が収束した事もあり、延べ利用者数が約 500 名程度増加している。人事異動等より OT 不在となり、リハビリ面では新規利用者の対応など実施出来ない面もあったが、工夫しながら取り組みを続けている。地域の行事も再開が相次ぎ、積極的に参加を実施。ボランティア等の受け入れも活発化している。他部署の職員不足に伴う職員派遣回数が増大しており、通所部門全体での職員確保が課題。

5）北広島グループホーム四恩園　利用実績　（グループホーム課　定員18名）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期合計(平均)
グループホーム（定員18名）	100%	100%	100%	100%	99.1%	100%	99.9%
月延べ利用者数（入院日数）	540（0）	558（0）	532（0）	558（0）	553（0）	540（0）	546.8名（0）
平均要介護度	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
平均年齢	90.4	90.4	90.6	90.6	90.6	90.5	90.5歳
待機者数（各月1日付）	20	20	22	22	20	21	20.8名
入所者数（退居者数）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	1（1）	0（0）	合計者数1名（1名）
面会件数（人数）							面会者合計
西町	28件（42名）	28件（48名）	11件（16名）	17件（25名）	28件（47名）	17件（19名）	西町129件（197名）
東町	18件（24名）	32件（41名）	13件（21名）	15件（25名）	19件（31名）	13件（16名）	東町110件（158名）

上半期は入院0件、退居者1名、新規入居1名で経過している。4月から7月頃まで新規採用職員の指導や感染対応のため人件費が増加していた。

項目	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	年度合計(平均)
グループホーム（定員18名）	100%	100%	100%	100%	100%	99.2%	99.9%
月延べ利用者数（入院日数）	558（0）	540（0）	558（0）	558（0）	522（0）	554（0）	6,579名（0日）
平均要介護度	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
平均年齢	90.6	90.7	90.7	90.8	90.8	90.6	90.6歳
待機者数（各月1日付）	22	22	23	23	24	25	25名
入所者数（退所者数）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	1（1）	年度合計2名（2名）
面会件数（人数）							面会者合計
西町	20件（32名）	18件（25名）	25件（40名）	21件（49名）	24件（32名）	22件（46名）	西町259件（421名）
東町	32件（54名）	27件（49名）	20件（37名）	25件（50名）	21件（35名）	23件（32名）	東町258件（415名）

下半期は感染症の発症あるも入院や感染拡大はなく経過していた。今年は4年ぶりに合同のクリスマス会や餅つき大会をご家族と一緒に実施できていた。入退居も年間通して2居室のみ。新人職員の成長もあり業務内容の調整もおこなうことができた。

6）北広島ホームヘルプサービスステーション四恩園　（訪問介護課）

	4月件数（実人数）	5月件数（実人数）	6月件数（実人数）	7月件数（実人数）	8月件数（実人数）	9月件数（実人数）	上半期合計（平均）
介護保険	359件（48名）	392件（47名）	377件（45名）	362件（46名）	369件（44名）	326件（41名）	309件（45.1名）
介護予防	129件（32名）	157件（32名）	163件（32名）	130件（31名）	146件（30名）	136件（31名）	146件（31.3名）
障害福祉	233件（21名）	253件（23名）	249件（24名）	238件（24名）	244件（26名）	249件（21名）	244件（23.1名）
複数介助	32件	39件	36件	36件	38件	35件	（36件）
合計	753件	841件	825件	766件	797件	746件	（788件）
定期巡回（訪問回数）	552回（9人）	477回（9人）	388回（9人）	542回（10人）	494回（9人）	530回（11人）	（497回　9.5名）
ゆたかさぷらす	13件	14件	8件	8件	12件	12件	11件

上半期　介護保険新規9名、自立支援新規4名　・終了介護保険18名、自立支援2名

	10月件数（実人数）	11月件数（実人数）	12月件数（実人数）	1月件数（実人数）	2月件数（実人数）	3月件数（実人数）	年度合計（平均）
介護保険	333件（41名）	343件（42名）	342件（45名）	327件（42名）	317件（42名）	329件（43名）	332件（42.5名）
介護予防	128件（30名）	127件（27名）	133件（26名）	108件（27名）	96件（25名）	112件（26名）	117件（26.8名）
障害福祉	249件（21名）	235件（21名）	238件（24名）	242件（22名）	223件（21名）	239件（21名）	238件（21.6名）
複数介助	40件	34件	36件	33件	32件	33件	（35件）
合計	750件	739件	749件	710件	668件	713件	722件
定期巡回（訪問回数）	505回（8人）	589回（12人）	565回（12人）	559回（13人）	592回（13人）	676回（14人）	581回（12人）
ゆたかさぷらす	8件	5件	10件	5件	10件	9件	（8件）

下半期　介護保険新規17名、自立支援3名　・終了介護保険17名、自立支援2名

7）北広島訪問看護ステーション四恩園　（訪問看護課）

上半期：介護保険新規 22 名、医療保険新規 7 名・終了介護保険 9 名、医療保険 5 名（看取り 1 名）

	4 月件数（実人数）	5 月件数（実人数）	6 月件数（実人数）	7 月件数（実人数）	8 月件数（実人数）	9 月件数（実人数）	上半期合計（平均）
介護保険（利用数）	107 件（26 名）	118 件（23 名）	123 件（29 名）	133 件（30 名）	199 件（41 名）	190 件（39 名）	870 件（31.3 名）
介護予防（利用数）	28 件（10 名）	27 件（10 名）	25 件（8 名）	27 件（9 名）	33 件（9 名）	24 件（8 名）	164 件（9 名）
合計	135 件	145 件	148 件	160 件	232 件	214 件	1,034 件
医療保険（利用数）	62 件（10 名）	47 件（8 名）	41 件（7 名）	42 件（8 名）	53 件（11 名）	47 件（12 名）	292 件（9.3 名）
総合計	197 件（46 名）	199 件（41 名）	189 件（44 名）	202 件（47 名）	285 件（61 名）	261 件（59 名）	1,333 件（222 件）
うち定期巡回（利用数）	11 件（4 名）	16 件（4 名）	9 件（4 名）	17 件（4 名）	14 件（4 名）	22 件（6 名）	89 件（4.3 名）

	10 月件数（実人数）	11 月件数（実人数）	12 月件数（実人数）	1 月件数（実人数）	2 月件数（実人数）	3 月件数（実人数）	年度合計（平均）
介護保険（利用数）	189 件（37 名）	194 件（39 名）	191 件（39 名）	173 件（39 名）	186 件（38 名）	181 件（32 名）	1,114 件（37.3 名）
介護予防（利用数）	26 件（8 名）	24 件（9 名）	35 件（11 名）	30 件（11 名）	37 件（11 名）	32 件（8 名）	184 件（9.6 名）
合計	215 件	218 件	226 件	203 件	223 件	213 件	1,298 件
医療保険（利用数）	62 件（12 名）	49 件（12 名）	55 件（11 名）	54 件（11 名）	51 件（11 名）	79 件（13 名）	350 件　（11.6 名）
総合計	277 件（57 名）	267 件（60 名）	281 件（61 名）	257 件（61 名）	274 件（60 名）	292 件（59 名）	1,648 （59.6 件）
うち定期巡回（利用数）	23 件（5 名）	27 件（8 名）	33 件（8 名）	34 件（9 名）	37 件（9 名）	25 件（8 名）	179 件（6.3 名）

下半期：介護保険新規 12 名、医療保険新規 5 名　・終了介護保険 12 件、医療保険（看取り）2 件

8）北広島複合型サービス四恩園　実績報告　（複合型サービス課　登録定員 29 名）

項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期合計（平均）
実績数	23 名	22 名	21 名	20 名	22 名	20 名	21.3 名
新規登録	1 名	1 名	1 名	0 名	2 名	1 名	6 名
登録終了	1 名	1 名	2 名	0 名	1 名	0 名	5 名
平均介護度	3.4	3.4	3.6	3.4	3.2	3.3	(3.3)
延べ利用者数	844 名	878 名	813 名	786 名	912 名	806 名	5,039 名（839.8 名）
平均利用者数	17.6 名	17.3 名	16.3 名	16.1 名	17.3 名	15.7 名	16.7 名
平均年齢	86.9 歳	85.3 歳	84.2 歳	84.3 歳	84.1 歳	84.5 歳	(84.8 歳)
面会数	15 名	17 名	9 名	7 名	11 名	8 名	67 名

・コロナ 5 類に移行した。7 月には第 3 住区、第 4 住区のお祭りに、9/02 ふれてフェスティバルに参加。参加されたお客様も大変喜ばれていた。8/29 にはともに夏祭りを開催。また今年度からタクティールケアのボランティアに来園いただいている。

項目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年度合計（平均）
実績数	20 名	20 名	21 名	21 名	22 名	22 名	21.1 名
新規登録	0 名	0 名	0 名	1 名	1 名	1 名	9 名
登録終了	1 名	1 名	0 名	0 名	0 名	1 名	8 名
平均介護度	3.3	3.3	3.5	3.5	3.5	3.6	(3.4)
延べ利用者数	915 名	892 名	926 名	872 名	705 名	969 名	10,318（859.8 名）
平均利用者数	16.7 名	16.6 名	16.8 名	15.3 名	15.1 名	18.0 名	16.5 名
平均年齢	84.6 歳	84.3 歳	85.2 歳	85.3 歳	85.8 歳	85.5 歳	(85.0 歳)
面会数	6 名	1 名	6 名	13 名	3 名	10 名	106 名

・1/25(木)、お客様にコロナ陽性者あり。全職員抗原検査し 1 名が陽性。1/27(土)お客様 2 名コロナ陽性。デイサービス中止し事業所内コロナ対応開始。1/29(月)職員 2 名コロナ陽性。1/30(火)お客様 1 名コロナ陽性。1/31(水)、2/1(木)と合わせて 4 件、ご自宅での入浴支援実施。2/2(金)よりともに内活動室 1・2 を利用し、デイサービス再開。2/5(月)お客様 2 名、体調悪化にて市内医療機関入院。2/10(土)より通常営業再開。

9）サービス付き高齢者向け住宅しおん（サービス付き高齢者住宅課　31 室）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期合計(平均)
入居登録（31 室）	34名	33名	33名	33名	33名	33名	199名(33.2名)
入院者他不在者	2名(37日)	2名(38日)	4名(46日)	6名(110日)	4名(53日)	4名(119日)	22名 403日
退去者/入居者	1/1	1/0	0/1	1/0	0/1	0/0	3名/3名
稼働率	96.0%	96.3%	95.4%	88.9%	94.8%	87.9%	(93.2%)
平均年齢	89.6歳	89.6歳	89.6歳	89.7歳	89.7歳	89.8歳	(89.7歳)
平均要介護度	1.4	1.4	1.3	1.1	1.4	1.4	(1.3)
待機者(すぐ)	56名(10名)	61名(14名)	62名(14名)	58名(12名)	61名(12名)	60名(15名)	(59.6名)
面会数	74件（92名）	94件（141名）	90件（102名）	90件（102名）	124件（162名）	119件（145名）	(124.0名)

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計(平均)
入居登録（31 室）	33名	33名	33名	33名	33名	33名	397名(33.1名)
入院者他不在者	4名(124日)	4名(102日)	3名(48日)	5名(43日)	4名(58日)	1名(17日)	21.5名 466日
退去者/入居者	1/0	0/1	1/2	0/0	1/0	0/1	6名/7名
稼働率	87.5%	89.7%	89.7%	95.8%	94.0%	96.0%	(92.2%)
平均年齢	89.9歳	90.1歳	89.7歳	89.8歳	89.8歳	89.8歳	(89.8歳)
平均要介護度	1.4	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	(1.3)
待機者(すぐ)	60名(17名)	59名(16名)	62名(18名)	66名(20名)	66名(20名)	67名(19名)	(62.8名)
面会数	110件（134名）	108件（119名）	122件（136名）	105件（132名）	94件（111名）	107件（168名）	(132.0名)

※面会者数については、事務所で把握している分のみ。

ご夫婦の利用は２組。入退去に伴う空室期間ができるだけ短くなるよう対応している。

入院等については、急性の体調増悪、新型コロナウイルス感染と拡大防止のためのショートステイであった。

10)　みなみ高齢者支援センター　実績報告　（高齢者地域支援課）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期（平均）
相談件数	668件	607件	625件	597件	579件	607件	3,683（614件）
（実件数）	343件	349件	339件	331件	328件	338件	2,028（338件）
新規相談件数	36件	32件	25件	22件	21件	22件	158（26件）
給付件数（合計）	306件	312件	311件	303件	309件	310件	1,851（308件）
予防給付件数	114件	117件	118件	116件	121件	120件	706（117件）
予防給付件数（再）	43件	44件	47件	47件	48件	48件	277（46件）
総合事業件数	132件	134件	130件	126件	128件	127件	777（129件）
総合事業件数（再）	17件	17件	16件	14件	12件	15件	91（15件）

上期相談実件数が平均338件で昨年度と同様の件数であったが、予防給付件数が246件で昨年度より上期14件増加している。

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計（平均）
相談件数	615件	685件	684件	583件	568件	592件	7,410（617件）
（実件数）	355件	360件	342件	311件	309件	313件	4,018（334件）
新規相談件数	23件	17件	8件	12件	15件	21件	254（21件）
給付件数（合計）	309件	311件	306件	317件	319件	316件	3,729（310件）
予防給付件数	116件	121件	122件	126件	126件	124件	1,441（120件）
予防給付件数（再）	50件	47件	47件	48件	48件	48件	565（47件）
総合事業件数	127件	126件	122件	127件	130件	130件	1,539（128件）
総合事業件数（再）	16件	17件	15件	16件	15件	14件	184（15件）

年間を通じて相談実件数が月平均334件となった。年間の予防給付件数が248件となり、相談件数が毎年増加している。

11）北広島居宅介護支援事業所四恩園　利用実績（居宅介護支援課）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期合計（平均）
総合事業	13	13	13	13	12	12	76（12.6）
要支援1	11	14	12	12	12	11	72（12.0）
要支援2	13	14	14	14	15	15	85（14.1）
要介護1	161	161	162	160	162	162	968（161.3）
要介護2	64	61	65	65	65	65	385（64.1）
要介護3	44	42	45	44	42	42	259（43.1）
要介護4	15	19	19	17	18	19	107（17.8）
要介護5	14	15	15	15	15	15	89（14.8）
合計（1人当たり）	317.5（35.2）	324.5（36.0）	320.0（35.6）	325.5（36.1）	323.5（35.9）	323.0（35.8）	1934.0（322.3）
初回	11	13	9	6	9	8	56（9.3）

5月他事業所の閉鎖（市内、近隣市町村）により引継ぎのご依頼をいただいた。

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計（平均）
総合事業	11	10	14	12	9	9	141（11.7）
要支援1	11	15	22	17	14	13	164（13.6）
要支援2	18	10	10	20	22	24	189（15.7）
要介護1	151	152	157	160	162	166	1916（159.6）
要介護2	65	66	65	62	62	66	771（64.2）
要介護3	44	42	41	42	40	38	506（42.1）
要介護4	18	20	20	17	15	12	209（17.4）
要介護5	14	14	16	17	15	17	182（15.1）
合計（1人当たり）	314.0（33.0）	319.5（33.6）	325.5（34.2）	327.5（34.4）	321.5（33.8）	325.0（34.2）	3867.0（322.2）
初回	5	9	10	11	9	11	111（9.2）

新規の依頼数111件は過去の平均的な数値となった（2022年度：151件、2021年度：122件、2020年度：97件）。

合計は3867件と昨年比で50.5件増加（2022年度：3816.5件）。終了ケースが少なかった影響と思われる。

4. 地域交流事業実績

1）2023年度　地域交流ホーム ふれて来場者数

		年代																来場目的					何で知った				居住地															
		乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	来場者計	喫茶	キッズ	イベント	ミニ講座	デイ	ふれて通信	ホームページ	友人	その他	栄	北進	広葉	輝美	南	白樺	若葉	青葉	高台	里見	泉	松葉	緑陽	山手	その他市内	市外
4月	男性	0	0	0	0	0	0	1	2	4	5	15	48	41	1	0	117	64	0	4	12	0	3	0	66	2	0	2	0	0	3	10	2	0	20	3	0	2	0	5	0	2
	女性	0	0	0	0	0	0	4	1	5	1	6	100	109	14	0	240	94	0	16	120	0	9	0	189	1	3	8	2	2	18	63	19	1	8	11	0	7	4	7	5	1
	合計	0	0	0	0	0	0	5	3	9	6	21	148	150	15	0	357	158	0	20	132	0	12	0	255	3	3	10	2	2	21	73	21	1	28	14	0	9	4	12	5	3
5月	男性	0	5	11	0	0	0	0	0	4	1	12	18	34	2	0	87	37	0	28	21	0	49	0	28	1	2	0	0	0	4	4	2	1	24	5	0	2	0	0	1	2
	女性	0	8	15	0	0	0	1	1	13	1	7	83	88	4	0	221	75	8	36	103	0	121	0	62	7	2	6	2	1	19	47	26	1	20	10	1	11	2	4	6	4
	合計	0	13	26	0	0	0	1	1	17	2	19	101	122	6	0	308	112	8	64	124	0	170	0	90	8	4	6	2	1	23	51	28	2	44	15	1	13	2	4	7	6
6月	男性	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	19	30	43	10	0	107	54	0	17	33	0	36	1	21	1	2	0	0	0	3	4	5	0	30	4	0	2	10	3	4	0
	女性	1	4	2	0	0	0	1	4	15	4	14	82	106	15	0	248	93	9	24	132	0	174	1	22	2	8	13	3	6	20	55	24	0	16	15	3	6	16	5	15	1
	合計	1	4	2	0	0	0	1	5	17	6	33	112	149	25	0	355	147	9	41	165	0	210	2	43	3	10	13	3	6	23	59	29	0	46	19	3	8	26	8	19	1
7月	男性	3	5	10	0	0	0	0	0	1	0	15	32	49	5	0	120	54	0	33	26	0	38	3	20	0	1	1	0	0	7	18	3	0	12	10	2	0	0	5	4	0
	女性	6	6	18	0	0	0	0	9	7	2	11	75	115	13	0	262	98	14	49	110	0	150	6	31	0	3	4	3	7	19	51	39	2	9	16	4	1	8	5	18	0
	合計	9	11	28	0	0	0	0	9	8	2	26	107	164	18	0	382	152	14	82	136	0	188	9	51	0	4	5	3	7	26	69	42	2	21	26	6	1	8	10	22	0
8月	男性	0	10	15	0	0	0	0	4	2	5	14	28	53	13	0	144	27	0	85	30	0	53	1	5	20	0	0	0	0	2	3	5	0	7	3	0	6	0	4	0	0
	女性	0	13	30	1	0	0	0	5	6	5	23	88	120	20	0	311	84	12	97	119	0	181	7	29	22	3	8	3	9	15	52	33	1	17	8	5	7	5	8	9	0
	合計	0	23	45	1	0	0	0	9	8	10	37	116	173	33	0	455	111	12	182	149	0	234	8	34	42	3	8	3	9	17	55	38	1	24	11	5	13	5	12	9	0
9月	男性	10	60	70	30	10	10	10	30	45	60	85	96	126	42	0	684	26	0	84	36	0	39	0	9	0	0	1	2	1	13	4	7	3	7	4	0	2	0	6	1	0
	女性	10	60	74	30	10	10	15	30	48	64	88	139	159	33	0	770	44	4	97	81	0	113	2	19	0	0	5	3	4	11	36	22	3	14	11	5	5	5	3	14	0
	合計	20	120	144	60	20	20	25	60	93	124	173	235	285	75	0	1454	70	4	181	117	0	152	2	28	0	0	6	5	5	24	40	29	6	21	15	5	7	5	9	15	0

10月	男性	0	10	12	0	0	0	0	0	5	1	3	30	37	3	0	101	36	2	35	28	0	25	0	18	35	0	0	0	0	6	2	7	0	3	8	0	2	3	5	4	0
	女性	0	11	12	0	0	0	0	0	8	1	11	79	97	10	0	229	84	5	41	99	0	136	1	30	35	3	7	4	5	14	31	31	2	14	20	0	3	6	8	11	1
	合計	0	21	24	0	0	0	0	0	13	2	14	109	134	13	0	330	120	7	76	127	0	161	1	48	70	3	7	4	5	20	33	38	2	17	28	0	5	9	13	15	1
11月	男性	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	8	19	50	4	0	84	33	0	38	13	0	23	2	7	0	0	0	6	0	7	6	1	0	3	4	0	0	0	8	4	0
	女性	0	1	14	0	0	0	0	0	6	5	15	87	141	18	0	287	107	8	41	128	0	189	0	50	0	6	11	8	4	21	53	39	6	15	22	7	12	12	7	13	0
	合計	0	1	17	0	0	0	0	0	6	5	23	106	191	22	0	371	140	8	79	141	0	212	2	57	0	6	11	14	4	28	59	40	6	18	26	7	12	12	15	17	0
12月	男性	3	20	20	5	0	0	5	4	12	21	31	44	38	15	0	218	44	0	77	22	0	32	0	4	1	1	0	3	0	4	6	4	0	10	11	0	0	0	4	1	0
	女性	3	20	28	5	0	0	6	3	22	26	29	127	93	34	0	396	80	10	104	108	0	143	0	26	0	4	9	7	7	13	46	25	2	7	16	6	9	5	5	7	1
	合計	6	40	48	10	0	0	11	7	34	47	60	171	131	49	0	614	124	10	181	130	0	175	0	30	1	5	9	10	7	17	52	29	2	17	27	6	9	5	9	8	1
1月	男性	3	8	20	0	0	0	0	0	8	10	22	36	36	2	0	145	25	3	94	20	0	31	0	0	0	0	0	2	0	5	52	4	0	4	3	0	1	0	0	3	0
	女性	4	8	20	0	0	0	0	1	19	13	18	72	119	3	0	277	51	3	97	121	0	110	0	9	0	1	5	8	2	9	74	25	0	1	7	8	2	2	3	12	1
	合計	7	16	40	0	0	0	0	1	27	23	40	108	155	5	0	422	76	6	191	141	0	141	0	9	0	1	5	10	2	14	126	29	0	5	10	8	3	2	3	15	1
2月	男性	0	0	10	0	0	0	10	3	5	2	12	38	56	11	0	147	49	0	67	29	0	41	0	3	4	0	0	4	0	6	12	13	0	8	3	0	1	0	1	8	0
	女性	1	0	22	0	0	0	12	1	5	2	15	80	192	8	0	338	51	14	69	197	0	180	1	17	6	0	5	12	5	29	58	34	0	8	18	11	1	2	2	5	0
	合計	1	0	32	0	0	0	22	4	10	4	27	118	248	19	0	485	100	14	136	226	0	221	1	20	10	0	5	16	5	35	70	47	0	16	21	11	2	2	3	13	0
3月	男性	0	0	14	0	0	0	0	0	3	1	12	32	51	16	0	129	67	0	17	42	0	69	0	14	0	0	0	8	0	10	14	12	0	12	6	1	0	0	5	11	2
	女性	0	0	16	0	0	0	0	2	6	3	17	80	197	17	0	338	77	2	31	223	0	169	2	38	0	0	9	12	7	24	78	26	0	2	11	20	3	7	2	15	1
	合計	0	0	30	0	0	0	0	2	9	4	29	112	248	33	0	467	144	2	48	265	0	238	2	52	0	0	9	20	7	34	92	38	0	14	17	21	3	7	7	26	3
合計	男性	19	118	185	35	10	10	26	44	91	108	248	451	614	124	0	2083	516	5	579	312	0	439	7	195	64	6	4	25	1	70	135	65	4	140	64	3	18	13	46	41	6
	女性	25	131	251	36	10	10	39	57	160	127	254	1092	1536	189	0	3917	938	89	702	1541	0	1675	20	522	73	33	90	67	59	212	644	343	18	131	165	70	67	74	59	130	10
	合計	44	249	436	71	20	20	65	101	251	235	502	1543	2150	313	0	6000	1454	94	1281	1853	0	2114	27	717	137	39	94	92	60	282	779	408	22	271	229	73	85	87	105	171	16

2) ふれてイベント実績

月	日	イベント種類	来場数	イベント内容
4	13	イベント	10	ランチ会「ぐん平」
	14	ふれてミニ講座	14	ミニ講座『特殊詐欺』
	25	レクレッシュ	0	レクレッシュ『スカットボール』
	28	レクレッシュ	0	レクレッシュ『輪投げ』
	21	イベント	1	ママカフェ
	21	心結の会	9	心結カフェ『介護について語り合う会』
		スマホ相談	7	スマホ・パソコン相談
	毎週	ミニ講座	128	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ミニ講座	37	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金） zoom参加者含む
5	11	ランチ会	10	ランチ会『ぐん平弁当』
	11	ふれてミニ講座	15	ミニ講座『白米食べ控えていませんか？』
	19	イベント	1	ママカフェ
	19	心結の会	10	心結カフェ『介護について語り合う会』
	26	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ラダーゲッター』
	30	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ボーリング』
		スマホ相談	16	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	113	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ふれてミニ講座	30	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金） zoom参加者含む
6	8	ふれてミニ講座	22	ミニ講座『年金収入のしくみ』
	14	ふれてミニ講座	5	泉町1.3丁目婦人部茶話会『スマホ相談』
	16	イベント	10	ママカフェ
	23	心結の会	10	心結カフェ『介護について語り合う会』
	27	レクレッシュ	0	レクレッシュ『スカットボール』
	30	レクレッシュ	0	レクレッシュ『輪投げ』
		スマホ相談	7	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	113	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ふれてミニ講座	43	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金） zoom参加者含む
7	4	まーぶるひろば	19	子育て支援センターあいあいの出張保育と連携
	13	ふれてミニ講座	15	ミニ講座『終活講座』
	21	イベント	2	ママカフェ
	21	心結の会	11	心結カフェ『介護について語り合う会』
	23	イベント	50	子ども食堂
	24	イベント	20	ランチ会『ぐん平弁当』
	28	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ラダーゲッター』
	30	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ボーリング』
		スマホ相談	5	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	115	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ふれてミニ講座	22	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金） zoom参加者含む
8	1	レクレッシュ	0	レクレッシュ『輪投げ』
	2	イベント	100	子ども夏フェスタ
	4	イベント	60	吉川よしひろさんチェロコンサート
	18	イベント	2	ママカフェ
	18	心結の会	10	心結カフェ『介護について語り合う会』
	24	ふれてミニ講座	15	ミニ講座『ヘルパークッキング』
	29	ふれてミニ講座	6	ミニ講座『手作りみそづくり』
	29	レクレッシュ	0	レクレッシュ『スカットボール』
		スマホ相談	2	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	112	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ミニ講座	51	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金） zoom参加者含む
9	2	イベント	1200	ふれてフェスティバル
	14	ふれてミニ講座	3	ミニ講座『物価高に負けない①』
	15	イベント	1	ママカフェ
	15	心結の会	12	心結カフェ『介護について語り合う会』
	26	ふれてミニ講座	5	ミニ講座『手作りみそづくり』
	26	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ラダーゲッター』
	29	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ボーリング』
		スマホ相談	3	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	115	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ふれてミニ講座	23	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金） zoom参加者含む

10	12	ふれてミニ講座	15	ミニ講座『ヒートショック＆血圧』
	15	こども食堂	70	子ども食堂
	13	イベント	1	ママカフェ
	21	心結の会	7	心結カフェ『介護について語り合う会』
	20	イベント	50	ふれてそばの日
	27	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ペタンク』
	31	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ボーリング』
	31	イベント	40	ふれてハロウィン
		スマホ相談	6	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	145	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ふれてミニ講座	16	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金） zoom参加者含む
11	7	まーぶるひろば	4	子育て支援センターあいあいの出張保育と連携
	9	ふれてミニ講座	13	ミニ講座『高齢者の住まい』
	17	イベント	2	ママカフェ
	17	心結の会	13	心結カフェ『介護について語り合う会』
	26	こども食堂	25	子ども食堂
	27	レクレッシュ	0	レクレッシュ『スカットボール』
	29	レクレッシュ	0	レクレッシュ『スカットボール』
		スマホ相談	3	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	145	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ふれてミニ講座	46	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金） zoom参加者含む
12	1	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ラダーゲッター』
	4	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ラダーゲッター』
	14	ふれてミニ講座	17	ミニ講座『お金・家・大事な物　誰に残す？』
	15	イベント	2	ママカフェ
	15	心結の会	19	心結カフェ『介護について語り合う会』
	25	イベント	100	ふれてクリスマス&子ども食堂
	26	イベント	200	もちつき大会
		スマホ相談	19	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	169	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ふれてミニ講座	30	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金） zoom参加者含む
1	10	イベント	30	ふれて子ども冬フェス
	10	ふれてミニ講座	4	ミニ講座『手作りみそづくり』
	11	ふれてミニ講座	13	ミニ講座『日常の困った！さあどうする？』
	16	まーぶるひろば	3	子育て支援センターあいあいの出張保育と連携
	19	イベント	0	ママカフェ
	19	心結の会	17	心結カフェ『介護について語り合う会』
	20	ワークショップ	18	ちーむてとるワークショップ
	21	こども食堂	60	子ども食堂
	29	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ボーリング』
	31	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ボーリング』
		スマホ相談	2	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	152	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ふれてミニ講座	24	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金） zoom参加者含む
2	8	ふれてミニ講座	25	ミニ講座『後悔しない人生にしよう！』
	10	イベント	83	雪かき交流まつり
	16	イベント	1	ママカフェ
	16	心結の会	13	心結カフェ『介護について語り合う会』
	18	こども食堂	40	子ども食堂
	26	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ペタンク』
	29	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ラダーゲッター』
		スマホ相談	10	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	228	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ふれてミニ講座	29	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金） zoom参加者含む
3	4	レクレッシュ	0	レクレッシュ『輪投げ』
	8	イベント	2	ママカフェ
	14	ランチ会	15	ランチ会『さけ弁当』
	14	ふれてミニ講座	15	ミニ講座『医療ソーシャルワーカーについて』
	15	心結の会	20	心結カフェ『介護について語り合う会』
	29	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ラダーゲッター』
		スマホ相談	9	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	250	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ふれてミニ講座	32	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金） zoom参加者含む
			4842	

地域交流事業

3）2023年度ともに地域交流スペース利用状況

（令和5年度）

＜団体利用＞

月	団体数	活動室1	活動室2	活動室3	活動室4･5	体育館	グラウンド	まーぶる		ともにのつどい	合計
								大人	子供		
4	26	14	0	7	28	282	0	0	0	33	364
5	26	31	0	7	34	162	0	5	3	33	275
6	29	21	0	6	45	191	20	0	0	28	311
7	24	24	0	14	16	109	12	0	0	28	203
8	15	27	0	6	0	29	8	6	4	18	98
9	23	76	0	13	45	169	4	0	0	36	343
10	37	41	0	25	78	479	10	0	0	33	666
11	34	18	0	11	0	279	0	0	0	101	409
12	28	38	0	24	40	233	0	0	0	117	452
1	29	7	0	3	19	244	0	0	0	7	280
2	38	6	0	24	27	304	0	0	0	31	392
3	43	79	2	63	87	582	0	7	6	56	882
		382	2	203	419	3,063	54	18	13	521	4,675

＜宿泊利用＞　（人）

月	団体数	人数
4	0	0
5	1	28
6	0	0
7	0	0
8	0	0
9	0	0
10	0	0
11	0	0
12	0	0
1	0	0
2	0	0
3	2	57
	3	85

＜個人利用、一般＞

月	利用日数	体育館活動室	グランド	喫茶	キッズ	面会	その他業者等		体操		販売		地域食堂	ミニ講座	合計
									健康体操	ウェルネス	つむら	ヤクルト			
4		133	0	144	8	157	260	お客様	158	103	115	30	64	0	1,341
								一般	43	50	0	0	76		
5		93	0	118	2	211	197	お客様	213	92	116	29	36	0	1,265
								一般	29	61	0	0	68		
6		78	0	121	9	158	210	お客様	128	89	115	28	46	5	1,176
								一般	22	49	0	0	118		
7		190	0	146	7	222	192	お客様	119	84	108	30	15	8	1,297
								一般	27	35	2	0	112		
8		228	0	155	23	278	176	お客様	118	78	81	20	52	0	1,300
								一般	7	17	0	0	67		
9		377	0	139	122	216	206	お客様	108	74	72	25	59	2	1,539
								一般	17	41	2	0	79		
10		929	0	162	174	263	159	お客様	121	72	96	25	48	0	2,183
								一般	7	43	1	0	83		
11		336	0	121	61	256	190	お客様	138	75	105	21	13	5	1,470
								一般	9	47	1	0	92		
12		178	0	101	29	283	178	お客様	130	107	77	15	11	0	1,298
								一般	9	55	0	0	125		
1		224	0	125	23	292	184	お客様	122	46	51	15	23	0	1,285
								一般	8	53	1	0	118		
2		495	0	105	48	219	168	お客様	137	53	50	10	25	0	1,474
								一般	6	47	0	0	111		
3		378	0	151	102	297	182	お客様	140	81	85	20	11	1	1,641
								一般	9	93	0	0	91		
	0	3,639	0	1,588	608	2,852	2,302	お客様	1,632	954	1,071	268	403	21	17,269
								一般	193	591	7	0	1,140		

（総人数）

団体	個人	合計
364	1,341	1,705
275	1,265	1,540
311	1,176	1,487
203	1,297	1,500
98	1,300	1,398
343	1,539	1,882
666	2,183	2,849
409	1,470	1,879
452	1,298	1,750
280	1,285	1,565
392	1,474	1,866
882	1,641	2,523
4,675	17,269	21,944

※ 2021年10月11日個人利用集計表開始
2021年10月11日から面会開始
2021年11月15日体育館、活動室利用開始
2021年12月1日喫茶、キッヅルーム利用開始
2021/12/1個人利用開始
2021年11月15日から面会緩和
2021年12月1日から面会制限解除
2022年4月1日制限付き面会開始
2022年4月11日より開館

（年間行事）

日付	行事名	参加人数
10月14日	ともに学芸会	572
2月17日	ともに運動会	300

コロナ渦前の2019年度の利用状況と比較すると、総利用者数は31,289人から21,944人と、9,345人減少している。（団体利用の総数が14,423人減少しているのに対し、個人利用の方々が5,078人増加している。） これは、ともにの活動室や体育館を目的とした利用は減少しているも、地域の方々の個人利用が増加している

4）２０２３年度ともにイベント報告

日時	内容
4/21	ともに地域食堂（140名）
4/12	ミニ講座『元気なうちから施設を勉強』
4/20	ともにの集い（33名）
5/9	子育て支援センターあいあい保育士による親子体操（8名）
5/14	緑陽第一自治会ゴミ拾い
5/18	ともにの集い（33名）
5/24	ミニ講座『デジタルミラー体験会』
5/29	ともに地域食堂（104名）
6/9	子育て支援センターあいあい保育士による親子体操（0名）
6/18	ともにの集い（28名）
6/21	ともに地域食堂（104名）
7/9	第3住区ふくし祭り
7/15	第4住区まつり
7/19	ともにの集い（28名）
7/21	ともに地域食堂（127名）
8/18	ともに地域食堂（119名）
8/23	ともにの集い（18名）
8/29	ともに夏祭り
9/27	ともに地域食堂（138名）
9/20	ともにの集い（64名）
10/14	ともに学芸会（572名）
10/20	ともに地域食堂（131名）
10/18	ともにの集い（33名）
11/15	ともにの集い（101名）
11/20	ともに地域食堂（105名）
12/12	焼き芋イベント
12/16	ともにの集い（117名）
12/15	ともに地域食堂（136名）
12/19	ともに餅つき大会
1/16	ともにの集い（7名）
1/15	ともに地域食堂（141名）

日時	内容
2/21	ともにの集い（31名）
2/26	ともに地域食堂（136 名）
2/17	ともに運動会（300名）
3/21	ともにの集い（56名/521名）
3/26	ともに地域食堂（102 名/1,543名）

4. 高齢者施設事業、各委員会方針評価

様式1

2023年度 管理課 事業総括

主管 管理課

事 業 方 針

近年の物価高騰は、私たちの生活に様々な影響を及ぼし、事業を継続させていく上で非常に大きな不安要素となっている。そのような中でも、安定した施設運営を目指すため、私たち管理課は自分の立ち位置を十分に理解し、時代の流れをしっかりと見極め、お客様やご家族様、地域の方々、そして職員に対し、法人理念に基づいた行動の実践に努めていきたい。

重 点 事 業 項 目

1. 振る舞いを大切に、信頼されるチーム作り
・重要な役割を担う部署として信頼を勝ち取るために、決して努力を怠らず、どこまでも誠実な対応で業務にあたり、一人一人のパフォーマンスを最大限に生かすことのできるチーム作りを目指す。

2. 福利厚生の充実と人材確保
・人材確保のために、魅力ある職場づくりを目指し、安心して働き続けることのできる環境の整備を行ない、定着力を高めていく。
・各課と協力し合い、職員が楽しめるイベントを企画し、職員間の交流を深め、チーム力向上に繋げる。

3. 地域とのつながりの強化
・ふれて、ともにを中心としたイベント等に積極的に関わり、地域に求められる新たな地域交流事業の検討と実施。

【上半期評価】	【最終評価】
コロナ禍で出来なかった行事・イベント等が再開され、中心的役割を担いながら概ね計画通り実施できている。 職員のコロナ感染や他課へのサポート業務も増え、通常業務に支障が出ないよう苦慮する場面は多々あったが、そのおかげで互いの協力体制が強まったように感じる。 給食職員の確保について、高齢施設では初めての派遣職員を採用したが、特に問題なく継続できている。 時間外勤務解消のためにも、引き続き派遣職員の獲得を検討したい。	役職者が不在であっても、それ以外のメンバーで考え協力し、ベストな行動ができるところを評価したい。 相談しやすい雰囲気づくりを心掛け、一般職員の他、外国人職員・インターンシップ職員・委託業者職員に対しての定着を意識した携わりが出来ている。 職員にとって、魅力ある環境を整えることが重要であるが、更新や修繕が必要なものが多く、優先順位をつけて行っているが、まだまだ手が付けられていないものがあり、他課の協力も得ながら実施していきたい。

様式1

2023年度 施設係 事業総括

主 管　管 理 課　施 設 係

事 業 方 針

基本理念に基づいてお客様はもとより地域社会への貢献を担う法人職員として各事業が安全、円滑、快適に運営できるよう主にハード面における管理業務を主軸とし事業の運営に寄与するものとする。

重 点 事 業 項 目

1) 施設内、設備機器及び備品等の保守点検、法定点検整備、メンテナンス、修繕の実施

2) 施設ご利用のお客様及び職員の送迎、並びに各車輌の法定点検、メンテナンス、修繕の実施

3) 敷地内、及び各拠点の屋外環境整備（除雪、草刈、花壇整備等）の実施

4) その他施設に関わる業務、行事、催し等の補助、及び用務全般

【上半期評価】	【最終評価】
上半期の振り返りとして花壇整備については課内、家族ボランティア、実習生の協力を得て花植えは実施できたが手入れについては残念ながら行き届いていない。　ガラス清掃については予定通り3拠点、各職員協力のもと実施できた。　館内設備に関しては給水ポンプの故障があり更新が必要な状況、年内既存の給水経路の変更をし、来年度にポンプ本体の更新を予定。 館内照明LED化については少しずつ、着実に進めている。 ふれて拠点においては雨漏り、すが漏りが多発し対応に苦慮。 車両更新については予定通り2台納車待ちの状況。　今夏の記録的な猛暑になぞらえ館内空調設備の改善が課題。冬期の大雪に警戒、除雪機の配備、除雪要員の配置等要検討。	下半期については職員移動に伴い除雪要員1名減となりふれてについてはほぼ1オペ状態となったがさとみの除雪については業務委託する運びとなったため相対的な業務量で考えると±0であった。サポートセンターみなみの除雪用にボブキャット移動となり中庭の除雪に手間取る。更に四恩園重機故障もあり重機増台の必要性を強く感じる。　施設設備に関しては修繕での大きな支出は無かったものの要修繕、更新箇所が多数の状態。優先順位、修繕計画要検討。　かたるにおいても浴室タイル剥がれや水栓関係、ボイラー等年数相応の不具合多数。　車両に関しては新車納車直後の事故に落胆。どうすれば事故の可能性をつぶせるか委員会にて議論していく。　全体を通した今年度の振り返りとして特に大きな変化は感じられないが職員力を合わせ敷地内に遊歩道の施工ができた事は未来の点とつながる気がする。

様式1

2023年度　給食サービス課　事業総括

主管　給食サービス課四恩園

事業方針

1. お客様満足に向けて各拠点（四恩園・ともに・かたる）のニーズを図り、各拠点ごとの特色を活かし、①生活食（身体の基礎・健康促進・予防）、②治療食（回復・維持）、③行事食（心と体の栄養・楽しみ・喜び・感謝）の三つを柱としてお客様本位の提供に努める。
2. 安全・安心の信頼を損ねることの無いよう清掃・衛生管理・健康管理の強化に努める。
3. 地域の行事への参加、つながりに努める。
4. 栄養相談、食事の感心を高め体調不良軽減につながるよう努める。
5. 人材確保、機器導入、マニュアルの作成など業務の効率化を図る。

重点事業項目

1）各拠点の特色を活かした食事、行事に取り組む。
2）清掃・衛生管理、健康管理、機器・設備管理の周知、徹底。
3）地域の祭、拠点の行事などに参加し、地域の方々とつながり給食サービス課を知ってもらう。
4）お客様の体調管理、行事食などでお客様の気分の高揚につながるような食事を提供していく。
5）病気・怪我など長期欠勤により人員不足となった場合の対策。機器の導入、職員のスキルアップ、作業の効率化など意見を交換していく。

【上半期評価】	【最終評価】
行事が再開したこと、病欠による長期休暇などで人員不足を痛感した上半期だったが、出来合いのものを取り入れることで日々の負担は軽減された。まだ調理・提供の工夫、清掃など追いついていない事はあるが、よくやってくれていると思う。 四恩園では古い機器が多く、現代の給食には追い付いていない事が多々あるが、それもこれからの検討事項に入れなければならない。	下半期は職員の出入りもあり、全員が色々と考えなければならないものとなった。 この一年は上半期、下半期と職員の出入りもあり落ち着かない状況ではあったが、今まで以上に他部署との話し合いがあった一年だった。これからも連携を取りながらお客様に楽しんでもらえるように取り組んでいきたい。

様式1

2023年度　給食サービス課　事業総括

主管　給食サービス課ともに

事業方針

1. お客様満足に向けて各拠点（四恩園・ともに・かたる）のニーズを図り、各拠点ごとの特色を活かし、①生活食（身体の基礎・健康促進・予防）、②治療食（回復・維持）、③行事食（心と体の栄養・楽しみ・喜び・感謝）の三つを柱としてお客様本位の提供に努める。
2. 安全・安心の信頼を損ねることの無いよう清掃・衛生管理・健康管理の強化に努める。
3. 地域の行事への参加、つながりに努める。
4. 栄養相談、食事の感心を高め体調不良軽減につながるよう努める。
5. 人材確保、機器導入、マニュアルの作成など業務の効率化を図る。

重点事業項目

1）各拠点の特色を活かした食事、行事に取り組む。
2）清掃・衛生管理、健康管理、機器・設備管理の周知、徹底。
3）地域の祭、拠点の行事などに参加し、地域の方々とつながり給食サービス課を知ってもらう。
4）お客様の体調管理、行事食などでお客様の気分の高揚につながるような食事を提供していく。
5）病気・怪我など長期欠勤により人員不足となった場合の対策。機器の導入、職員のスキルアップ、作業の効率化など意見を交換していく。

【上半期評価】	【最終評価】
行事ごと、お祭りも再開してお客様、地域の人と接する機会が多くなってき、ともにの味を知ってもらう機会も増えてきているので、今できる最大限の努力をしていますが、調理人不足などで、発揮できていない部分が多いので、下半期にむけて職員のスキルアップ、人員確保を考えていく。	一年を通して行事食、お祭り、地域の行事に参加して、色々と見えてきたので来季に向けてもっと給食サービス課を知ってもらえるように取り組みます。 新しく調理担当になった2名の職員の育成には、まだまだ時間がかかるが、継続して根気よく教えて行く。 10月より食材高騰による見直しを進めています。それと合わせて食材の過剰在庫をなくしていきました。

様式1

２０２３年度　特別養護老人ホーム・短期入所四恩園　事業総括

主管　　施設サービス課

事業方針

四恩園を利用されるお客様・ご家族の幸せと職員のモチベーション保持に繋がる好循環を生み出し、安全な生活環境の下、お客様の人生を生ききる支援、生活の中に楽しみを共有し、施設サービス課が持続可能事業として将来に向けた施設基盤・組織規律・事業継続に取り組みます。

重点事業項目

1．お客様、職員双方に１日１日の日々の生活に活性と楽しみを。

・明るく優しい応対、個別に配慮した「生ききる支援」を基本理念に照らしながらお客様の居心地と感染予防、安全な生活環境づくりを目指します。

・お客様、職員双方にとって生活の中に楽しみ発見、丁寧な日常ケア、権利擁護に向けた認知症ケア、終末期ケアに努め、職員の介護技術向上と適切な福祉機器を活用した生活空間の提供を目指します。

2．生活を共に創る一員としての自覚を持ちケアと接遇のプロ集団を作ります。

・生活の質の向上＝ケアの質の向上と捉え、私たちは基本に立ち返り三大ケアの徹底に取り組みます。美味しい食事とは？気持ちの良い入浴とは？すっきり排泄とは？常にお客様目線で自分たちのケアを振り返り修正改善に取り組みます。当たり前の日常にささやかな喜びと幸せを付け加えます。

・お客様、職員双方にとって気持ちよく生活、仕事ができるよう認知症を理解した上での接遇マナーの向上を目指します。笑顔で品良く優しく丁寧な言葉づかいで、お客様や共に働く仲間に安心と心地よさを届けられるチームを目指します。

3．自ら考え、自らの実施事業の現状評価と分析対応に資する職員体制づくりを実現します。

・施設サービス課職員一人ひとりが事業運営に係わりの意識を持ち、適宜現状の分析と事業方針・重点事項の実施状況を職員自らの視点で捉え、改善できる職員体制を築きます。

・働きやすく、働き甲斐のある施設サービス課職員の人材育成。考課、資格取得におけるスキル向上支援体制と休暇取得の充実。報連相の意識を高め職員連携に感謝の気持ちを。

【上半期評価】	【最終評価】
特養機能の活用にて家族含めた連携を図り看取り終末期までの支援が行えた事で家族満足、課内のケア向上としても評価。新職員受入から課の課題や改善点、職員教育の機会の重要性を再確認。事業方針に掲げる「好循環」達成には引き続き職員自身の振り返り、修正指導ができる関わり意識が必要。他職種の協力のもと感染発生に至らず事業遂行が行えたが、夏季期間の課内の環境整備は来春に向けて対策講じられるよう引き続き安定した事業運営・稼働維持への取り組み、相談・看護・介護・アシスタント各職の職員入職も引き続きの課題。	秋季新型コロナ集団感染において改めて感染予防対策、法人内連携、医療連携、家族報告等の重要性の認識を持った。稼働への影響もあったが早期の入退所調整、新規利用受入稼働の回復に努めた。看取り支援にてその人の「生ききる支援」を家族の協力も仰ぎ終末期ケアに取り組み、１日１日を楽しめる機会として店舗や保育園など地域へお客様と職員が共に出ていく企画し運営。外国人職員、インターン職員・実習生受け入れを実施しケア方法の振り返り、接遇教育・修正指導の必要性に日常的に気づき行動し互いの存在に感謝の気持ちを持つ事ができた。

様式1

2023年度 デイサービスセンター四恩園 事業総括

主管　通所介護課

事業方針

北広島デイサービスセンター四恩園は、お客様お一人お一人が“自然に心と身体が動く”ケアを提供することで心身機能の安定と笑顔を引き出し、お客様はもちろん、介護するご家族や地域をも元気にすることができる事業所となることを目指している。お客様の半数以上が中重度者となった当事業所にとって、お客様の体調変化を早期に発見し医療につなげることとお客様の状態像とケアの方法をご家族や他機関に伝えることはこれからも重要な役割となると考えている。
昨年度、当事業所では、特養部やデイホームさとみのお客様を招待しての夏祭り(スイカ割り)やもちまつり(もちつき)を企画・実施した。感染対策を講じながらではあったが、多くのお客様が一堂に会し、人と人とのつながりを感じながら楽しむことができたその時間は、お客様の笑顔(＝心の動き)と力(＝身体の動き)を引き出す時間になったと実感している。今年度はその企画を進化させることで、より多様なお客様と地域の皆様に喜んでいただき、役に立つことができる事業所となることも目指していく。

重点事業項目

1）お客様の心身機能の安定と笑顔を引き出すための取り組み

・ＩＣＴや映像機器の活用によるプログラムの多様化

・お客様がより多くの人とのつながりを感じることができる行事の企画・実施

2）介護するご家族や地域を元気にできるための取り組み

・ご家族や地域の方にも参加いただくことができる行事の検討

・災害時等にもサービスを提供し続けるための事業継続計画(BCP)の策定

3）専門的な知識と科学的な根拠に基づく評価とケアが提供し続けられる職員の育成

・お客様の体調変化を早期に発見し、状態像に合ったケアを提供できるための研修

・リスクマネジメントシートの活用

【上半期評価】	【最終評価】
・活動内容に関しては、目指すところまでまだ到達はしていないが、順調に増えてきており、楽しさや変化を体感されているお客様も増えてきている。 ・課題としては、チラシ作成、ヘルプ体制、送迎可能職員が少ない状況を改善できるように下半期取り組みたい。 ・4月～8月新規12件だったが、入院、逝去、移行ケースも多く、実績上のプラスには至っていない。ケアマネ等へのアプローチ継続。環境の変更、利用の満足度が上昇する取り組みを継続していく。 ・住区祭りへの参加、車椅子体験学習等、事業所として地域貢献できるよう管理者だけではなく、正職員で分担して参加している。	・コロナ禍にて中止してきた外出行事を再開できた。この経験を活かして次年度は外出の機会を増やしていきたいと考えている。 ・チラシが完成し、デイの周知活動を深めることができた。下半期で職員が３名退職し、厳しい運営状況となったが、２月に２名入職し、体制を維持できている。ここ数年の職員の勤務実態と提供時間がマッチしていない状況があり、改善できるように次年度変更を検討したい。 ・今年度は新規依頼が多かったが、終了者も多く、実人数は増加したものの延人数を増やすことができなかった。同じことをしていては、増加に転じないこと。新しいことへの挑戦が必要と考えている。 ・1年通して、職員数の課題に悩むことが多く、通所全体としてヘルプ体制を解消できず、職員が疲弊し、思うような変革を進めることができなかった。管理者としても力不足だった。次年度に向けて前向きに取り組んでいきたい。

様式1

2023年度 デイホームさとみ 事業総括

主管　通所介護課

事　業　方　針
デイホームさとみは、一軒家、小規模、単独型の認知症対応型通所介護事業所であるという特性を活かし、認知症の周辺症状の緩和や、症状の進行を遅らせることにより、お客様が日常において穏やかに過ごせ、またご家族も介護負担が軽減することで、大切な方との在宅生活が少しでも長く継続できることを目指しています。そのようなデイホームさとみの利点を生かし、家庭的でなじみの雰囲気の中で、個別の価値観に合わせた柔軟な対応や、お客様一人一人に寄り添った手厚いサポートで、やりたいこと・できることを無理のないペースで続けられ、その中で、行きたい所・見たい風景・食べたいものを個別で対応することにより、お客様・ご家族・さとみの三位一体の関係づくりを構築します。 新型コロナウイルス感染の緩和に伴い、地域の社会資源を取り入れ、社会交流を行うと共に、デイホームさとみを社会資源として地域に広め、浸透させていくことを目指していきます。

重　点　事　業　項　目
1. 一軒家、少人数を生かした、ハード（環境）・ソフト（サポート）・システムの強化 ・お客様が普段通りに過ごせる環境づくり ・お客様の生活歴、自宅での生活の継続 ・認知症ケアを高めるための、職員の学びの機会を設け、お客様から学ばせて頂く ・相談援助機能と事業所間連携の強化 **2. 施設・設備の老朽化に伴う対策** ・施設の建物及び、設備の点検と修繕、環境整備 ・車両の管理 ・事業継続計画（BCP）の策定に向けた検討 **3. 開設時からの取り組みである、「理論化」「見える化」「継承」を日常業務で具体化** ・職員それぞれが、デイホームさとみの担っている役割を果たすために、業務の内容や役割を再確認し、やりがいのあるサービス提供を行う。 ・根拠のある業務を意識し、数値化に取り組む。また、仕組みを共有し、持続性のある業務を行う。 ・働きやすい職場環境で人材・次世代育成 ・地域との連携、地域への啓発活動

【上半期評価】	【最終評価】
8月まで新規9名、終了3名。実利用者数17名と目標達成している。新規のお客様の動向として、少人数・マイペースで過ごせる・細かな個別の対応・家庭的で馴染みの雰囲気というさとみを選んで下さっている。また、増回希望者も増えてきている。法人職員のサポート、さらに新規職員採用により、職員のモチベーションも上がり充実したケアを提供できた。地域のお茶の間が再開され地域の資源としての役割も果たすことができた。今後も維持継続できるよう、営業・チラシの作成・ケアの質の向上に努めたい。	2月まで新規4名、登録数21名。実利用者数20名となる。入院者等もあったが戻って来られ、増回のお客様多かった。平均利用者数6名程度で一日の定員数には達していないが今年度はかなりの集客数で目標達成できた。運営推進会議では高評価をいただき、また、さとみのチラシが完成し、よりさとみを知っていただく事ができた。認知症対応型の少人数を希望されるご家族が多く、今後、より専門性を持った認知症の方への対応ケアが求められると共に人材の確保等が課題。地域のお茶の間は中止することなく1年実施することができ来年度も継続して行う予定。

様式1

2023年度 デイホームかたる 事業総括

主管　通所介護課

事　業　方　針
デイホームかたるは、お客様個人の有する能力と可能性を「1.引き出す 2.尊重する 3. 強化する」ことから、お客様の在宅生活がいきいきと張りのある豊かな毎日となるよう身体面・精神面・社会参加面等の様々な側面から援助に努めます。軽度者に焦点を当て、介護予防や保健的なニーズのあるお客様層も通える場となりえるような「自分の仕事」「自分の役割」を持って楽しく過ごせるデイサービスを目指します。 地域の社会資源を活用し、地域交流ホームふれてやボランティア、各相談機関と連携をとりながらICTを活用した地域への情報発信や地域貢献等に努めることで、地域に求められるサービスを目指します。利用者だけではなく、地域住民を含めお客様であるという意識で、誠実な対応を心掛け信頼される職員となれるように努めます。

重　点　事　業　項　目
1）いきいきと張りのある生活が送れるように、科学的根拠に基づいたケアを実践し、お客様個々の生活力が高まるように支援します。 ・LIFEのシステムを活用し生活目標にあったケアを実践します。 ・多様な活動メニューを、お客様の意向を確認しながら提供します。 ・役割の獲得、社会参加の機会を提供し、社会的な活動に触れることで、充実感を得られるように支援します。 ・安心できる利用を実現するため、感染予防を徹底します。 **2）お客様と地域、事業所と地域がつながり、支え合える関係を構築します。** ・地域住民との避難訓練やイベントなど協力して実施します。 ・お客様を支えるパートナーとして、ケアマネジャーとの信頼関係を構築します。 ・地域活動に職員も参加し、地域住民や他機関との連携を強化します。 ・オンラインデイサービスの実施と情報発信。 ・介護保険に限定せずに、予防や保健が必要な方までを対象としたサービスを検討します。

【上半期評価】	【最終評価】
2023年度は大きな職員体制変更の中で運営を実施。前年度と比較し、ご利用いただいているお客様の延べ人数は増加（8月末現在で337名増）下半期以降も選ばれる事業所を目指し、サービスの質の向上・職員のスキルアップ・地域連携の強化を目指し、取り組みを継続する。	2023年度の延べ利用者数は、予測値で7,600名程度。（前年度6,936）新型コロナウイルスが5類以降に伴い、住民の感染症に対する警戒感が薄まった事も利用増に影響していると考える。地域交流ホームふれて内に事業所がある点が強みとなっており、さまざまなコラボレーションが選ばれる要因の一つになっていると考える。

様式1

2023年度 北広島市みなみ高齢者支援センター 事業総括

主管 高齢者地域支援課

事業方針
北広島団地地区は、高齢化率が47%となっており、他地区と比較し20%近く高い状況です。そのため、要介護高齢者や認知症高齢者の増加、高齢者世帯の増加、地域団体の担い手不足の諸課題が顕著に進んでおります。また、市民の方から団地地区の課題として、「健康維持をしたいが、気軽に運動できる場所がない」、「地域団体の活動もコロナ禍後に減少しており、人と繋がる機会が減少している」、「移動をする際に、交通が不便で駅や買い物まで大変である」等の声があげられています。 そこで、担当圏域とする地域包括支援センターとして、団地地区の諸課題に対して、地域・関係機関や市民スタッフ等と連携し、市民の方が住み慣れた地域で活き活きと暮らし続けることができる取り組みやまちづくりを目指していきます。

重点事業項目
1．「魅力ある北広島団地地区への取り組み」 ・高齢者の多い北広島団地地区の市民が健康を維持し様々な活動に取り組めるよう、生涯現役地域づくり環境整備協議会と連携し、活動の場、就労の場、ボランティアの場づくりなどの支援に取り組みます。 ・運動や社会参加に対するモチベーションを維持・向上できるよう、まちのさまざまな仕組みの活用（健康ポイント事業・団地地区の社会資源など）を考えると共に、既存の活動団体とのつながり作りを強化します。 2．「介護予防ケアマネジメントのスキルアップ」 ・民生委員や町内会、老人クラブ、市民スタッフ等とのインフォーマルな団体との連携を密にし、地域で支援が必要な方への支援を強化します。 ・相談援助における面接技術等のスキルアップや利用者の自己決定支援の理解を深める内部研修に取り組みます。

【上半期評価】	【最終評価】
・市民が健康を維持し様々な活動に取り組めるように、市民向けに健康測定会を開催した。また、地域の団体に向けて健康に関する講和や健康測定会を開催し健康に対する周知・啓発活動を実施した。また、生涯現役地域づくり環境整備協議会と連携し事業に参加したが、様々な事業にについて提案までには至らなかった。 地域のインフォーマル団体へは周知活動や事例検討会を開催し顔の見える関係を徐々に構築しつつあるが、継続していく必要がある。	・魅力ある地域づくりの為に、生涯現役地域づくり環境整備協議会と連携し、活動の場・交流の場・移動手段についての近距離モビリティなどに参加が出来た。 一方で、運動や健康については、既存の事業から新たな仕組みづくりの検討までは出来なかった。住民の運動については、介護予防や自立の支援から重要な課題でもあるため、包括支援センターとして取り組める活動について次年度の計画に反映していくこととする。

様式1

2023年度 地域交流ホームふれて 事業総括

主管 地域交流ホームふれて

事業方針
「人と人のつながり（ふれて かたる）から生きることの喜びを知ろう！！」 人が生きることの究極の目的は、一人ひとりの人格が尊重され尊厳が保持されることであります。ふれては、子供・高齢者・障がい児者など、地域住民一人ひとりがつながることによって、お互いを尊重し尊厳をもって安心して生活のできる豊かな地域社会となるようその実現を目指します。

重点事業項目
1）共生の理念のもと、地域のつながりを増やし、積極的に交流できる場にします。 2）ふれて市民スタッフを増やし組織化します。 3）地域住民・社会資源・関係機関と連携し、地域力を高め、地域を考える場にします。 4）情報の発信と相談対応により、不安を解決できる場にします。 5）北広島団地地区の資源・象徴として、建物管理や環境整備を行います。 6）新型コロナウイルスの流行に伴い、来場者へ感染拡大防止のケアを行います。 7）人生１００年時代の中、地域に『ワクワク』楽しく生きる人を増やします。 （北広島市生涯現役地域づくり環境整備協議会との連携）

【上半期評価】	【最終評価】
≫共生の理念による交流 休館もなく通常どおり開館できました。8月末での来場者数が1，857名でひと月の平均来場者数が３７１名となりました。コンディション体操、いきいき百歳体操、イベントを通じての来場が多数を占めています。引き続きオンラインの活用に関してはコンディション体操とミニ講座を対面と同時進行で進めることにより、継続した形での参加が見られています。 >>市民スタッフの組織化 新たなスタッフの加入が5名ありました。現在活動している市民スタッフからの紹介や、みなみ高齢者支援センターから介護認定を受けている方及びその家族が活動を希望されました。「無理なく楽しく」を大事に、自分にできることで地域活動に参加することで得られる喜びや新しいつながり、またフレイル予防等につながるよう取り組みのコーディネートをしていきます。	>>共生の理念による交流 1月末での年間来場者数が５，０５５名で、月平均５００名 コロナ禍以前の来場者数までいきませんが、各種イベントも再開し活気が戻ってきています。来場者数の管理に関し、職員不在時は多少の漏れがある可能性があり、実際の数字に関してはもう少し多いと思われます。今後なるべく漏れの出ない管理体制を検討します。 >>市民スタッフの組織化 新たなスタッフの加入が3名ありました。日頃ふれて通信を通じで活動に興味を持ってくださった方が希望されました。また、市民スタッフとして登録していないものの、イベント、ミニ講座、ちーむてとるなどの取り組みに協力していただいた地域の方々星槎道都大学生を含めると１００名を超えています。スタッフの高齢化や配偶者、家族の介護等で活動が難しくなるケースがありましたが今までのつながりから、支援センターと連携して地域資源や介護保険サービス等への案内につなげていきます。今後もふれて通信等を活用した市民スタッフ募集を継続していきます。 >>地域力の向上 ちーむてとるでの活動は星槎道都大学生・白樺２丁目自治会と

様式1

2023年度　北広島居宅介護支援事業所四恩園　事業総括

主管　居宅介護支援課

事　業　方　針

～ 一人の人として周囲に受け入れられ、尊重されていることを感じられるケアを ～

「父は意思の疎通もままならないから、入所することを説明してもわからないかもしれない。だからといって入所する本人へ何も言わずに入所してしまうのは権利侵害ではないかと思うのです。どうなんでしょう…」。昨年、父の施設入所を決めた介護者の言葉だ。

認知症により理解力・判断力が低下すると、認知症の人の周囲にいる私たちは、本人の声を聞かず、本人の「代わり」に本人の将来につながることを「決定」することがある。確かに重度の認知症では、人生における大切な判断について意思を表明できないことがある。しかしながら、意思決定ができないとされてきた人でも、周囲のサポートを受けながら、能力に応じて意思決定をするプロセスは大切にし、支援者による「代行決定」は最後の手段としなければならない。本人が「意思決定できない」と決めつけ、本人の人生に関わることを本人に問いもせず相談もせず周囲が決めてしまう。その先に虐待などの権利侵害が起きてしまうのだろう。

「私たちのことを私たち抜きで決めないで」障害者権利条約のスローガンのとおり、私たちは、「本人のいるところ」から始めなければならない。本人が見ている世界をスタート地点として、そこから援助者が一緒に歩んでいくのが相談援助の原点だ。

パーソンセンタードケアでは、「一人の人として、周囲に受け入れられ、尊重されること」（パーソンフッド）を最も重要視する。お客様やご家族お一人おひとりが、そう感じられるような関係形成を大切にしたい。

重　点　事　業　項　目

1．お客様が「一人の人として、周囲に受け入れられ、尊重される」と感じることのできる相談援助
2．安定経営と業務改善の取り組み
3．助けを求めることがしやすい地域の基盤づくり
4．目の前の人を一人にしないソーシャルワーカー育成

【上半期評価】

・昨年に引き続き、認知症で独居、支援を拒んでいる方について、アウトリーチを実践している。「自分でやりたい」「でもできなくなってきた」という葛藤を受け止めながら、定期巡回で人のつながりを形成しデイサービスの利用へつながったケースが複数ある。
・お客様より「ボールパークへ行きたい」というご要望をお受けしている。ボールパーク開設という環境の変化によりお客様のニーズに変化が感じられる。「地域の資源の活用とつながり」でニーズにこたえるよう支援している。
・上半期の新規数は３９件で例年通り。件数は目標値をキープしている。
・異動して配置された職員については業務のレクチャーをそれぞれ分担して行い、コミュニケーションの機会とした。

>>地域力の向上

ち～むてとるの活動は、今年度も団地地区に５６台のベンチ設置を行いました。また、ベンチの補修作業を白樺高等養護学校の生徒さんと一緒に行いました。参加した地域の方からは「学生と交流できて嬉しい」「ベンチを利用する方の声を直接伝えられたよ」の声をいただき、また学校からも「日頃の自分たちの製作活動がこうして地域資源の１つになっていることを実感してもらうことができ学生にとって、とても有意義な機会だった」との声があり、来年度以降、設置活動へのコーディネートも検討していきます。

>>情報発信と相談対応

毎月１回発行しているふれて通信とブログを活用し、市民スタッフの楽しそうな活動の様子やイベント参加者の声を掲載し募集も行っています。また、スマホ・タブレット活用の啓発活用から相談を受け付けていて上半期の相談件数は３７件でした。相談をきっかけに、オンライン体操やミニ講座等への声かけをしたり、また、自身の健康状態や家族の介護についての相談になることも多くみなみ高齢者支援センターとの連携のケースもありました。

>>建物管理と環境整備

ふれて及びサブセンターの環境整備についてはふれて市民スタッフ、四恩園各事業所の協力・連携により計画通りに実施することができました。

>>北広島市生涯現役地域づくり環境整備協議会との連携

協議会が実施した３回の住民ワークショップでは市民スタッフはじめ、ふれての活動でつながった方の参加も多く参加されました。就労・趣味（特技等）のマッチング事業については、今までも決まったしくみとしててはなく、コーディネートの中で実施していた事例も多くありますが、今後の継続的な事業として形にするために関係機関と連携して取り組んでいきます。

【最終評価】

・１０月より０．５人増員し受け入れ態勢を整えた。
・件数は昨年度より増えているものの、特養入所へ移行するケースが多く総件数は横ばいの状況。
・職員が講師となる勉強会は継続。幅広い知識を身に着ける場となっている。
・認知症の方のご家族死去、独居の方の急激な認知症進行により、成年後見制度の申し立て、財産管理の支援、住み替えのサポートなど社会資源を学びながら支援した。

<課題>

・ミニ講座等において、住民の皆さまと地域の課題を共有し、協働を図るため情報を伝えるだけではなく、対話により双方の理解を深め、つながりの深化を図りたいと考えている。
・認知症高齢者の一時的な預かりなどの枠組みを作る計画だったが実践できなかった。次期計画でよりニーズのアセスメントを図り形にしたい。

の連携で『雪かき交流まつり』を開催することができました。今後もふれてを拠点とした取り組みを継続し、住民の積極的参加による、地域の人と人とのつながりづくりを進めていきます。

≫情報発信と相談対応

毎月１回発行しているふれて通信とブログを活用し、市民スタッフの楽しそうな活動の様子やイベント参加者の声を掲載し、募集も行っています。、またスマホ・タブレット活用の啓発をしています。下半期の相談件数は１７件でした。相談をきっかけに、オンライン体操やミニ講座へつなげていきます。今後もスマホ・タブレットの保有人数を増やしていき、インターネットを活用したつながりづくりの構築を進めていきます。

≫建物管理と環境整備

ふれて及びサブセンターの環境整備については、ふれて市民スタッフ、四恩園各事業所の協力・連携により計画通り実施できました。

>>北広島市生涯現役地域づくり環境整備協議会との連携

協議会が実施した住民ワークショップでは市民スタッフはじめ、ふれての活動でつながった方の参加も多く参加されました。引き続き、継続的な事業として形にするために関係機関と連携して取り組んでいきます。

様式1

２０２３年度　北広島グループホーム四恩園　事業総括

主管　グループホーム課

事業方針

ここでの生活に、楽しみがある、安心できる、居心地がいいと、感じていただけるよう専門職としての力を発揮していく。認知機能への支援、認知症の進行に伴う緩和ケアの実践、終末期におけるまで、身体別、症状別、疾患別など総合的な支援が継続的に展開できるよう生活を支援していく。さまざまな情報や場面から広い視野をもって、創造力を生かし意思決定できる場であることを大切にしていく。

また、地域とのかかわりを継続的に実践し、生きる喜び、充実した豊かな生活をつないでいく。

重点項目

1. **専門職としてのあり方について考え、根拠に基づいた支援の展開の充実。**
  - ・基本的知識、技術を深め、実際のケアについてグループワークを通し、アセスメントの視点を広げ、チームにおける意思決定プロセスを共有し対応できる力をもつ。
  - ・行動・心理症状（BPSD）の発生要因を分析し、課題やあり方について客観的・論理的に考察し、寄り添うことへの視点を深める。
  - ・研修への参加や資格取得など自己研鑽することで職員が相互に影響力を高め合う。
  - ・緩和ケア、終末期への対応について、ガイドラインをもとに意思決定支援を継続的に行っていく。
  - ・地域で暮らし続けることを大切にし、地域の行事、ご家族とのイベント内容の検討や交流の場など関わりがとぎれることなく生活できるよう努めていく。
2. **日々の生活が継続できるよう感染対策に努めていく。**
  - ・マニュアルをもとに、感染対策への意識を高め、蔓延防止に努める。
  - ・職員一人ひとりが、健康管理・感染予防に努めることで働きやすい環境の継続。
  - ・感染対策を行いながらご家族や地域など、社会性を大切にした関りを実践していく。

【上半期評価】	【最終評価】
毎月GH会議にてミニ研修会を担当制にし実施している。知識として身につくが実際にお客様へのケアに反映できていないと思われる。また、このような研修をしたいとの希望があるも、テーマにそった研修案内するが自主的に参加する職員は限られている自分が担当することで学びを深めている様子が伺えるため、今後も継続していきたい。 個々に資格取得のために取り組んでいる。今年度末の試験を目標にしている。 今年は、地域へのイベントにご家族と一緒にできるだけ参加できている。今後も準備段階から職員がイベントに参加できるよう調整していく。 上半期は、感染症蔓延もなく随時マニュアルを確認し、今後も職員が健康管理に努めリフレッシュできるよう考えながら、感染予防に力を入れていきたい。お客様が人生最後まで楽しむことができるよう、個別に取り組んでいきたい。	アセスメントの視点を広げての実践までには至らず、GH会議で実施している研修に参加し振り返るまでにとどまっている。グループワークでは、行動・心理症状（BPSD）の要因分析も個人の生活歴を掘り下げてアプローチするなどの具体的な提案や取り組みなど発言できる職員が一部となっている。意思決定支援やご家族含め人生会議（ACP）等について本人の意思に基づいた内容、進め方等見直し行っていく。資格取得については、個々に目標を持って取り組んでおり、学ぶことへの必要性について他職員へもよい影響となっている。継続していきたい。イベント等の交流については4年ぶりに実施するものもありご家族と一緒に行うことができていた。感染症については、発症はあったが蔓延拡大には至らず、職員個々に動ける意識、初動が重要。今後も感染予防に向けて定期的にマニュアル等の確認など取り組んでいきたい。

様式1

2023年度　北広島複合型サービス四恩園　事業総括

主管　複合型サービス課

事業方針

1．「住み慣れたこのまちで暮らし続けたい」そうしたお客様やご家族の思いを支え、その人らしい「生き方」「暮らし方」の実現していくため、地域に開かれた家庭的な事業所を目指します。生活の主人公はお客様である。「～したいの実現」「持っている力の活用」「生活の継続性」を大切に、なじみの介護・看護職員が「通い」「泊り」「訪問」「訪問看護」のサービス提供し24時間・365日、切れ目のない支援を行っていく。

2．介護と医療の連携のもと地域で暮らし続ける事ができるよう、訪問診療医療機関とも連携し、認知症の方や医療ニーズのある方の在宅生活継続を支援する。新型コロナウイルスなど感染予防対策により注力し、お客様とご家族、地域の日常生活を守っていく。

重点事業項目

1．お客様本位の自立支援介護、個別性の高いサービス提供。
- ・個々のお客様の生活の意向を踏まえ、その人固有の価値観に基づいた生活を継続できるよう、なじみの関係を活かした個別的な自立支援介護に努め、生活リハビリ・看護サービスを提供する。
- ・お客様・ご家族の意向を確認し、いつでもつながる安心を提供するため、随時の相談援助や介護相談、臨機応変なサービス提供体制を維持し他機関と連携していく。

2．お客様のより良い生活、健康管理のため、主治医やかかりつけ薬局、サ高住しおん、グループホーム四恩園、訪問リハビリ、レンタル事業所との連携を強化する。
- ・食事を楽しみ健康を維持できるよう、口腔機能の維持、栄養状態の改善を図る。
- ・主治医との連携を取るため、看護サービスの提供、訪問診療の立ち合いや受診同行、主治医との情報共有により、お客様が適切な医療サービスが利用できるよう支援する。
- ・ご本人がより安全に自分の能力を活かして生活できるよう、訪問リハビリや居宅療養管理、福祉用具等活用する。
- ・日常の感染予防対策を強化徹底し、お客様や職員の健康管理に努める。

3．サービスの質の向上、業務の効率化を図った安定した事業運営。
- ・食事、入浴、排泄の重要性を再確認し、職員間の密な報告・連絡・相談から「チーム力」でお客様が「居心地が良い」と感じて頂けるサービスを提供する。
- ・これまでの業務の見直し、「ムリ・ムダ・ムラ」のない事業推進。
- ・研修やストレスマネジメントにより、職員の技術や知識、倫理の向上を図る。
- ・リスクマネジメント（シートの活用、車両管理、コンプライアンス）の徹底。

4．地域との繋がり、法人としての地域貢献に努める。
- ・運営推進会議、ボランティアや市民スタッフ、ご家族との繋がりを維持。
- ・地域の一員として楽しみある生活を送れるよう支援する。

【上半期評価】	【最終評価】
5月中旬、正職介護職員1名が緊急入院。退院したものの現在自宅療養継続中。それに伴い、職員の勤務形態を常勤へ移行する等し対応した。引継ぎの間、職員が手薄な日もあり。そのせいか、ヒヤリハットや事故を起こしてしまう事もあった。引き続き職員間の報告・連絡・相談を密にし、乗り切りたい。	5月に緊急入院した介護職員が自宅療養を経て10月に職場復帰。勤務内容に制限があるものの、他の職員でカバーしながら現在もサービス提供している。1月末から2月上旬にかけて、お客様・職員とコロナに罹患。一時通所サービスを停止することになり、お客様・ご家族様に大変ご迷惑をお掛けした。引き続き、感染対策に努め、お客様に安心してサービスをご利用いただけるよう努めたい。

様式1

2023年度　北広島訪問看護ステーション　事業総括

主管　訪問看護課

事　業　方　針

地域で療養される方とそのご家族が安心した生活を住み慣れた場所で送ることができるように、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図ります。また、お客様の意思及び人格を尊重し常にお客様の立場に立って総合的なサービスが提供できるよう在宅医療と連携を強化しホームナースとして支援をしていきます。昨今の多様な感染症対応については、地域に貢献できる訪問看護ステーションを目指します。

重　点　事　業　項　目

1 地域で療養される方とそのご家族が安心した生活を住み慣れた場所で送ることができるように、医療・福祉・保健の連携をします。

・ICTによる「看護のみえる化」を図り、多職種連携ができるように情報共有をします。
訪問ヘルパー、高齢者住宅職員、グループホームスタッフと情報共有や相談等を定期的に受けます。

・地域との交流をもつ。

2 在宅医療と連携を強化しホームナースとして支援をしていきます。

・訪問診療医との連携を強化し、定期的な報告書だけでなく報告連絡相談を積極的に行う。

・在宅ホスピスに対応できるように研修を行います。

・在宅リハビリテーションの強化を行います。

・看護師のスキルアップに努めます。

3 感染症に対応できるステーションとして地域に貢献します。

・感染対策を理解、実践ができるよう研修・実地を行います。

・グループホームや高齢者住宅での感染者対応を行ないます。

【上半期評価】	【最終評価】
多職種連携ができるように看護記録開示を実施。定期的なミーティングは行えていないが、個別ケースで情報共有はできていた。リスクマネジメント、訪問時の感染対策マニュアルを見直しは継続中。ステーション内の研修は未実施。看護の専門性を活かした地域貢献はできていない。8月から看護師1名採用し、精神看護が増加。精神看護についての研修も検討していきたい。職員の体調不良、感染が少なく計画した訪問はできていた。	多職連携のため看護記録開示は継続、サ高住の訪問診療に対して情報共有目的で書式を利用開始した。感染対策については感染者への訪問はなくPPE研修で手技を確認。備品や感染者の対応のマニュアル整理をした。市内ステーション合同で「創傷ケア」の研修に参加、内部研修で「虐待防止、不適切ケア」研修実施できた。地域に向けての活動が全くできなかった。訪問看護のちらし作成に取り組みをおこなった。

様式1

2023年度　北広島ホームヘルプサービスST　事業総括

主管　訪問介護

事　業　方　針

お客様一人ひとりの「その人らしい生き方」を在宅で継続するために、尊厳を守りその方の持てる力を見つけ生活の中でサポートできる介護を、基本理念に基づき実践します。
訪問サービスを安心・安全に継続し、感染等の不測の事態にも対応できる体制を整え、切れ間の無い支援を提供します。ヘルパー人員が減少し、在宅生活を支える訪問介護の魅力や医療と福祉の両輪でお客様を支える重要な職種であることを伝え、新人ヘルパーの獲得と育成に努めます。

重　点　事　業　項　目

1「その人らしい生活」を在宅で継続するために持てる力をサポートしチーム統一したケアを実践します。

・サービス提供責任者を中心としたケース会議とモニタリングを定期的に行う。

・個人研修、全体研修の充実を図る。

2　訪問サービスを安全に提供できる体制を作る。

・訪問時の感染対策が正しく実行できる。

・災害時を想定した訪問を行うための研修を行う。

・リスクマネジメントマニュアルの周知、ヒヤリハット報告からケアの改善を行う。

3　地域の資源となるホームヘルパーを増やします。

・ホームヘルプサービスの魅力を伝え、新規ヘルパーを増やす。

・熟練ヘルパーが健康で長く勤務できる職場環境を整える。

・地域交流に参加し交流とつながりを持つ。

【上半期評価】	【最終評価】
研修については計画通り実施。リスクマネジメントマニュアルを整備し、ヒヤリハット報告から気づきを得るようになり大きな事故報告はなし。新人ヘルパー獲得目的の企画は未実施。チラシなどの広報活動もできていない。ヘルパー減少により、夜勤体制を一部変更し昼間稼働を増やし障がいサービスのロングガイド（移動支援）を再開している。緊急の訪問依頼は継続して対応できた。ヘルパーの体調不良や感染による突発休暇は少なく、計画した訪問はできていたが、自立支援利用の突発キャンセルが多くなっていた。	研修はほぼ計画通り実施。ヒヤリハット報告は気づき報告でケアの細かい部分まで確認できるようになった。職員やお客様のコロナ感染は続いていたが、集団感染等はなく規程内の対策で事業停止することなくできた。ヘルパー退職が2名新規採用1名で減少傾向は変わらない。夜勤体制を自宅待機に切り替えて対応し昼間の稼働制限は少なくなってきたが、職員の変則シフトによる疲労が蓄積され体調管理は引き続き重要課題となっている。お客様の登録数減少、定期巡回利用数は微増で地域への周知が進んでいる。

様式1

２０２３年度　サービス付き高齢者向け住宅しおん　事業総括

主管　サービス付き高齢者向け住宅課

事業方針

お客様の人生の大切な思い出や人との関りを尊重し、その思いに寄り添い、自分らしく過ごせるよう、希望があれば看取りまでも支援する。
専門職の連携と法人内のシームレスな支援を実施。
しおんに住むことで地域とのかかわりや交流、イベントなどの生活の楽しみ、食べる楽しみを提供する。
日常的な健康観察と運動機会の提供、主治医や支援者、ご家族との連携により、体調管理をおこない、元気に生活を楽しめるよう支援する。より満足度の高いサービス提供を目指す。

重点事業項目

1. 日々の暮らしの中で安心・安全を実感できる住宅にする。
   - ・感染対策の徹底、食事・安否確認・運動・生活相談など日常生活をサポートする。
   - ・主治医や訪問看護をはじめ他部署、他事業所との連携を強化。
   - ・快適な住環境を目指し、建物管理や環境整備を行う。
   - ・ケアマネとの連携にてオプションサービスを提供し、安心して住宅に住み続けられるよう支援する。
   - ・職員の質の向上を図る。(接遇マナーの向上。基本的な介護技術、認知症の知識を習得する。)
2. 人と人とのつながりから、生きる喜びや幸せを感じられるよう支援する。ともにに住まう事での新たな喜びを、創出する。
   - ・お客様同士、職員、ご家族、市民スタッフや地域住民とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係を構築する。
   - ・アンケート調査と運営懇談会の実施。
   - ・ご家族と情報を共有し、家族とのつながりや安心感を提供する。「しおん便り」の作成。
3. 自立支援を促し、健康寿命を延ばす。
   - ・お客様の健康管理を徹底し感染予防に努める。
   - ・しおん主宰健康体操やともにウェルネス体操と連携し、廃用性の機能低下を防ぐ。
   - ・主治医、訪問看護、ご家族、かかりつけ薬局との連携を強化し、適切な医療サービスを利用できるよう支援し、体調管理に注力する。

【上半期評価】	【最終評価】
管理者の変更に伴い、職員一人一人の役割変更や業務分担が増えていることは事実だが、これまで積み上げてきた職員間の連携によりカバーできている。行事についてもコロナ前と同様又は新たな形での再開ができている。 猛暑、暴風雨等の気候の変化と開設からの年数により、現状の施設・設備では対応できない面が見えてきているため、下半期は設備の点検と修繕、機器の更新についての調査と計画にも取り組んでいきたい。	お客様同士、お客様と市民スタッフや地域住民とのコミュニケーションが増えており、ふれてのつどい等、職員からの声かけよりも前に地域の方から聞いたと参加する方も出てきている。次年度はさらなるコミュニケーションの拡大を進めていきたい。 ケアマネージャー、介護サービス事業所、主治医、かかりつけ薬局との連携も密にとれるようになってきている。次年度も継続していきたい。 設備や機器の点検と修繕計画についても次年度の課題となる。

様式1

２０２３年度　地域サポートセンターともに　事業総括

主管　地域サポートセンターともに

事業方針

～　楽しいところに人は集まってくる　～

この３年間は新型コロナウィルスによる制限から安全・安定のみを強いられてきた。今年度は「安全と安定」に「楽しみ」を加えてお客様、ご家族、地域の方々とともに人生１００年時代に向けて実践に移す一年とする。

２０２２年８月より開始した生涯現役地域づくり環境整備事業との連携と実践から、参加・就労・起業等における地域の方々・星槎道都大学・市役所・企業等との四位一体のつながりをつくっていくとともに、地域の方々を中心とした新たな仲間を増やす。

重点事業項目

私たちは北広島市において、平成２２年３月につくられた北広島団地活性化計画の基本方針に３つの理念のもと、地域サポートセンターともにが持つ特性を有効に活用し、下記に示す２０項目の取り組みに生涯現役地域づくり環境整備事業との連携と実践を加えて実践する。

1）北広島団地に住み続けられること
　（賑わいや交流の場づくり、地域コミュニティの再生、安心して暮らせる環境づくり）
2）将来、住民となる次世代のこと
　（住み替えの支援、子育て世代の転入促進）
3）北広島団地（さんぽ街）の魅力アップ
　（まちの魅力づくり、地域資源の活用、情報の発信）
4）生涯現役地域づくり環境整備事業との連携と実践

【上半期評価】	【最終評価】
≫北広島団地に住み続けられること 休館もなく通常通り活用出来た。域食堂、ソフトクリーム、農園の拡大、その他の取組も計画どおり実施でき、お客様・市民スタッフ・地域住民と交流することができた。ドッグラン、キャンプイベントは来年度実施するための資金集めや木材の確保・加工を行う。 **≫将来、住民となる次世代のこと** 休館もなく通常通り活用出来た。法人事業においては、事業所間連携とシームレスな体制でお客様をサポートできている。又、認知症のある市民スタッフもメンバーの支えで活動継続できており、つながりからの支え合いが	**≫北広島団地に住み続けられること** 地域食堂、ソフトクリーム、農園の拡大、学芸会（572名）、運動会（300名）、その他の取組も計画どおり実施でき、お客様・市民スタッフ・地域住民と交流することができた。ドッグラン、キャンプイベントは実施するための資金が目標の６０万円に達したため予定通り次年度 OPEN する。また、新たに札幌国際大学と連携して運動会を開催することができた。 **≫将来、住民となる次世代のこと** 法人事業においては、事業所間連携とシームレスな体制でお客様をサポートできており、サ高住や GH での待機者が

実践できている。 ≫北広島団地(さんぽ街)の魅力アップ 通信は毎月発行。チラシ・ホームページを活用し各事業所情報の発信準備している。コロナ明け、地域のイベントや取組も再開しており、積極的に参加・協力できている。 ≫生涯現役地域づくり環境整備事業との連携と実践 フィットネスの検討、WILL の実証実験、ドッグラン・森林管理に向けた準備活動は予定通り生涯現役事業を実施できた。今後、企業と住民のマッチング、協議会終結後のあり方、資金調達の方法等、事業後半に向けた再検討と事業計画が必要である。	増加している。又、コロナ発生時の応援体制などもスムーズに連携できている。 ≫北広島団地(さんぽ街)の魅力アップ 通信は毎月発行。チラシも計画通り作成でき、ホームページを活用し各事業所情報の発信準備している。地域のイベントや取組にも積極的に参加・協力できている。合宿も4団体137名の利用があり、コロナ前の状況に戻っている。 ≫生涯現役地域づくり環境整備事業との連携と実践 フィットネスは、法人事業として北広島市地域活性化政策補助金の活用し趣味特化型フィットネスとして準備に入っている。ドッグランについては目標の 60 万円に達したため次年度夏に OPEN 予定。森林管理は北広島産木材を活用したトーチづくりからキャンプイベントを次年度夏に実施する。企業と住民のマッチング、協議会終結後のあり方、資金調達の方法等、事業後半に向けた再検討と事業計画が必要である。

様式2

2023年　感染対策・衛生委員会　事業総括

主管　法人本部　障害施設・高齢者施設合同

重点項目

1. すべての職員が感染症に対する適切な判断と迅速な行動を行うことができる。
   - ・標準予防策(スタンダードプリコーション)を理解し実践できる。
   - ・統一した感染マニュアルを活用できる。
   - ・感染により事業が停滞しないように、平時よりシュミレーションができる。
2. 安全で安心な生活(職場)環境を整備する。
   - ・職員の身体的精神的な健康の増進に努め、働きやすい職場風土をつくる。

計画

月	事業内容	実績 評価	実績 評価内容
4	感染対策マニュアル見直し、製本作業、職員検診日程調整 研修内容の決定（年２回）定例委員会 4/21	4	4/21 定例委員会（12名） 研修計画立案
5	感染対策マニュアル改訂版周知、感染者発生時の事業所の動きをまとめる。（BCP 想定）職員検診・定例委員会 5/19	4	5/16 定例委員会（13名） コロナワクチン接種について、BCP 策定について
6	感染者発生時の事業所の動きをまとめる（BCP 想定）感染研修動画作成、春季職員検診実施・振り返り定例委員会 6/16	4	6/16 定例委員会（11名） 職員アンケート内容検討
7	感染研修（実技形式）①　感染研修動画作成、職員へ感染対策の意識調査（アンケート）定例委員会 7/21	3	7/31 定例委員会（8名） 第５類移行後の感染拡大の報告。衛生研修内容の検討
8	感染研修動画完成。感染対策巡回①　定例委員会 8/18	4	8/17 定例委員会（10名） 職員意識調査内容検討、衛生研修内容の決定
9	感染対策巡回②　アンケート集計　秋季職員検診の実施。定例委員会 9/15	4	9/15 定例委員会（11名） 職員意識調査の内容検討。秋の職員検診について
１０	感染対策巡回③　インフルエンザ予防接種の流れ確認 定例委員会 10/20	4	10/20 定例委員会（12名） 衛生委員会研修実施（眠りのこつ）動画視聴ストレスチェックについて。特養クラスター報告。
１１	感染研修（動画視聴）②　インフルエンザ予防接種時期決定　ストレスチェックについて　定例委員会 11/17	4	11/17 定例委員会（13名） 衛生委員会研修振り返り。 コロナ・インフルエンザワクチン接種について
１２	感染対策の周知・手洗い巡回実施①（マスク使用時期等） 定例委員会 12/15	4	12/15 定例委員会（13名） 発熱時の診療部受診について。職員意識調査について
１	感染対策の周知・手洗い巡回実施②　定例委員会 1/19	4	1/19 定例委員会（12名） 職員意識調査実施。
２	感染対策の周知・手洗い巡回結果報告・今年度の反省 定例委員会 2/16	3	2/16 定例委員会実施（6名） 職員意識調査結果報告。 コロナ感染隔離の解除について討議。複合、センタークラスター報告
３	次年度計画立案　定例委員会 3/17		

考備

- ・各拠点の部署における感染状況を把握し委員会で報告する。
- ・感染対策等の助言を各部署へ伝達する。
- ・障害施設、高齢者施設の拠点における部署ごとの感染研修の助言も行う。

評価基準：　5.　良くできている（期待した以上の成果が得られた）　4.　できている（期待した成果が得られた）
3.　十分ではない（期待した成果が得られなかった）　2.　できていない（見直しが必要）1.　全くできていない

様式2

2023年度 研修委員会 事業総括

主管　法人本部

重点項目	サービス向上委員会との役割を分担し、一般職員向けの研修を通じて、個々の職員の主体性の向上、スキルやモチベーションの向上、離職の予防等を図り、法人運営における人材育成に寄与する。 1．社会福祉法人の役割を再認識する 2．対面研修の実施とグループワークによるつながり作り 3．コンプライアンス・リスクマネジメントに関する研修の実施
委員	委員長：吉田忠司、 委　員：秋田　梢、三浦和紀、粥川ひとみ

	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
計画	4			
	5			
	6	社会福祉法人の使命　～北海長正会の職員として～ 対面＋GW＋動画撮影	4	理事長から講演を頂き法人職員としての理解を深める研修となった。
	7			
	8	権利擁護・高齢者虐待防止研修会 対面＋GW＋動画撮影	4	虐待研修は、救命救急や認知症研修開催に伴い開催時期の変更を行った。
	9		4	サービスネットの研修（認知症ケア）に法人職員も参加させて頂く機会を頂く。
	10	人生100年時代　地域共生社会の実現に向けて 対面＋GW＋動画撮影	4	専門学校と連携し、救命救急の研修を開催予定。
	11		4	服薬に関する研修を開催し、職員の知識習得に繋がる研修を開催した。
	12			
	1			
	2	リスクマネジメント研修会　～ハラスメントとは～ 対面＋GW＋動画撮影	4	人口減少時代における共生社会の研修を開催出来た。
	3	2023年度事業評価・2024年度事業計画発表会 各課・各委員会へ次年度研修計画聞き取り	4	年間5回法人全体研修を実施。また研修によっては、職員が研修日を選択できる工夫を行った。
備考	※動画　無料セミナーの活用（年間通じた情報提供　人材定着・ＩＣＴ活用等テーマ有り） ※人材育成システム委員会のＰＤＣＡサイクルをバックアップ（職員個人目標・職員面談・各課事業計画との連動性等） ※感染対策委員会・防災対策委員会・快適送迎委員会・カイゴみらい委員会と共催で研修を開催。※時間外手当の支給について、引き続き検討を行う。			

評価基準：5.　良くできている（期待した以上の成果が得られた）　4.　できている（期待した成果が得られた）
3.　十分ではない（期待した成果が得られなかった）　2.　できていない（見直しが必要）
1.　全くできていない

様式2

2023年度 快適送迎委員会 事業総括

主管　法人本部

重点項目	・お客様に快適にご利用頂ける車輛や環境を維持する為に、公用車の清掃や管理についてマニュアルを作成し、車輛担当者に限らず車輛を使用する職員全員に対し車輛に対する意識向上に努める。 ・安全運転、交通事故防止に関する啓発活動や、送迎車輛内における感染対策等の情報提供やマニュアル化を行なうと共に、法人全体での研修を実施する。 ・送迎サービス・車輛の調整等をスムーズに行なう事が出来るよう、車輛情報を集約しリスト化する。 ・車輛のリースや購入等に関し、法人に対し提言を行なう。
委員	委員長：神原英明 委　員：本田拓也　川原規仁　井上　俊　泉　正人

	月	事業内容	実績	
			評価	評価内容
計画	4	定例委員会　顔合わせ　安全運転標語配布	4	実施済
	5	定例委員会　所有車輛評価①	4	実施済
	6	定例委員会　車輛購入・リース計画作成	4	実施済
	7	定例委員会　配布物検討	4	実施済
	8	定例委員会　配布物作成	4	実施済
	9	法人合同委員会　所有車輛評価②	4	実施済
	10	定例委員会　上半期振り返り　冬タイヤ購入確認	4	実施済
	11	定例委員会　法人全体研修(オフィスプレイン)	4	実施済
	12	定例委員会　配布物発行	4	実施済
	1	定例委員会　所有車輛評価③	4	実施済
	2	定例委員会　下半期振り返り　事業計画作成	3	委員会未実施
	3	法人合同委員会　夏タイヤ購入確認	4	実施済
備考				

評価基準：5.　良くできている（期待した以上の成果が得られた）　4.　できている（期待した成果が得られた）
3.　十分ではない（期待した成果が得られなかった）　2.　できていない（見直しが必要）
1.　全くできていない

様式２

2023年度 広報委員会 事業総括

主管　法人本部

重点項目	1）施設における事業の透明性を図り、サービス利用者・家族に限らず地域全体に向けて法人の取り組みを発信する。 2）各事業所の特色を広く外部へ周知するため、媒体特性を活かした広報活動を担う。			
委員	委員長：佐々木祐輔 委　員：玉邑亜矢　鈴木優子　伊東賢志朗　早川彩子　松沢　恵　松﨑千絵　小山彩花　石田あゆみ			
計画	項目	事業内容	実績 評価	評価内容
	1	□ 機関紙の発行 年度３回機関誌を発行する。 そのための記事・写真の収集や取材、編集を行う。	4	2023年9月55号発行、2024年1月56号発行、2024年3月～4月57号発行予定。
	2	□ ウェブサイトの運営及び活用 ブログを中心に随時更新及び保守作業。 各事業所ページの編集及び更新。	4	ブログはじめ、定期的に更新及び保守作業を行っている。各事業所ページについても随時リニューアルを行っている。
	3	□ 事業所パンフレットの作成。 ウェブサイト各事業所ページ編集及び更新に伴い、紙面でのパンフレット作成を行う。	4	事業所チラシを各事業所順次行っており、全事業所着手している状況である。
備考				

評価基準：5.　良くできている（期待した以上の成果が得られた）　4.　できている（期待した成果が得られた）
3.　十分ではない（期待した成果が得られなかった）　2.　できていない（見直しが必要）
1.　全くできていない

様式２

2023年度 防災対策委員会 事業総括

主管　法人本部

重点項目	本委員会は、火災発生や自然災害に備えるとともに、発生した被害を最小限にとどめられるよう防災訓練の企画、立案を行い、その結果を踏まえ課題を抽出し、チーフ会議、幹部会議へ諮問する役割を持つ。また災害時に使用する機器の定期的管理を行うことでスムーズな活用が出来るようにすることを目的とする。			
委員	委員長：大日向伸也 委　員：吉田匡貴、林　晃市、市川　輝、渡辺雄太、毛利秀景			
計画	項目	事業内容	実績 評価	評価内容
	1	訓練の実施について ・防災訓練 ・地震訓練（停電訓練） ・連絡網訓練（情報伝達訓練） ・夜間休日想定訓練	4	防災訓練・緊急連絡網 9/26ともに、さとみ 10/4四恩園、10/6ふれて 地震訓練・夜間休日想定訓練3月実施予定
	2	設備、資機材、備蓄品の管理について ・防災設備 ・備品、資機材 ・食料、飲料水	4	拠点毎の在庫を確認
	3	ＢＣＰ（業務継続計画）の作成について ・法人本部、総務課、管理課との連携 ・ガイドライン、雛型の確認 ・法人共通内容、拠点毎の内容、サービス毎の内容の振り分けと入力 ・内容のチェックと修正	3	法人本部、総務課、管理課で作成中
	4	研修（防災教育）について ・救急救命（ＡＥＤ）講習 ・１１９番通報・消火器取扱い講習等	4	救急救命講習は研修委員会で開催 119番通報・消火訓練は、年２回の訓練時に実施。
備考				

評価基準：5.　良くできている（期待した以上の成果が得られた）　4.　できている（期待した成果が得られた）
3.　十分ではない（期待した成果が得られなかった）　2.　できていない（見直しが必要）
1.　全くできていない

様式２

2023年　食事検討委員会　事業総括

主管　法人本部

重点項目

1日3回の食事の機会は「生きている喜びを感じること」、「食べることは生きること」を念頭に置き、四恩園のサービスを利用する人の栄養摂取情報や食事のあり方等、他職種連携の下で口から食べる食事のあり方を検討する事を目的とする。

1.施設・在宅高齢者、要介護者の食事に関する情報提供や啓発活動に関すること
2.施設内の行事食に関すること、お客様の嗜好に関すること、食に関する研修の企画、立案
3.各拠点給食サービス課との連携により給食提供支援の負担軽減を図る
4.ともに地域食堂に関すること。

委員

委員長:西野　聡
委　員:長谷川倫子、土池康介、畑中　悠、田中こずえ、荒関哲平　横内あゆみ

計画

項目	事業内容	実績 評価	実績 評価内容
1	各拠点給食サービス課状況把握及び食事提供方法の検討	3	給食サービス課と連携して食事摂取状況について検討しました。地域食堂の報告。行事食の検討。8月に食事についてのアンケートをお客様と職員に実施。9月より非常時用に冷凍食品を3日分備蓄予定。
2	施設・在宅お客様の食事摂取と栄養状況把握		
3	外部給食提供の資源確認と各給食拠点への情報提供		
4	各拠点食事提供方法の確認と感染・非常時対策		
5	地域食堂の反省と今後の検討		
6	障がい施設委員会との情報交換・研修企画		
7	各部署へのアンケート実施		上期同様に給食サービス課と連携して食事摂取状況について検討しました。地域食堂の報告。行事食の検討。8月のアンケートについて検討、改善の実施。9月より非常時ようの冷凍食品を備蓄。常温食と合わせて5日分確保しました。

備考

評価基準：5.　良くできている（期待した以上の成果が得られた）　4.　できている（期待した成果が得られた）
3.　十分ではない（期待した成果が得られなかった）　2.　できていない（見直しが必要）
1.　全くできていない

様式２

2023年度　カイゴみらい委員会　事業総括

主管　法人本部

重点項目

本委員会は若手職員を中心に人材確保の方法について検討することを目的としている。
小、中、高校生や福祉専門職養成機関に限らない幅広い世代へ社会福祉、介護福祉の魅力を伝えるための企画、立案をし、実行する。

1. 社会福祉、介護福祉の仕事の啓発活動。(若年層:小、中、高校生を含む)
2. 事業紹介、相談会に関すること。(対面＋オンライン開催の検討と実施)
3. 広報活動に関する企画立案実施・ホームページの活用。

委員

委員長:高谷里奈
委　員:坂本春花、前本睦実、福田麻璃花

計画

項目	事業内容	実績 評価	実績 評価内容
1	定例委員会　毎月１回	4	前年同様、第三木曜日で固定し、ほぼ毎月定期開催することが出来た。報告書も当番制にて役割分担出来ていた。
2	幅広く福祉の魅力を伝える広報活動・啓発活動の企画、実施（新たなグッズ製作・出前講座等）	3	福祉の仕事の魅力発信及びより働き甲斐のある職場作りのため、全職員向けアンケート調査を提案し、次年度実施出来るように作成中。
3	若年層へ福祉に興味関心を抱いてもらう企画、実施（母校の就職相談会への参加・ホームページの活用）	2	ホームページの活用については実施出来ていなかった。全職員向けアンケート調査を企画しているため、調査後は就職相談会などで開示して、若年層にも福祉に興味を抱いてもらえるきっかけになるように運用していきたい。
4	各就職相談会・就学セミナーへの積極的な参加（対面・zoom など適材適所に応じた対応。障がいの委員会と合同での参加。）	3	主に対面の相談会、セミナーへの参加機会が多かった。障がい委員会とは合同委員会を開催出来ていないため、次年度は開催したいと考える。
5	専門学校・大学への就職相談会・イベントへの積極的な参加（委員会メンバーの卒業校・実習先へ訪問・学祭へ参加等）	3	母校の教員と連絡を取り、最近の学生の動向について話しを聞くことが出来た。大学や専門学校に直接出向く機会も持てるようにしたい。

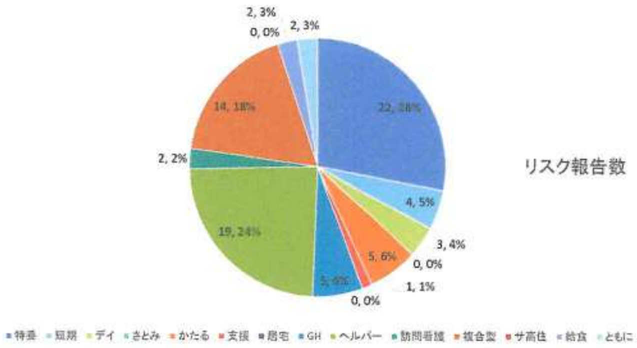
	6	魅力溢れるオンライン就職相談会の開催 （対象者に望まれる内容の工夫。作成したパワーポイントを活用し、メンバー1人1人が幅広い世代へ説明出来るようにする。）	3	今年度作成したパワーポイントを活用しながら、対象者への説明を行うことが出来た。まだ、実際の就職説明下に一部メンバーしか参加出来ていないため、メンバー全員必ず1回は参加出来るようにすることが課題である。
	7	※入職後のフォローアップ （入職後の関わり方について模索する。例：新入社員との茶話会・座談会などの企画等）	2	自分の部署に母校が共通の職員が入職したことで関わる機会はあったが、全体としてのフォローアップは行えなかった。アンケート調査が落ち着いたところで、学生オープンカフェの取り組みについてメンバー間についてもう一度考えていきたい。
備考	委員一人ひとりが、基本理念・四恩園チームワークを意識しながら、まずは身近にいる職場の仲間からの信頼と魅力を感じてもらえるような仕事への取組みを意識する。 福祉の仕事のやりがい・かけがえのなさを幅広い世代へ伝えることが出来ることで、福祉の仕事に魅力を感じてもらえるようにする。			

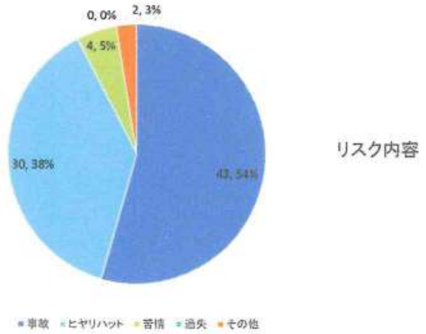
評価基準：5.　良くできている（期待した以上の成果が得られた）　4.　できている（期待した成果が得られた）
3.　十分ではない（期待した成果が得られなかった）　2.　できていない（見直しが必要）
1.　全くできていない

5. 高齢者施設リスクマネジメント結果（2023. 4～2024. 3月末

リスク報告数

1	特養	22	27.8
2	短期	4	5.1
3	デイ	3	3.8
4	さとみ	0	0
5	かたる	5	6.3
6	支援	1	1.4
7	居宅	0	0
8	GH	5	6.2
9	ヘルパー	19	24.1
10	訪問看護	2	2.5
11	複合型	14	17.8
12	サ高住	0	0
13	給食	2	2.5
14	ともに	2	2.5
	計	79	100



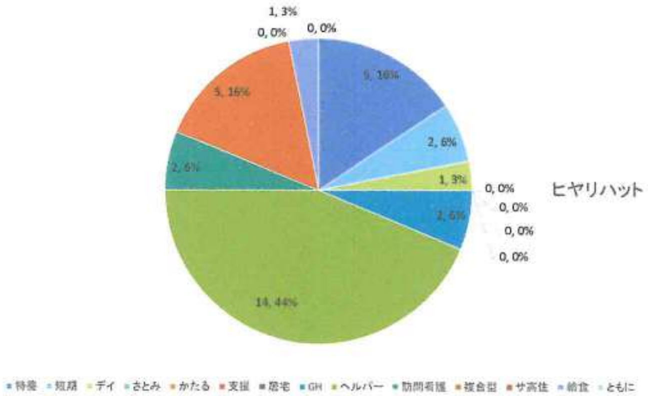


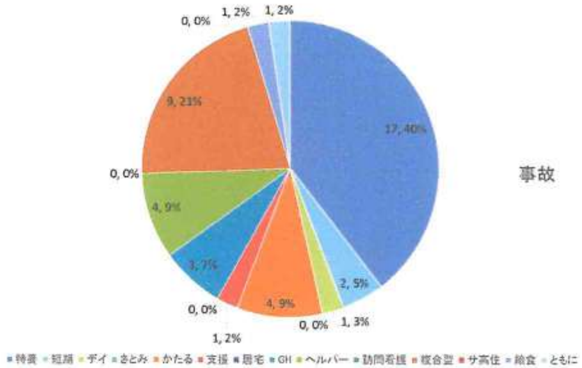
リスク内容

1	事故	43	54.4
2	ヒヤリハット	30	38
3	苦情	4	5.1
4	過失	0	0
5	その他	2	2.5
	計	79	100

ヒヤリハット

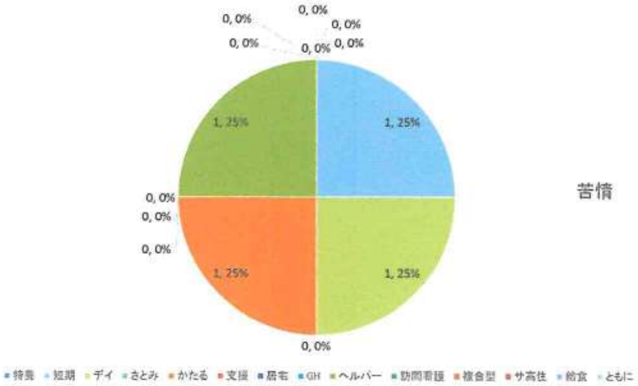
1	特養	5	15.6
2	短期	2	6.3
3	デイ	1	3.1
4	さとみ	0	0
5	かたる	0	0
6	支援	0	0
7	居宅	0	0
8	GH	2	6.3
9	ヘルパー	14	43.8
10	訪問看護	2	6.3
11	複合型	5	15.5
12	サ高住	0	0
13	給食	1	3.1
14	ともに	0	0
	計	32	100





苦情

1	特養	0	0
2	短期	1	25
3	デイ	1	25
4	さとみ	0	0
5	かたる	1	25
6	支援	0	0
7	居宅	0	0
8	GH	0	0
9	ヘルパー	1	25
10	訪問看護	0	0
11	複合型	0	0
12	サ高住	0	0
13	給食	0	0
14	ともに	0	0
	計	4	100



事故

1	特養	17	39.5
2	短期	2	4.8
3	デイ	1	2.3
4	さとみ	0	0
5	かたる	4	9.3
6	支援	1	2.3
7	居宅	0	0
8	GH	3	7
9	ヘルパー	4	9.3
10	訪問看護	0	0
11	複合型	9	20.9
12	サ高住	0	0
13	給食	1	2.3
14	ともに	1	2.3
	計	43	100